幼児教育センターやまびこ園
園舎耐震補強改修工事

工　事　範　囲

符号	工事種目	工事内容	備　　考	図面頁
1	一般図	特記仕様書	工事内容	Ａ－１　～　Ａ－２
		配置図		Ｐ０
2	直接仮設工事			Ｐ１
3	耐震補強工事	ａ、鋼板内蔵外付けブレース工法		Ｐ２　～　Ｐ16
4	非構造部分の改修工事	ｂ、天井（遊戯室）改修工事	電気設備工事含む	Ｐ17　～　Ｐ29
		ｃ、建具ガラス改修工事		Ｐ30　～　Ｐ34
5	一般改修工事	d、トップライト部分に内壁改修工事		Ｐ35
		ｅ、既設煙突改修工事	煙突内の石綿撤去及び煙突復旧工事	Ｐ36　～　Ｐ38
		ｆ、屋上漏水部分の改修工事		Ｐ39
		ｇ、雑　工事		Ｐ40

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　タイトル		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹

特記仕様書

工事名称	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強改修工事
工事場所	郡上市大和町島５３２７番地
建物用途	幼稚園
用途地域	・ 商業地域　・ 住居地域　⊙ 無指定地域
防火地域	・ 防火地域　・ 準防火地域　⊙ 指定無し
その他の地域、地区	・ 都市計画区域内　⊙ 都市計画区域外　・ ・ 22条区域内　⊙ 22条区域外　・
工事種別	・ 新築工事　・ 増改築工事　⊙ 改修工事（耐震補強工事を含む）
構造	⊙ ＲＣ造　平屋建　・ 鉄骨造　階建　・ 木造造　階建 ⊙ 耐火構造　・ 準耐火構造（ ・ 外壁耐火　・ 軸組不燃） ・ その他
工事範囲	⊙ 耐震補強工事（鋼板内蔵外付けブレース工法）一式 ⊙ 非構造部分の改修工事　一式　⊙ 一般改修工事　一式 ・ 建築工事　一式　⊙ 一部電気設備工事　一式 ・ 外構工事　一式　⊙ 一部給排水衛生設備工事　一式 ・ 機械設備工事　一式
別途工事	・ 電気設備工事　一式　・ ショウケース　一式 ・ 給排水衛生設備工事　一式　・ プロパンガス工事　一式 ・ 機械設備工事　一式　・ 植栽工事　一式 ・ 看板　ネオン工事　一式

１章　一般共通事項

適用範囲	本工事の仕様は、 「建設大臣官房官庁営繕部監修建築工事共通仕様書」（以下共通仕様書という）最新年度版に準ずる。ただし本工事にない事項は適用しない。 〇印のない場合は※印のついたものを適用する。 〇印、※印のある場合は共に適用する。
設計図書順位	1）現場説明書　4）設計図（仕上表、リスト優先） 2）質疑応答書　5）共通仕様書 3）特記仕様書　6）公共規格及びこれに準ずる規格
質疑及び軽微な変更	材料及びメーカーは指定のものを使用すること。ただし、同等品以上と認められる資料を提出し監督員の承認を得た物はこの限りではない。 図面、仕様書の内容に相違のある場合は、明記のない場合、又は疑いを生じた場合は全て監督員と協議し、その指示により行うが金額増減は行わない。
別途工事及び分離発注工事との取合い	請負業者は併行して行われる別途工事に対して工事進行ならびに、収まり等に関して、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。
官公庁その他手続き	工事の施工及び必要な諸届、諸手続きは協議の上、請負業者の責任において、完成引渡しに支障ない様速やかに行う。
損害保険	請負業者は本工事に関係する全ての物件及び管理上必要と思われる事項に対して妥当な損害保険（火災保険含）を掛けて、その写しを2部提出する。この場合事前に監督員の承認を得る。
工事打合せ定例打合せ会議	請負契約後７日以内に着工時提出書類を作成し監督員の承認を得る事。 工事の円滑な進行を図るため、監督員の指示により、定期的に各工事責任者を招集し、打合せを行うものとする。（原則７日に1回とする。） 又請負業者は、定例打合せ会議議事録をとり、その都度監督員の承認を得る事。
既設部分との取合い	既設建物と今回工事の取り合い部分、その他、ハツリ及び工事の都合などにより、破損、損傷させた場合は、今回工事仕上げ及び旧工事仕上げ同材にて完全に補修しなければならない。
設計変更	設計変更が生じた場合、原則として、あらかじめ見積書を提出して承認された上、変更工事に着手すること。その場合は特記なき限り各工事種目とも契約時の単価により承認する数量で請負金額の増減を行う。ただし軽微な変更は監督員の指示によって金額の増減は行わない。 軽微な変更とは、原則施主の意向によりグレードアップされたもの以外とする。

２章　仮設工事

仮囲い	⊙ カラー鉄板　・ ガードヘェンス　・ 鋼板製ＳＯＰ ・ 3.000　⊙ 1.800 範囲は配置図に図示又は安全上必要と認められる場合は、これにかかわらず必要な処置（養生シート等）を請負業者の責任において設置する。
事務所等備品	⊙ 現場事務所　・ 監督員事務所　⊙ 仮設便所　・ 打合室 ⊙ 監督員用安全帽２個　⊙ 来客者用安全帽２個
工事表示	工事現場の適切な場所に、工事名、発注者名、設計者名、請負者名を示す表示板を設ける。
工事用電力	・ 利用出来る（ ・ 有償 ・ 無償）　⊙ 利用出来ない （仮設電気）
工事用用水	・ 利用出来る（ ・ 有償 ・ 無償）　⊙ 利用出来ない （仮設水道）　・ 井水
工事用電話	・ 現場事務所用ＴＥＬ　・ 現場事務所用ＦＡＸ
障害物の処理	工事上撤去、移設をようする軽微な物は本工事に含む。
設計ＧＬ	設計ＧＬの決定及び、ＢＭの設置は、監督員の立会いのもとに決定する。
保護設備	本工事の施工に当たり、付近住民、隣接建物、通行人等に対して損害を与えない様、保護設備計画をし、監督員の承認を得て実施する。
	建物引渡し、前に全体の清掃を行い、公道等の工事による破損部は完全に復旧する。

３章　土工事

根切り	根切り方法、山止め工法、使用機器等を記した施工計画書を提出する。
埋め戻し	※ 根切り土（Ｂ種）　・ 搬入土（Ａ種）
盛土	・ 無　・ 有
残土処分	※ 根切り土（Ｂ種）　・ 搬入土（Ａ種） ・ 無　・ 有
	⊙ 場内処分　・ 場外自由処分
地盤改良	・ 土間下ｔ＝100　（改良地耐力　5ｔ/㎡ （株）エステック）052-566-3022 ・ エスミコラム地盤改良

４章　地業工事

地耐力試験	・ 不用　・ 必要（簡易載荷試験2ヶ所）
既製杭地業	・ 無　・ 有
工法	・ セメントミルク工法（ ・ 20ＮａＰ ・ 25ＮａＰ ）
種別、本数	・ 構造図参照 ・ ＰＣ　φ　杭耐力　ＫＮ/本　Ｌ＝　m ・ ＰＨＣ（Ａ種）φ 300　杭耐力　ＫＮ/本　Ｌ＝　m ・ ＰＨＣ（Ａ種）φ 350　杭耐力　ＫＮ/本　Ｌ＝　m ・ ＰＨＣ（Ａ種）φ 400　杭耐力　ＫＮ/本　Ｌ＝　m
試験打ち	建物の対角線上のメイン杭を原則2本とし、設計深度+1mとする。又杭頭を切りそろえる場合は、適切な処置をする。
ラップル地業	・ 無　・ 有
	強度　・ 150　・ 180
	型枠　・ 無　・ 有
砕石地業	種類　※ 砕石Ａ０～40　・ リサイクル品　使用可能
	厚さ　基礎 ・ 100 ・ 60　※ 土間 100
	強度　※ 160
捨てコン	厚さ　・ 30　⊙ 50
防湿シート敷き	ポリエチレンシート　・ 7 0.15 ・ 直敷き　・ 砂敷きの上 30
土間下断熱材	スタイロフォーム　・ 30　・ 50
柱状地盤改良	・ エスミコラム（ＤＰＳ工法）（建設大臣認定工法） ・

５章　鉄筋工事

＊鋼板内蔵コンクリート補強工法　特記仕様（Ｐ１２～Ｐ１３）による。

６章　コンクリート工事

＊鋼板内蔵コンクリート補強工法　特記仕様（Ｐ１２～Ｐ１３）による。

７章　型枠工事

＊鋼板内蔵コンクリート補強工法　特記仕様（Ｐ１２～Ｐ１３）による。

８章　鉄骨工事

＊鋼板内蔵コンクリート補強工法　特記仕様（Ｐ１２～Ｐ１３）による。

９章　組積工事

該当無し

１０章　防水工事

共通事項	全ての防水層は、２４時間の水張の試験を行う。保障期間中に防水工事及びシーリング工事の不備によって生じた損害は請負者の責任に於いて負担し速やかに復旧すること。
責任保証	メーカーの責任施工とし、保証書を提出する事。　（１０年保証）
塗膜防水	⊙ ウレタン系　・ Ｘ-１　緩衝工法 ⊙ Ｘ-２　密着工法 ・ ゴムアスファルト系　・ Ｙ—１　緩衝工法 ・ Ｙ-２　密着工法
	種別　・ ポリウレタン樹脂ＳＴ工法（カラートップＵノンスリップ程度）　（ＡＢＣ商会）
ＦＲＰ防水	種別　・ コンパック工法　Ｒ-1工法　（大泰化株式会社） ・ コンパック工法　Ｒ-2工法　（大泰化株式会社） ・ コンパック工法　Ｒ-3工法　（大泰化株式会社） ⊙ ＣＴ－１Ｆ工法
シーリング	

	材種	場所
⊙	Ａ種　「ＪＩＳ　8020　ＳＲ１」　シリコーン系	硝子留め
・	Ｂ種　「ＪＩＳ　9030　ＳＲ２」　シリコーン系	
⊙	Ｃ種　「ＪＩＳ　8020　ＰＳ２」　ポリサルファイド系	打継、サッシ廻り、全てのヶ所
・	Ｄ種　「ＪＩＳ　7020　ＰＵ２」　ポリウレタン系	
・	Ｅ種　「ＪＩＳ　7010　ＡＣＥ」　アクリル系	
・	Ｆ種　「油性」	

１１章　石工事

該当無し

１２章　タイル工事

該当無し

１３章　木工事

該当無し

１４章　屋根・樋・外装工事

仕様材料	⊙ 補強工事による改修は現況使用材料による復旧とする。
金属屋根	・ 一文字葺　フッ素樹脂塗装鋼板　ｔ＝0.4 ・ 立ハゼ葺　元旦スフィンクスルーフ6型　フッ素樹脂塗装鋼板　ｔ＝0.4 ・ 横　葺　モニエル　カレッセＴＦ ・ 折版葺　丸馳折版　Ｈ＝88　ガルバリウム鋼板ｔ＝0.6 スーパーフェルトン　ｔ＝4 ・ 折版葺　丸馳折版　Ｈ＝88　高耐候性ポリカボエート樹脂　ユーピロン・サンゴード
瓦葺	日本瓦　・ 三州瓦（マルスギ株式会社）　・ 東洋瓦 平板瓦　・ ジェミニ　（丸鹿窯業株式会社）　・ アーバン40　（東洋瓦株式会社）
樋	軒樋　・ 折版用角樋（松下）　・ 200前高　・ アイアン150Ⅱ型 ・ サーフェスケアＳＬ－Ｉ型（松下） ・ 松下シビルスケアＰＣ77（ブラック） 内樋　・ 谷コイル　0.5加工　・ オーバーフロー管　ＶＰ50φ 竪樋　・ ＶＰ　・ 60　・ 75　・ 100　・ 150 ・ ＳＵＳ丸トイ130φ　ＨＬ ・ ＰＣ30（松下電工）
雪止めアングル	・ 亜鉛メッキ　Ｌ－60×60×4　・ ＳＵＳ　Ｌ－65×65×6
雨水ハネ返り止めアングル	・ 亜鉛メッキ　Ｌ－50×50×4
下地	・ アスファルトルーフィング150 ・ 耐水合板　・ 12　・ 25　センチュリーボード（三井木材工業） ・ ベニアｔ＝15
ドレン	・ ルーフドレン　・ 中間ドレン　自在ドレン　100φ　75φ ・ 鋳鉄製　・ＳＵＳ製
サイデング材	材質　・ セメント系　・ 金属系　・ 木質系 形状　・ 横貼　・ 竪貼 厚さ　・ 12　・ 13　・ 16　・ 18　・ 20 品名　・ ニチハ　・ 松下電工　・ クボタ　・
外壁（角波カラー鉄板）	・ ヨド　角波サイデング800-Ｉ型　ｔ＝0.4

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称	特記仕様書　＜１＞	図面番号 A-1
製図	検図	日付	縮尺

一級建築事務所　島設計
一級建築士　登録第175920号　此島茂樹

１５章　金　属　工　事

一　般　事　項

規格品で他との関連の無い物以外は全て加工及び納まり等の施工図を作成し承認を受ける。

⊙ 天井下地　日本耐震天井施工共同組合（JACCA）認定部材とする。
尚、施工は耐震施工技術者による管理とする。

天井下地　※ 19型　（屋内）
※ 25型　（屋外）

壁下地　・ 65型　（@300　）
・ 90型　（@300　）
・ 100型　（@300　）

外部金物　・ ジンクロメッキ　・ 亜鉛メッキ

内部金物　※ ＪＩＳに規定する。

天井点検口　⊙ アルミ枠　・ ＳＵＳ枠　⊙ 450角　5 ヶ所
床下点検口　・ アルミ枠　・ ＳＵＳ枠　・ 600角　ヶ所

アルミパネル　・ アルミ　t＝2.0加工（焼き付塗装）　ケイカル板ｔ＝10　裏貼り
水切り　・ カラー鉄板ｔ＝0.4加工
笠　木　・ アルミ既製品（手摺付）　・ アルミ笠木既製品
・アルミｔ＝2.0加工　ジュラクロン焼き付け　・ カラー鉄板ｔ＝0.6加工

スパンドレル　アルミジュラクロン焼き付け ⎍⎍⎍ 型　ｗ＝300フラット型
・ アルミｔ＝1.0加工（焼付塗装）　・ ＲＡ－15－2（理研）

パネル　ホーロー鋼板ｔ＝1.6
丸　柱　ホーロー鋼板ｔ＝1.6　パネルR加工　500
玄関マット　・ ＳＵＳ枠付　アトラス　ＡＪＭシリーズ
排水ピット　・ ＳＵＳ枠付　アトラス　ＡＰＮシリーズ
配線ピット　・ ＳＵＳ枠付　アトラス　ＡＴＣ－Ｉシリーズ
パンチングメタル　・ アルミｔ＝0.8加工　ブラック（焼付塗装）
アルミガラリ　・ アルミｔ＝0.8加工　ブラック　（焼付塗装）
ノンスリップ　・ ＳＵＳ製タイヤ付Ｗ＝40　アトラスＮＳＲ－40350
手　摺　階段手摺　・ ステンレス　ＦＢ22×40　加工
・　バルコニー手摺　・ 枠ステンレス　ＦＢ22×40　加工　ステンレスパンチングメタルｔ＝2
プロテクター　・ 木粉入り発砲塩化ビニール製　Ｗ＝200　アトラスＷＤ－20Ｋ
ショックコーナー　・ 木粉入り発砲塩化ビニール製　アトラスＡＰＣ－6565Ｖ　Ｌ＝1000
ショックストッパー　・ 合成ゴム式（ブラック）　黄色ライン入り　（アトラス）
コーナーポール　・ スチール50φ　Ｈ＝500　ＳＯＰ塗装
見切りモール　・ ＰＶＣ製Ｗ＝38　アトラスＢモール－38
マンホール　・ ＭＨＡ－600
屋上点検口　・ 600角ＳＵＳ－304　キョーワナスタＫＳ－ＲＭ6060ＳＤ
タラップ　・ ＳＵＳ－304ガード付き
ブラインドＢＯＸ　・ アルミ既製品　カラー
エキスパンションジョイント　・ アルミ製（耐火仕様）　外壁　＋　外壁　ＡＢＣ商会　アーキバンション

１６章　左　官　工　事

一　般　事　項

色合い模様等は見本帳又は見本塗り板を提出し承認を得る。塗装仕上、張り仕上、等の左官下地は「むら」「平滑度」「角度」等に充分注意する。仕上工程前に検査を受ける。
塗り付け材料の１回の塗厚は9㎜以下とする又、全塗厚は25㎜以下とし、25㎜を超える場合は、溶接金網等により補強する。ただし床の場合を除く。
ラスシートを鉄骨に取り付ける場合はビス留めとする。
下塗りは２週間以上放置しひび割れを十分に発生させる。

モルタル塗り　モルタルは亀裂防止剤、接着剤、防止剤その他の混和剤を必要に応じて監督員と協議の上使用する。
塗厚　内壁　※ 720　床　※ 730
外壁　※ 730

ラスカットモルタル　・ ノダ　ラスカット　モルタルＩ　ｔ＝16以上　専用目地材
厚さ　・ 7.5（木造用）　・ 9（鉄骨用）

樹脂モルタル塗　・ 断熱材上のモルタル塗個所　イビケン　イビジュシモル　塗厚7ミガラスクロス入り
外部コンクリート面下地処理　・ 外部コンクリート面吹き付け下地処理はイビカチオンフィラーコテ塗り736とする。
ＡＬＣ面下地処理　・ ＡＬＣ面吹き付け下地処理はセメント系フィラーコテ塗りとする。

吹　付　材

・	使用個所	材　料
⊙	外壁	高弾性吹付タイル　レナエクセレント程度
・	内壁	
・	軒裏	
・	既設外壁	

１７章　建　具　工　事

該当無し

１８章　硝　子　工　事

硝　子

符　号	種　別	厚さ・仕様
ＦＬ	フロート板ガラス	
Ｆ	型板ガラス	
ＳＦＬ	強化板ガラス	図示
ＰＷ	網入り磨き板ガラス	
ＦＷ	網入り型板ガラス	
ＧＢ	熱線吸収板ガラス	
ＨＧＢ	熱線反射板ガラス	
ＰＦＬ	複層ガラス	

硝子留め　⊙ シリコンシーリング　・ ビート
※ 不燃シーリング　（延焼のおそれのある部分）
防煙タレ壁　・ サンスモークカット（旭硝子）線入ミガキ板ガラスｔ＝6.8　高さ　：平面図参照
ガラスブロック　・ 150　・ 200
カ　ガ　ミ　・ クリアーｔ＝6　・ ブロンズ、グレーｔ＝6　6面取り

１９章　塗　装　工　事

一　般　事　項

製品及び製造所等､指定のあるもので製品仕様が定められている場合はその仕様基準による。
上塗用の塗材は原則として指定された材料で、色艶共に製造所において調合した見本を提出し承認を受ける。

見　本

素地ごしらえ

鉄　面	・ Ａ種	・ Ｂ種	・ Ｃ種
コンクリート面	・ Ａ種	※ Ｂ種	
石膏ボード面	・ Ａ種	※ Ｂ種	
鉄　面	・ Ａ種	※ Ｂ種	
亜鉛メッキ面	・ Ａ種		

合成樹脂調合ペイント塗

屋内は１種、屋外は２種とする。

木　面	標準仕様	
鉄　面	・ Ａ種	※ Ｂ種
亜鉛メッキ面	標準仕様	

合成樹脂エマルジョンペイント塗	ＥＰ ・	・ Ａ種　※ Ｂ種
塩化ビニール樹脂エナメル塗	ＶＥ ・	・ Ａ種　※ Ｂ種
アクリル樹脂エナメル塗	ＡＥＰ ・	・ Ａ種　※ Ｂ種
クリヤラッカー塗	ＣＬ	・ Ａ種　・ Ｂ種
ウレタン樹脂ワニス塗	一般	・ Ａ種　※ Ｂ種
フッ素樹脂エナメル塗	ＦＵＥ	※ つや有り
2液型ポリウレタン	ＵＣ	3回塗
オイルステイン	ＯＳ	3回塗
キシラデコール		3回塗
サンシルバー		

・ ノンアスベストタイプ防食塗料（三晃金属工業）

２０章　内　装　工　事

一　般　事　項

壁及び天井の仕上材は不燃又は準不燃認定表示のあるものとする。
※ 室内仕上表参照のこと

長尺ビニールシート貼　・ タジマ　・ パーマリュウームセサミ
ＡＣフロアー　・ タジマ
ビニールタイル300角　・ タジマ　・ ピサロンコリンズ　・ ロンドタイル
点字タイル　・ タジマ　・ ガイドタイルＳＳ-44　ＬＬ-44
カーペットタイル　・ タジマ　タピスブレーヌⅡ
ラディフェンスタイル　・ 東邦亜鉛株式会社　Ｘ線防護ビニールタイル　305×2
クッションフロアー　・ タジマ　ＧＰフロア　ｔ＝2.3
フローリング　天龍木材　パインフロア　ｔ＝15（ＭＰＦ1512－39Ｔ）
フロアー合板　・ 松下　クラックレスフロアー　ｔ＝12
直貼りフロアー合板　・ 松下　ウッディクラックレス452　ｔ＝13
フロアライン　・ フロアーラインｔ＝6.5　トーヨー工業
ソフト巾木　・ Ｈ＝75　タジマ　ＨＢ-3　・ Ｈ＝60　・ 階段用
ウッディ巾木　・ Ｈ＝75　・ Ｈ＝50　※ 原則既製品とする
バスリブ　・ 松下　広幅ＤＸ　巾300
アルミバスリブ　・ 松下バスリブ準不燃シリーズⅡ4本溝タイプ
Ｐ　Ｂ　⊙ 有孔石膏ボードｔ＝9.5　不燃　・ 石膏ボードｔ＝12.5　不燃
・ 強化石膏ボードｔ＝15+15　耐火　・ 耐水石膏ボードｔ＝12.5　不燃　（外壁下地）
クロス、下地個所はベベルエッジボードとしパテ処理をすること。
ＡＬＣ、コンクリート、ブロック面はＧＬ工法とする。

化粧ＰＢ（和風）　・ 和室天井用440×3640×12.5　不燃
化粧ＰＢ（収納用）　・ 収納ボード910×2420×12.5
マーブルトーン　・ 9.5×910×910　・ 準不燃　・ 不燃
ジプトーン　・ 9.5×910×910　・ 準不燃　・ 不燃
ソーラトン本実　・ ロックウール吸音板立体模様300×600×12
ミネラートンキューブ　・ ロックウール吸音板立体模様300×600×19　ボーダーｔ＝12
・
クロス　・ ＜ＡＡ＞級　・ ＜Ａ＞級　・ ニート級
・ 化粧不燃　・ 化粧準不燃
天然銘木合板　・ ダニタニ　天然銘木合板ｔ＝5.5　塗装品　3×6
ケイカル板　・ 無石綿ケイサンカルシュウム板　不燃　・ ｔ＝6　・ ｔ＝8
フレキシブルボード　・ 高強度不燃ボードｔ＝6　・ ｔ＝3　隔壁用
セルジーボード　・ 無石綿繊維混入石膏板　不燃　Ｒ面半径300㎜以上　（アスク）
畳　・ 畳は、ＪＩＳＡ5902（畳）に準じる表示のあるものとする。　・ スタイロ畳ｔ＝55
・ 900×1800　・ 900角
・ ヘキ付き　・ ヘりなし
化粧吸音グラスウール　・ ガラスクロス貼り40ｋｇ　ｔ＝25　スピンドルピン止め
床下断熱材　・ カネライトフォーム　インサーエ法　ｔ＝50
・ スタイロフォーム　720
壁断熱材　・ カネライトフォーム　ｔ＝50
・ スタイロフォーム　720　・ 硬質発砲ウレタン吹き付け　750
・ グラスウール24ｋｇ　・ 750　・ 7100
天井断熱材　・ マイクロＧウールｔ＝100　ＭＡＧ　ＴＲ1610
・ 日本製紙　ジェイトファイバー　ｔ＝100吹込
・ カネライトフォーム　タルキフォーム　ｔ＝55
谷コイル裏断熱材　・ 硬質発砲ウレタン吹き付け　720
デッキ裏断熱材　・ 硬質発砲ウレタン吹き付け　720
スラブ下結露防止材　・ 硬質発砲ウレタン吹き付け　715

２１章　雑　工　事

一　般　事　項

製造所の製品はその製造所の仕様による。
家　具　施工図提出後、監督員の承認を受けて製作する。
流し台　・ クリナップ　クリンプレティ
流し台：ＣＲ－120ＭＴＹＲ　ガス台：ＣＲ-60ＫＹ　吊り棚：ＣＲ-60Ｙ　レンジフード
キッチン　・ システムキッチン　クリンレディ　クリナップ（株）
・
天井裏換気孔　※ 延焼のおそれのある部分はＦＤ付とする。
・ 塩ビ φ150　・ ＳＵＳ製 φ 150
・ アルミ製　φ150　ヶ所　キョーワナスタ
⊙ ステンレスベントキャップ　φ150　1ヶ所
・ 防虫網
床下換気孔　・ ＳＵＳ製　ヶ所
室　名　札　・ キョーワナスタ　ピクトサイン

２２章　そ　の　他

工事用看板　サイズ　900×1800

（仮称）００００００００建築工事
施　主　０　０　０　０　０
設計・監理　０　０　０　０　０
施　工　０　０　０　０　０

提　出　書　類

着　工　時	名　称
○	着工届
○	主任技術者届　（経歴書）
○	現場代理人届　（経歴書）
	工事契約書写し
	工事費内訳書
○	工程表
○	協力業者名簿
○	工事用設計製本Ａ3版　白焼　縮小コピー　1部

工　事　途　中	名　称	
○	月間工程表	定例会議時に提出
○	週間工程表	
○	打合せ記録、疑義文書、前回決定事項	
○	各施工計画書	
○	各施工図、承認図	

完　成　時	名　称
○	完成届
	建物引渡書
	鍵、備品引渡書
○	完成写真　（ネガ共）　2部（下記参照）
○	各種試験結果報告書
○	各種保証書
	取扱説明書
○	各官公庁届書
○	保守工事連絡先表
○	完成図　製本Ａ3版　白焼　縮小コピー　2部　及びデーター（引渡し後２週間以内に提出）

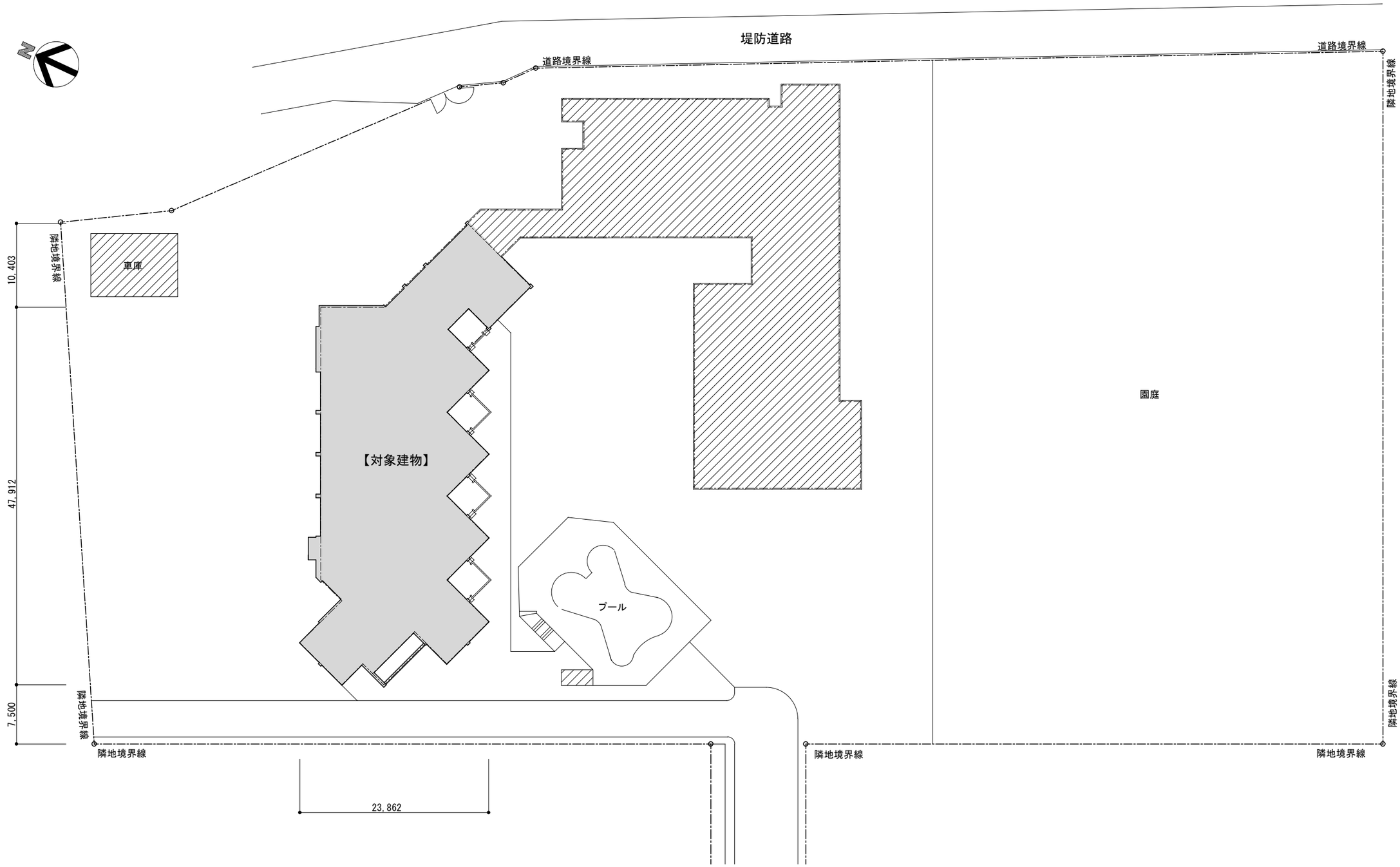
※ その他指示する書類は速やかに提出する事。

工　事　写　真	
着　工　時	現況敷地及び周辺道路、建物、工作物等の写真（Ｅ版）
工　事　中	進歩状況の撮影記録をすると共に、特に隠蔽又は埋設部分には被写真に巾広テープを添えて撮影する。
整　理	場所及び工種別に見出しをつける。
完　成	外部工事完了面 内部工事完了部分 ファイルにまとめ２部提出する。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	特記仕様書　＜２＞	
製図	検図	日付	縮尺	

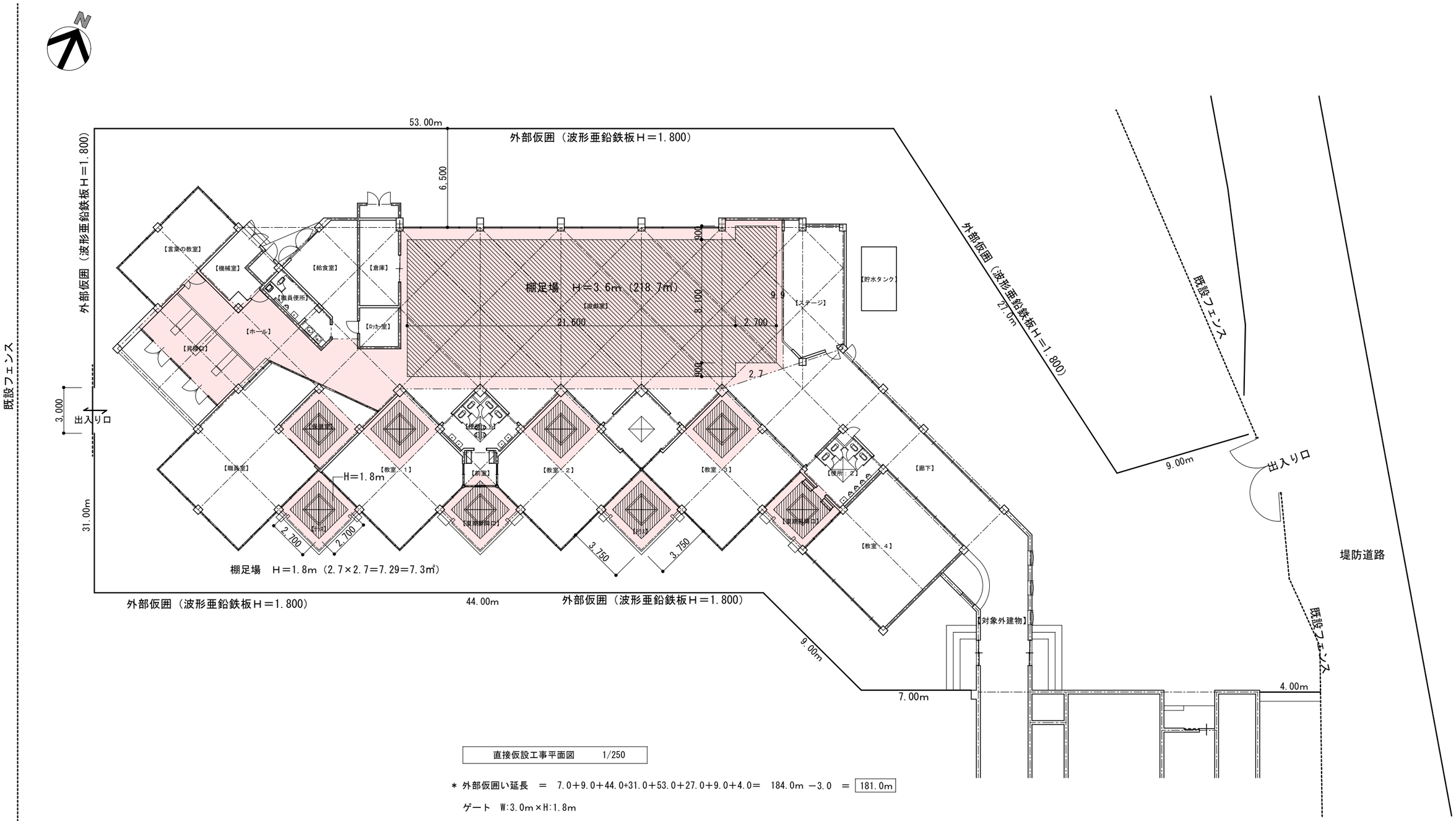
一級建築事務所　**島　設　計**
一級建築士　登録第175920号　此　島　茂　樹

図面番号　A-2



配置図　1/500

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　配置図		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:05	縮尺　1/500	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ０



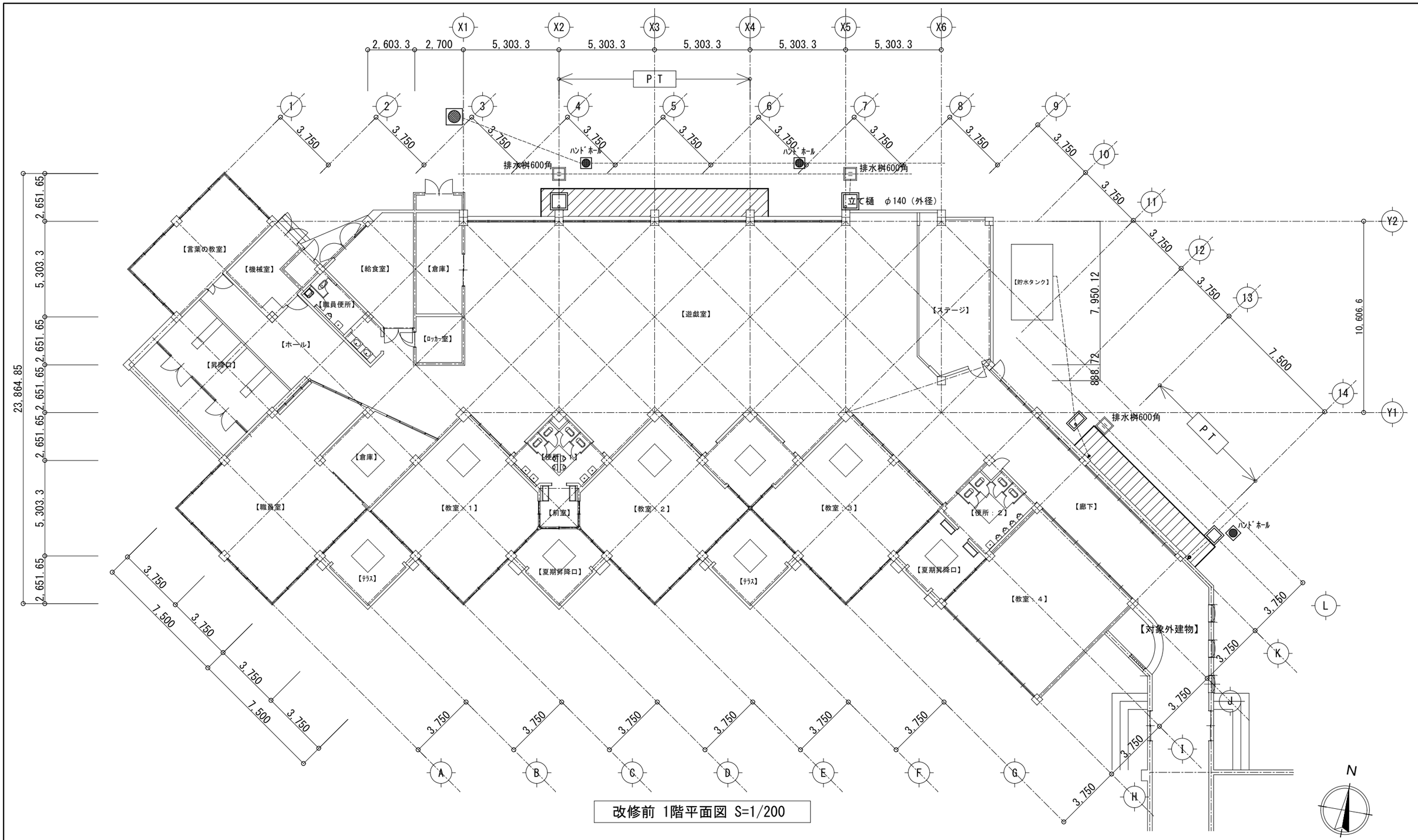
直接仮設工事平面図　1/250

＊ 外部仮囲い延長 ＝ 7.0＋9.0＋44.0+31.0＋53.0＋27.0＋9.0＋4.0＝ 184.0m －3.0 ＝ 181.0m

ゲート W:3.0m×H:1.8m

＊ 内部床養生・清掃、片付け面積 ＝ 341.50 ＋ （3.75×3.75×８ヶ所） ＝ 454.0㎡

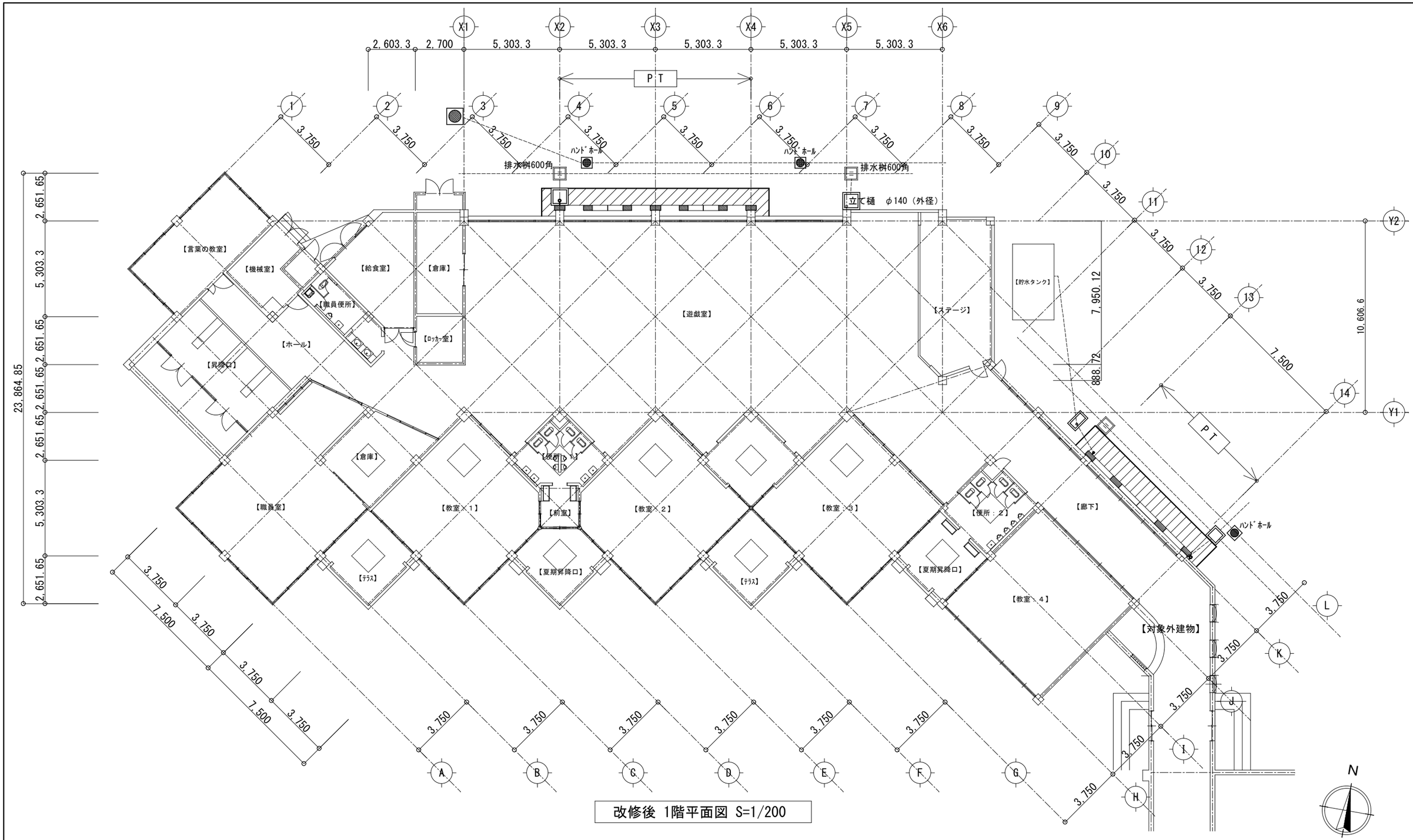
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	直接仮設工事平面図	一級建築事務所 島設計	図面番号
製図	検図	日付 2015:04	縮尺 1/250	一級建築士 登録第１７５９２０号 此島茂樹	Ｐ１



改修前 1階平面図 S=1/200

		P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	掘削範囲				

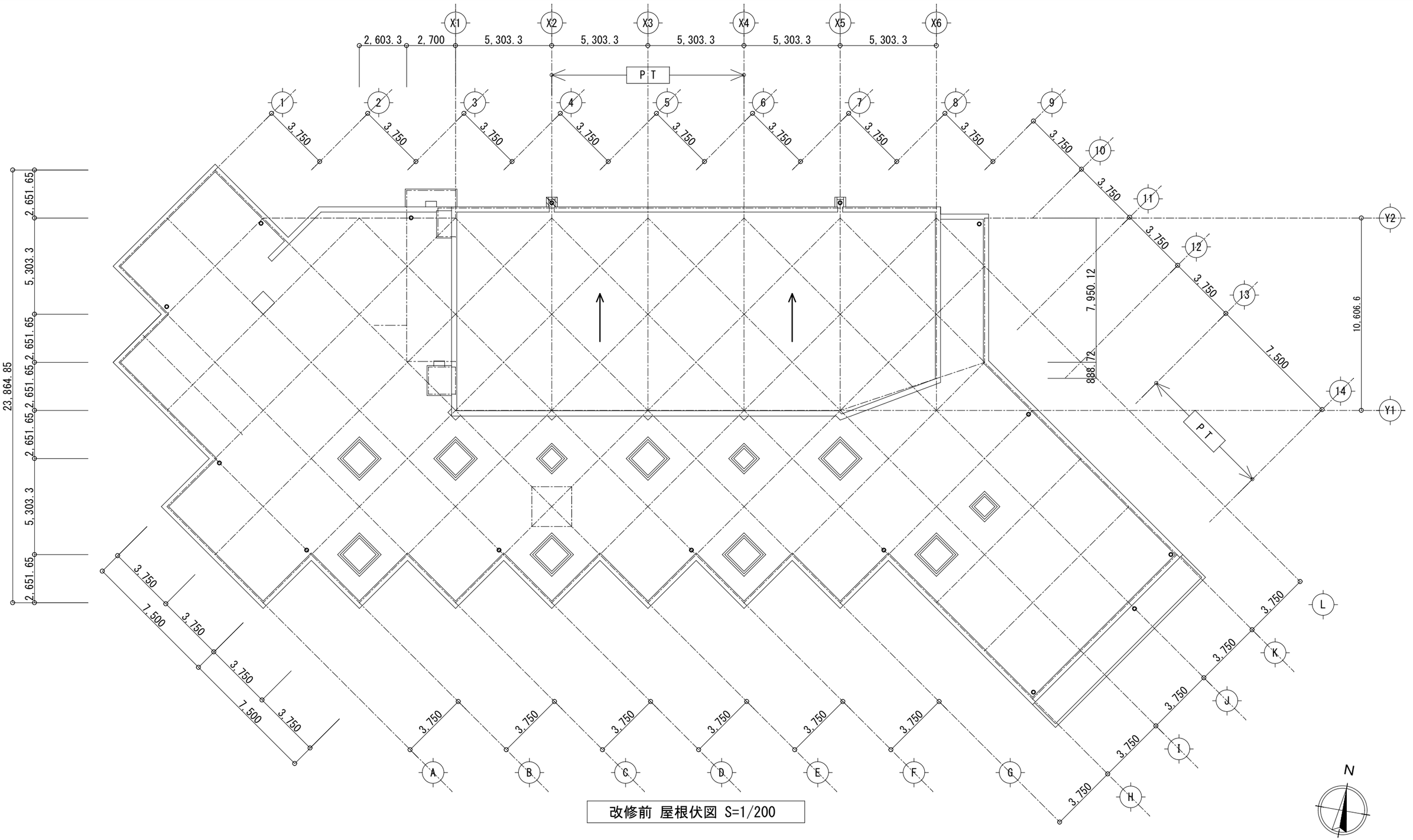
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称 改修前 1階平面図	一級建築事務所 島 設 計		P 2
製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：200	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹



改修後 1階平面図 S=1/200

		P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	埋め戻し範囲				

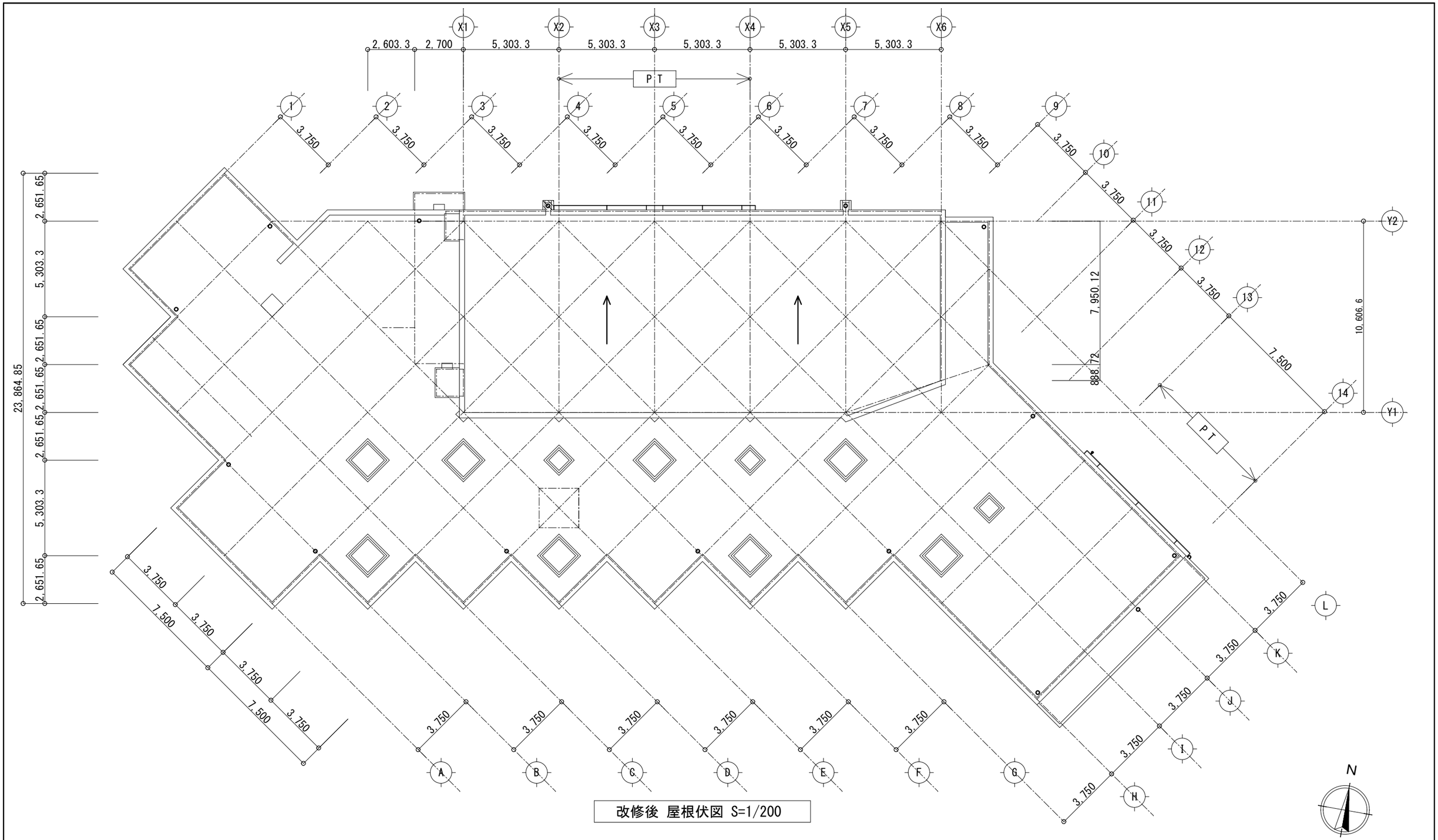
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称 改修後 1階平面図	一級建築事務所 島 設 計	P 3	
製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：200	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹



改修前 屋根伏図 S=1/200

	撤去範囲（地中部分は目荒しのみ）	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		

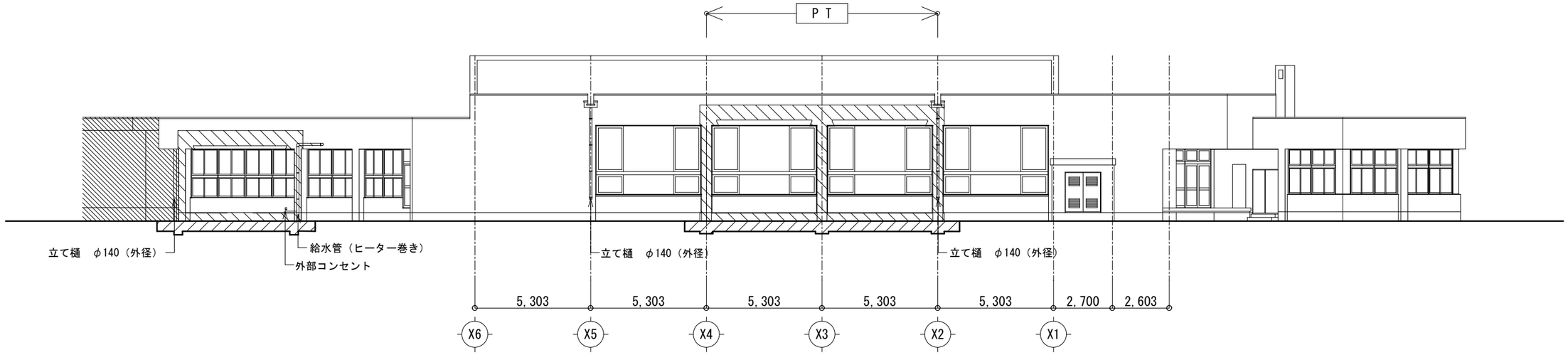
	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称 改修前 屋根伏図	一級建築事務所 島 設 計	P 4
	製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：200	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹



改修後 屋根伏図 S=1/200

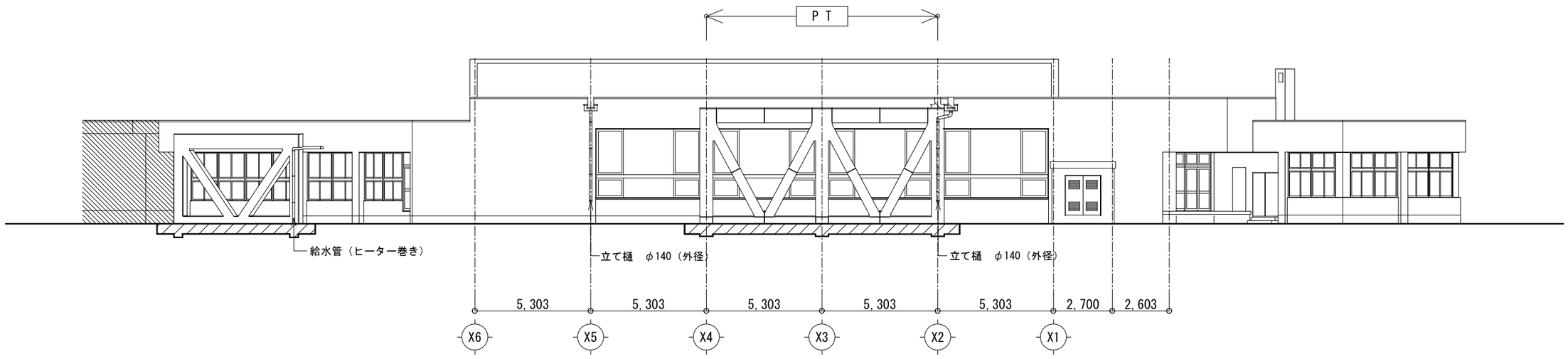
	復旧範囲・新設範囲	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		

	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称 改修後 屋根伏図	一級建築事務所 島 設 計	P５
	製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：200	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹



改修前 北立面図 S=1/200

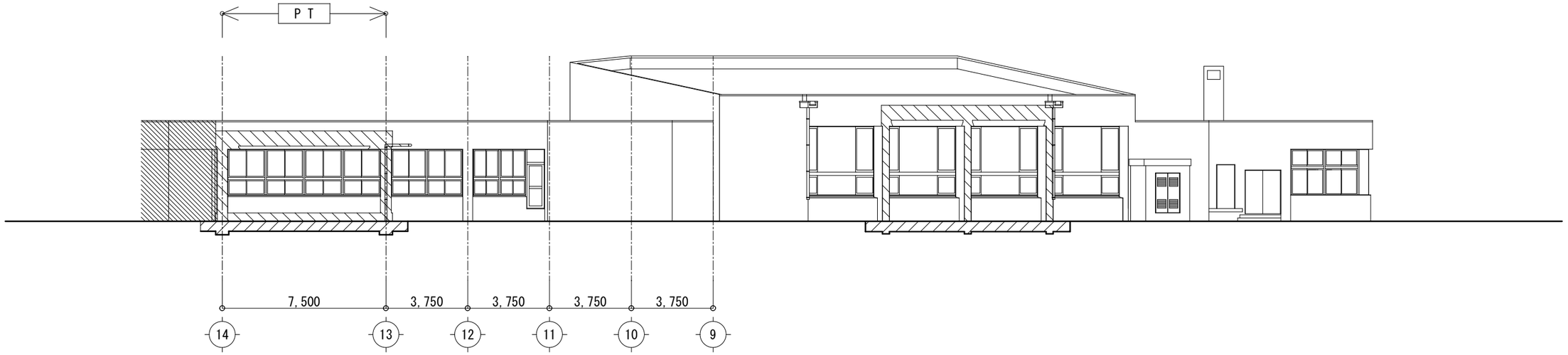
	撤去範囲（地中部分は目荒しのみ）	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	掘削範囲				



改修後 北立面図 S=1/200

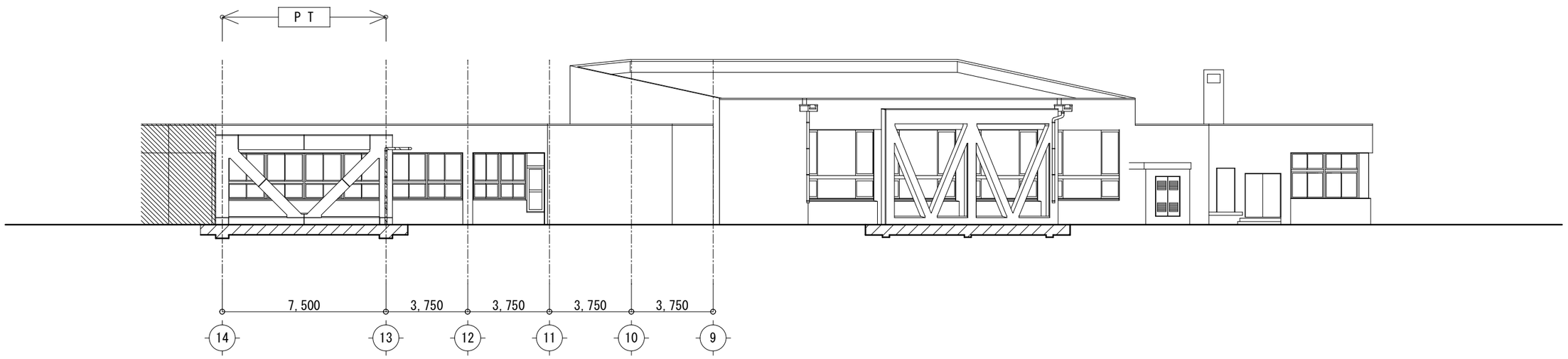
	復旧範囲・新設範囲	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	埋め戻し範囲				

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　改修前後　北立面図	一級建築事務所　島　設　計		P６
製図	検図	日付　2015:03	縮尺　1：200	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹



改修前 北東立面図 S=1/200

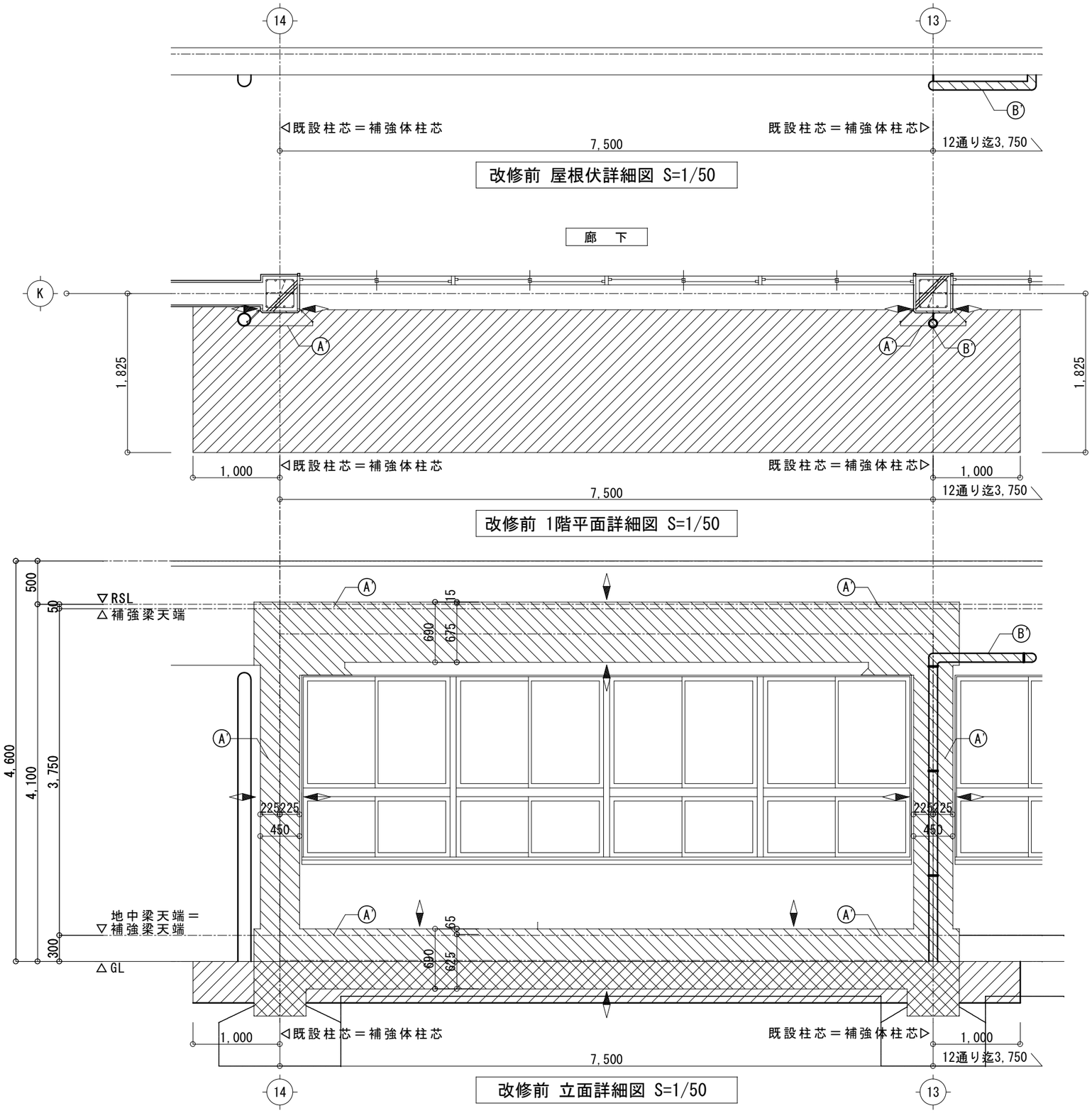
	撤去範囲（地中部分は目荒しのみ）	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	掘削範囲				

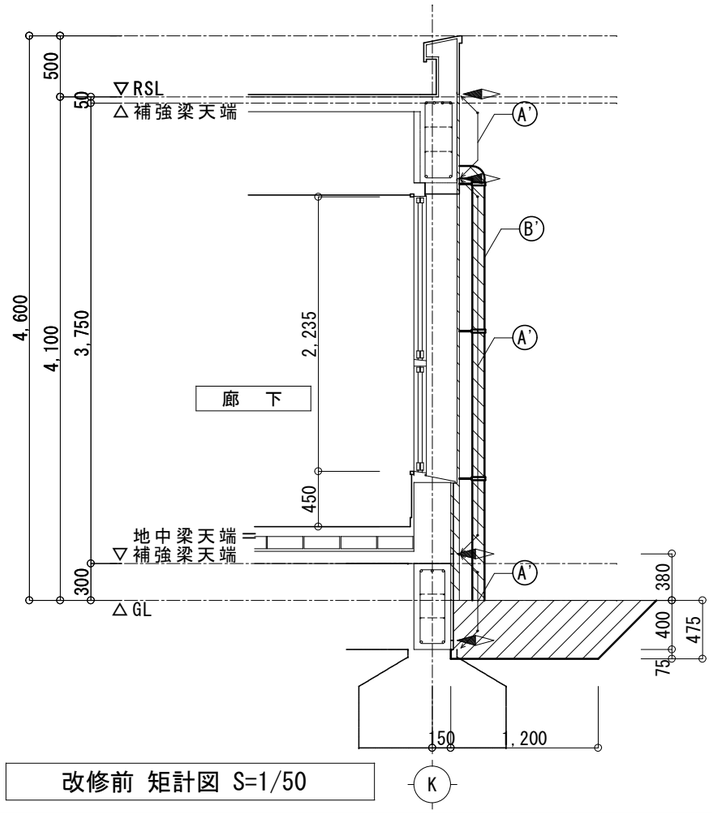


改修後 北東立面図 S=1/200

	復旧範囲・新設範囲	P T	外付耐震補強部分（鋼板内蔵耐震ブレースを示す。）		
	埋め戻し範囲				

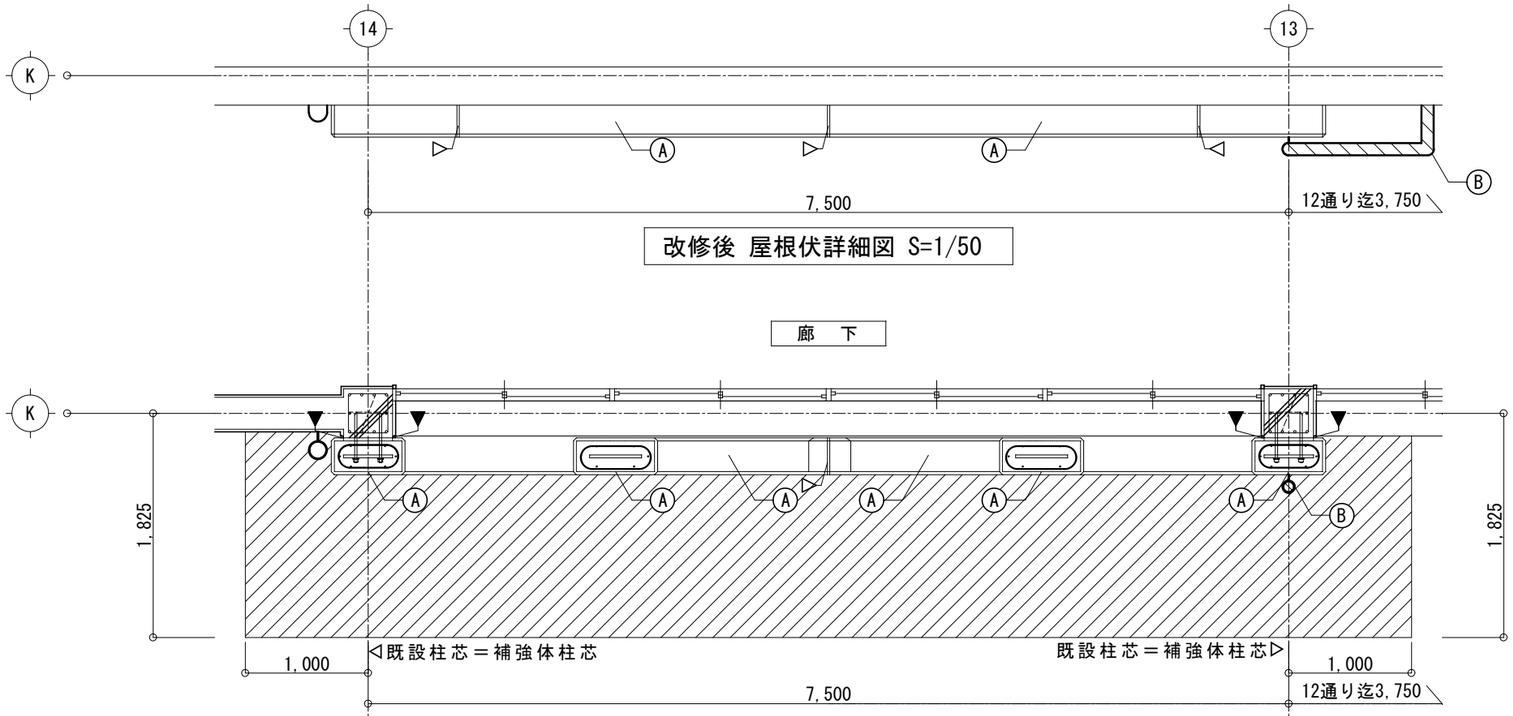
	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　改修前後　北東立面図	一級建築事務所　島　設　計	P 7
	製図 / 検図	日付　2015:03	縮尺　1：200	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹





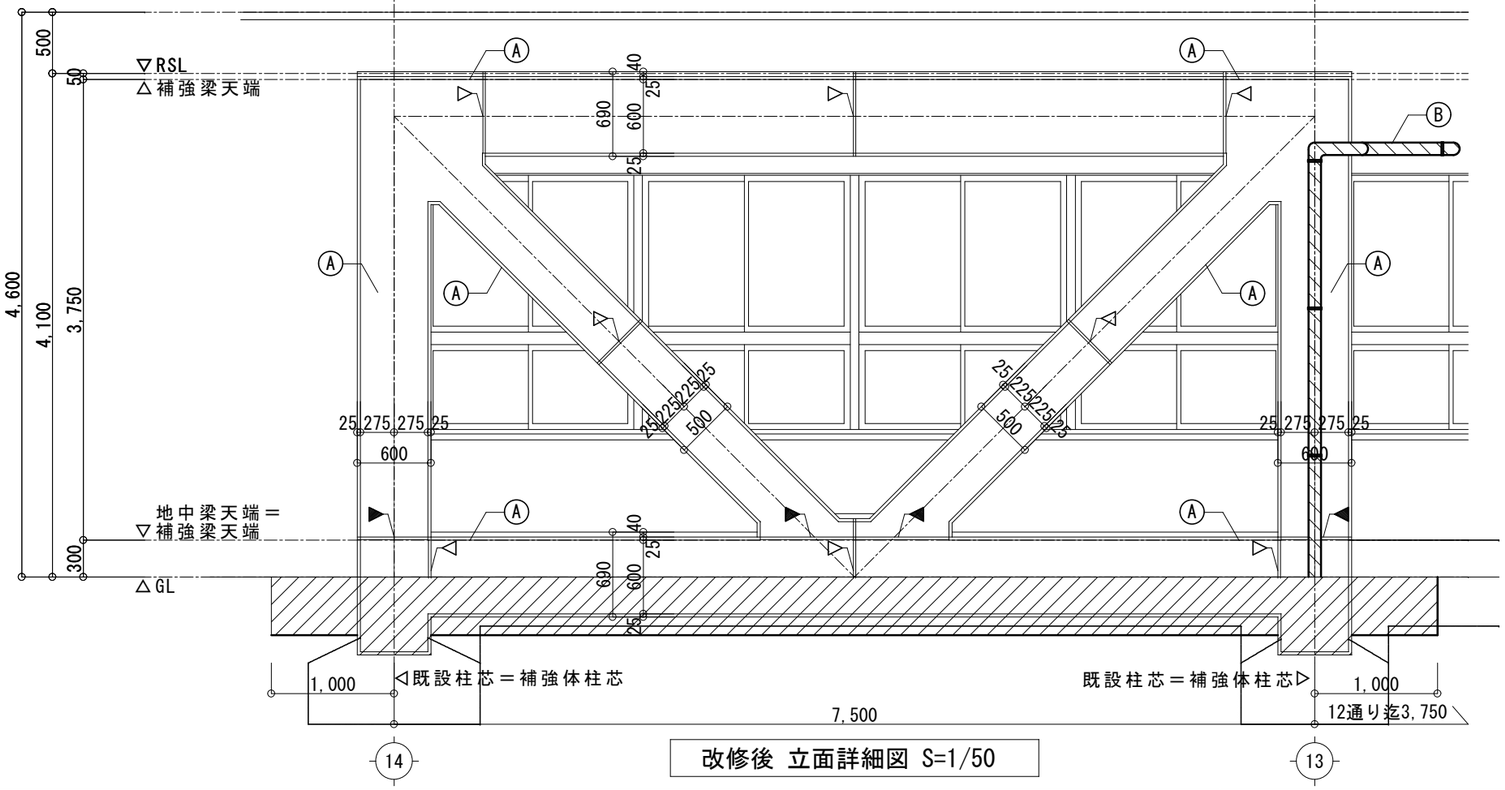
	撤去範囲（地中部分は目荒しのみ）
	掘削範囲
	カッター入れ
A'	柱・梁・壁：仕上（吹付ﾀｲﾙ）下地（合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し）
	撤去の上目荒らし（周囲ｶｯﾀｰ入れ）
B'	給水管（ヒーター巻き）撤去
注記	地中埋設管は施工前に十分な調査を行い監督員と協議の上適切な位置まで撤去とする

	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称	改修前 K通り補強詳細図	一級建築事務所 島設計	P 8
	製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：50	一級建築士 登録第１７５９２０号 此島茂樹



改修後 屋根伏詳細図 S=1/50

改修後 1階平面詳細図 S=1/50

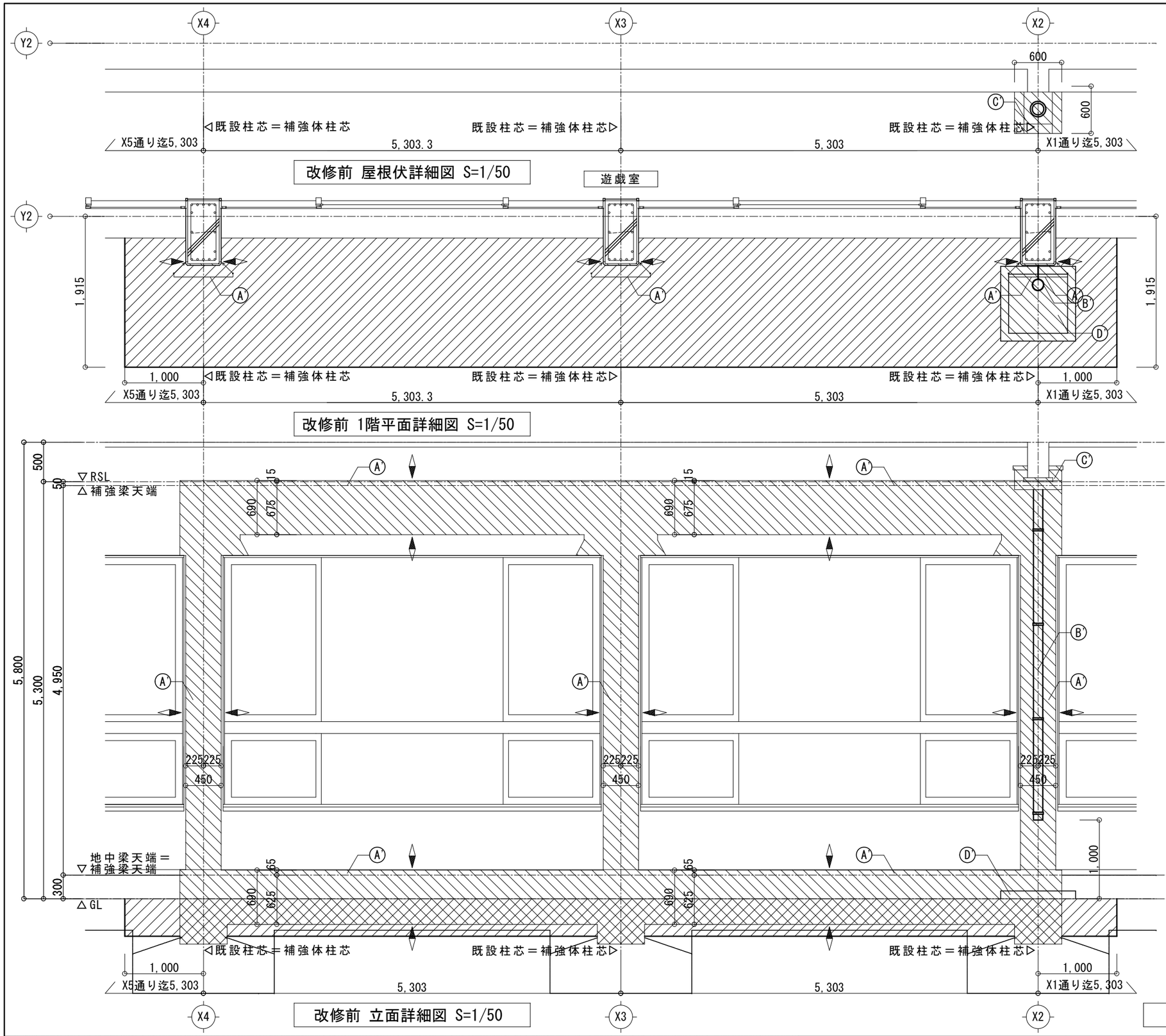


改修後 立面詳細図 S=1/50

改修後 矩計図 S=1/50

	復旧範囲・新設範囲
	埋め戻し範囲
	取合目地・打継目地　シーリングPU2
	化粧目地　シーリングPU2
Ⓐ	補強体：打放し補修の上防水形複層塗材E
	梁天端：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)
Ⓑ	給水管（ヒーター巻き）新設
注記	補強梁天端は適切に水勾配を取ること。 補強体吹付仕上面は下地調整の上、 防水形複層塗材E(高弾性吹付)とする。 地中埋設管は既存同径程度のVP管にて新設とする 範囲は監督員と協議とする。

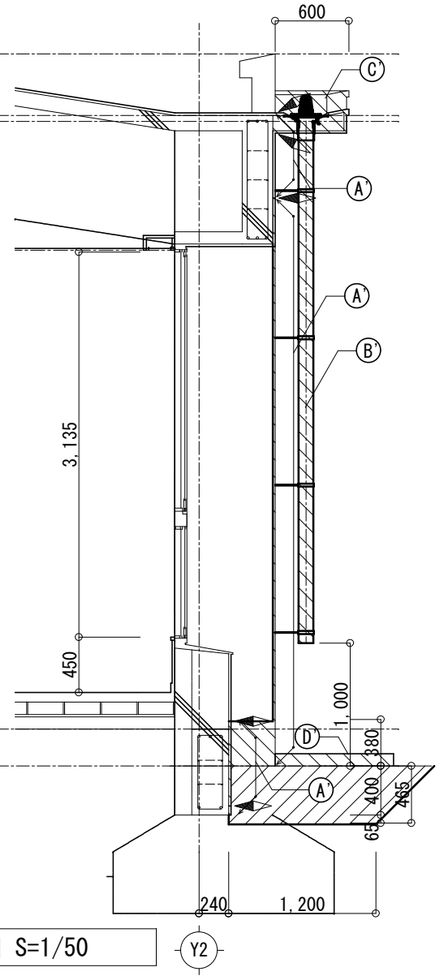
	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　改修後 K通り補強詳細図	一級建築事務所　島　設　計	P９
	製図	検図	日付　2015:03	縮尺　1：50	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹



改修前 屋根伏詳細図 S=1/50

改修前 1階平面詳細図 S=1/50

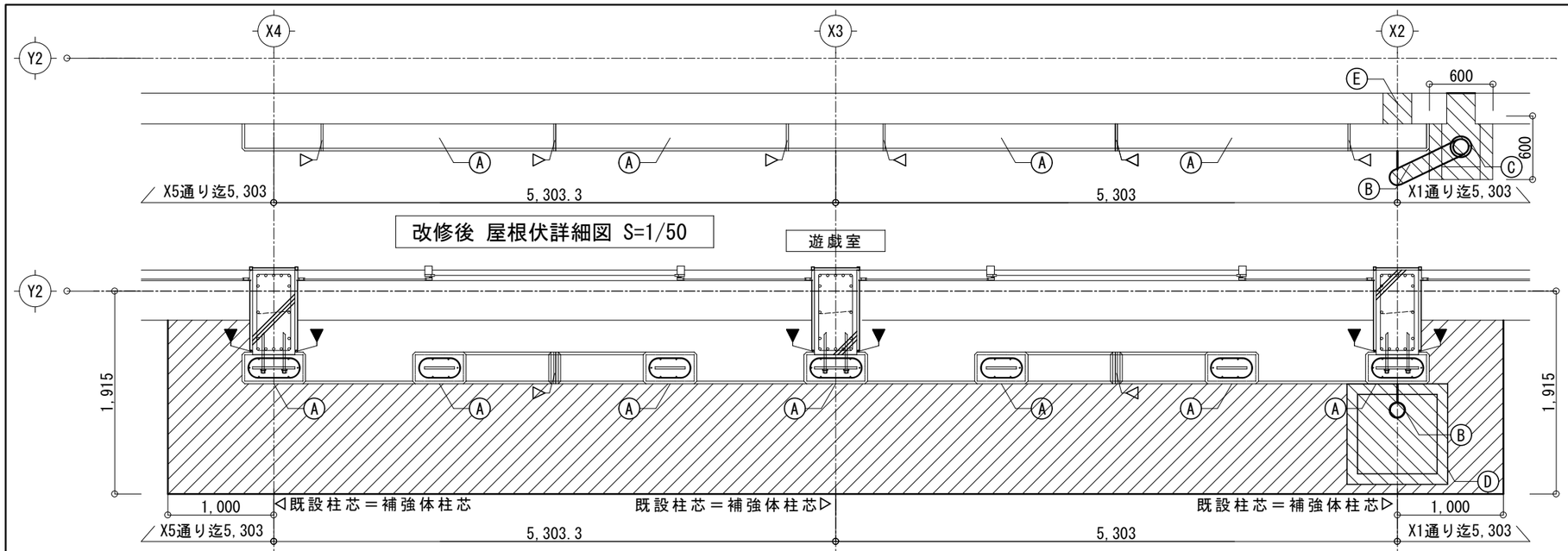
改修前 立面詳細図 S=1/50



改修前 矩計図 S=1/50

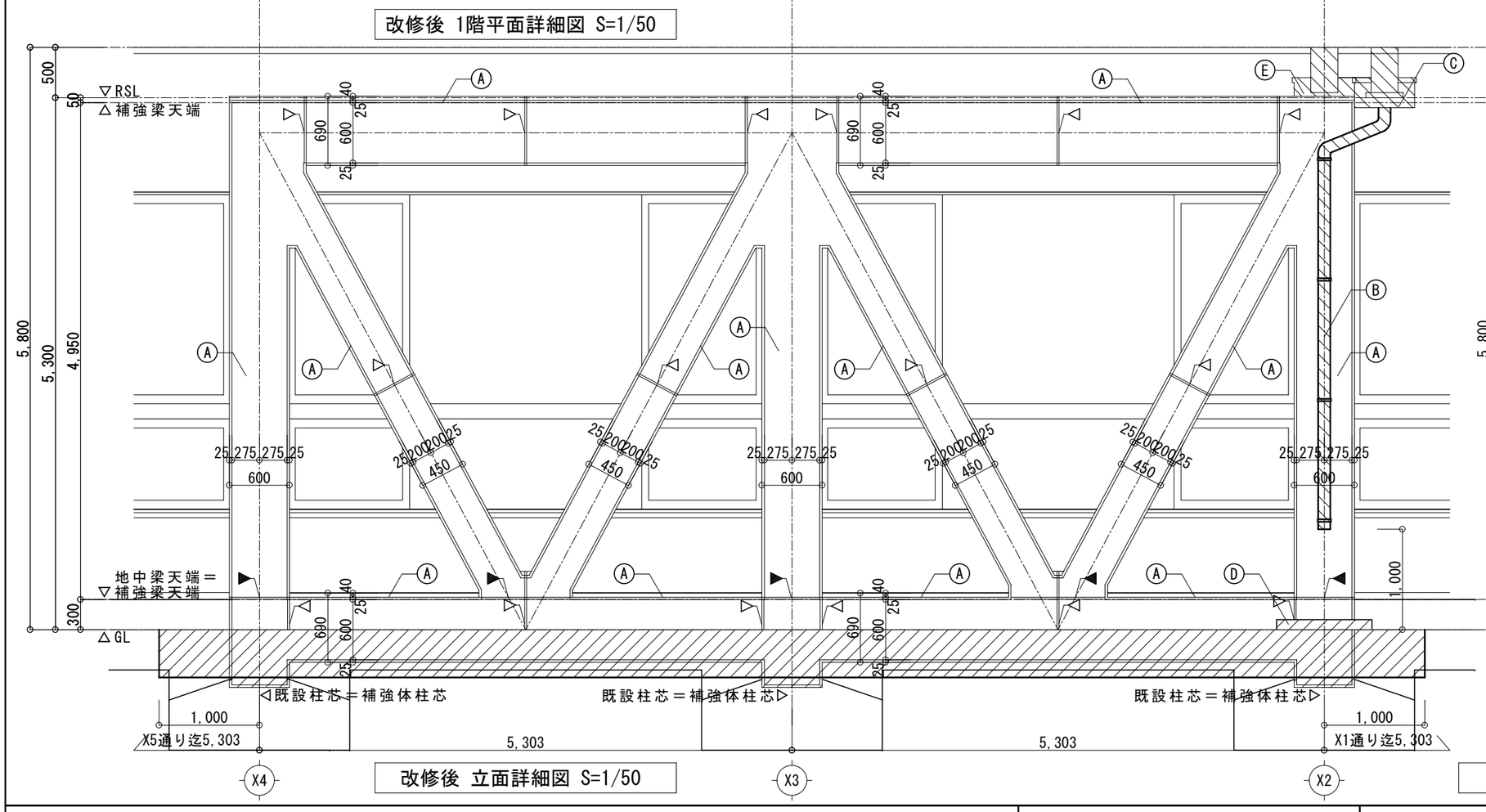
	撤去範囲（地中部分は目荒しのみ）
	掘削範囲
	カッター入れ
A'	柱・梁・壁：仕上（吹付ﾀｲﾙ）下地（合板型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し）
	撤去の上目荒らし（周囲ｶｯﾀｰ入れ）
B'	竪樋：VPφ140撤去
C'	飾り桝：コンクリート製（ドレーン）撤去
D'	排水桝：コンクリート製750角撤去
注記	地中埋設管は施工前に十分な調査を行い監督員と協議の上適切な位置まで撤去とする

	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称	改修前 Y2通り補強詳細図	一級建築事務所	島 設 計
	製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：50	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹

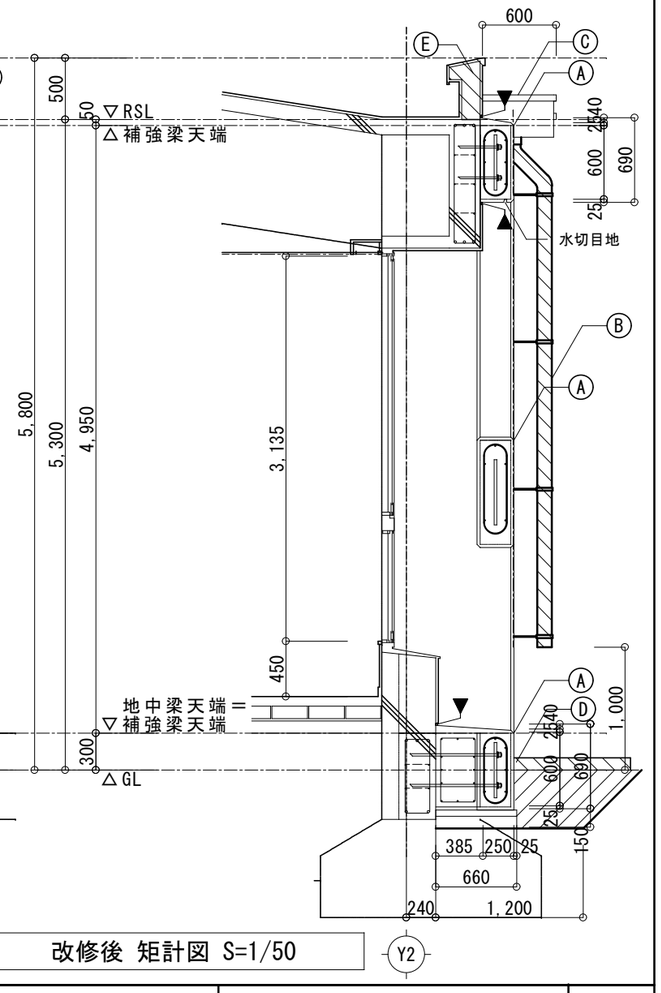


改修後 屋根伏詳細図 S=1/50

改修後 1階平面詳細図 S=1/50



改修後 立面詳細図 S=1/50



改修後 矩計図 S=1/50

	復旧範囲・新設範囲
	埋め戻し範囲
	取合目地・打継目地　シーリングPU2
	化粧目地　シーリングPU2
Ⓐ	補強体：打放し補修の上防水形複層塗材E
	梁天端：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)
Ⓑ	竪樋：VPφ140 SOP新設
Ⓒ	飾り桝：コンクリート製（ドレーン）新設
Ⓓ	排水桝：コンクリート製750角新設
Ⓔ	パラペット増設：外壁側打放し補修の上防水型複層塗材E
	：屋根側打放し補修の上防水層新設
注記	補強梁天端は適切に水勾配を取ること。 補強体吹付仕上面は下地調整の上、 防水形複層塗材E(高弾性吹付)とする。 地中埋設管は既存同径程度のVP管にて新設とする 範囲は監督員と協議とする。

	幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称	改修後 Y2通り補強詳細図	一級建築事務所	島 設 計
	製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：50	一級建築士 登録第１７５９２０号 此 島 茂 樹

P11

鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法　特記仕様書　その１　（'12,01,05 更新版）

'14,03,03 改訂

○総則○

特記仕様書の運用方法

（１）□印を付した事項は■印を付した事項のみを適用する。

（２）表中の数字、文字、または記号を記入する事項は記入してある事項のみを適用する。

（３）═══で抹消した章および項目の当該特記事項はすべて適用しない。

（４）特記された材料、製造所、製品名、施工業者などの取扱いは、特記されたもの又は同等品以上のものとする。ただし、同等品以上のものを使用する場合は、工事監理者の承諾を受ける。

○鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法コンセプト○

（１）鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法とは既存鉄筋コンクリート構造建物躯体の外面に、鋼板を内蔵したＲＣ部材を固着力およびあと施工アンカーにて固定・一体化し、既存建物の靭性改善・耐力向上をはかる工法をいう。

○鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法施工手順○

（１）標準的な施工手順を以下に示す。なお作業上の都合により手順が入れ替わってもよいものとする。

１．使　用　材　料

１．１ブレース種別

■ボンドブレース　　□ボンドレスブレース

１．２補強鋼板

（１）材質　ＪＩＳＧ３１３６　■ＳＮ４００Ｂ　□ＳＮ４００Ｃ　□他（　　）

ＪＩＳＧ３１０１　□ＳＳ４００（フィラープレートのみ）　□他（　　）

ＪＩＳＧ３１０６　□ＳＭ４００Ｂ　□ＳＭ４００Ｃ　□他（　　）

（２）板厚　□９㎜　□１２㎜　□１６㎜　■１９㎜　□２２㎜　□２５㎜

（３）接合方法　■高力ボルト接合（Ｓ１０Ｔ）□溶接接合

１．３座金

（１）材質　ＳＳ４００相当

１．４鉄筋

（１）アンカー筋　径　■Ｄ１６　■Ｄ１９　□Ｄ２２

材質　ＳＤ３４５

（２）組立筋　径　Ｄ１３

材質　ＳＤ２９５Ａ．Ｂ

（３）乱れ防止筋　径　Ｄ１０

材質　ＳＤ２９５Ａ．Ｂ

（４）割裂防止筋　径　Ｄ６

材質　ＳＤ２９５Ａ．Ｂ

径　Φ６（JIS G 3551 に適合するもの）

材質　ＷＦＰ，ＷＦＣ，ＢＦＳＲ２３５，ＢＦＳＲ２９５，ＢＦＳＤ２９５

（５）打増し部補強筋　径　補強詳細図による

材質　ＳＤ２９５Ａ．Ｂ

１．５コンクリート

（１）種類　■普通コンクリート　□流動化コンクリート

□その他（　　）

（２）設計基準強度　（　３０　）Ｎ／㎟

（３）最大粗骨材寸法　２０㎜又は、２５㎜

（４）使用混和剤　高性能ＡＥ減水剤

（５）スランプ　２１ｃｍ

（６）その他、コンクリートに関する規定はＪＡＳＳ５に準ずるものとする。

１．６あと施工アンカー

（１）種類　接着系あと施工アンカー

（２）下記メーカーもしくは同等品以上、またはＪＣＡＡ認証品とする

・日本ヒルティ株式会社　ＨＶＵアンカー，ＨＩＴアンカー[ＲＥ型]

・旭化成ケミカルズ株式会社　ＡＲケミカルセッター［ＡＰシリーズ，ＨＰシリーズ]，[ＥＸ４００]

・日本デコラックス株式会社　ケミカルアンカー［Ｒタイプ，ＣＥタイプ，Ｈタイプ，ＲＳタイプ，ＲＸタイプ]

・前田工繊株式会社　ボルトメイト［ＴＧシリーズ]

・フィッシャー　フィッシャーレジンアンカー［ＲＭタイプ]

・エヌパット株式会社　パーフィクス［レジンカプセル，ハーモニックアンカー]

・サンコーテクノ株式会社　サイズミックカプセル［ＶＥタイプ]

２．部　材　規　定

２．１　あと施工アンカー

（１）鋼板取付き側端部処理

■ Ｄ１６……Ｍ１６（５／８”）のネジ加工

■ Ｄ１９……Ｍ２０（３／４”）のネジ加工

□ Ｄ２２……Ｍ２２（７／８”）のネジ加工

（２）有効埋め込み深さ　１０ｄａ　※ｄａは鉄筋の呼び径

（３）へりあき　２．５ｄａ以上かつ既存躯体の主筋の内側

（４）ふちあき　あと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（５）ピッチ　７．５ｄａ以上かつあと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（６）ゲージ　通常は５．５ｄａ以上、千鳥状配置の場合は４ｄａ以上かつあと施工アンカーの有効埋込み深さの２倍以下

（７）配列　配列は２列以上とし、部材に均等ピッチで配置する

２．２　鋼板

（１）入り隅処理　ｒ＝３０㎜以上のコーナー加工

（２）アンカー用孔

■Ｄ１６……Φ３５㎜以下　■Ｄ１９……Φ４０㎜以下　□Ｄ２２……Φ４５㎜以下

２．３　割裂防止筋

（１）形状など　形状　□楕円　■長円のループ形状（■閉鎖型　□スパイラル）

■Ｕ型形状　■柱梁接合部（　□Ｉ型形状　□メッシュ筋　■両方可）　□図面による

（２）ループ形状の場合の端部処理

■重ね継手　□フラッシュバット溶接

※重ね継手の場合は、重ね長さ１０ｄａ以上とし、溶接長さは片面６ｄａとする

（３）下記メーカーもしくは同等品以上とする

・株式会社テクノサポート　製作品

・ジャパンライフ株式会社　製作品

・有限会社東洋建材工業所　製作品

２．４　組立筋

（１）本数

補強部材せい（$_{B}$Ｄ）㎜	本数
■　$_{B}$Ｄ＜６００	４本
■　６００≦$_{B}$Ｄ＜９００	６本
□　９００≦$_{B}$Ｄ＜１２００	８本
□　１２００≦$_{B}$Ｄ	３００ピッチ以下

２．５　座金

（１）形状　□Φ５０以上　■□４５×４５以上

（２）厚み　９㎜

３．施　工

３．１　既存部下地処理工事

（１）補強部材が取付く部分の既存躯体表面は構造体コンクリートを露出させ、適切な目荒しなどの処理を行う。

（２）目荒し深さと範囲

ａ）チッパーの場合

目荒し深さは既存躯体面から５～１０㎜程度の凹みとし、目荒し面積は接合面の全面に渡り面積比で３０～５０％程度の目荒しを行う。

ｂ）ビシャン、水圧（ウォータージェット）の場合

目荒し深さは既存躯体面から５㎜程度の凹みとし、目荒し面積は接合面の全面に渡り面積比で９５～１００％の目荒しを行う。（水圧による目荒しを実施する場合には、試験にて水圧を調整すること。）

（３）既存躯体がウォールガーダーもしくは打放しコンクリートに直塗装である場合の目荒し方法は、アンカー貫通の低減と塗料残存影響の低減を図るため、ビシャン又は、ウォータージェットによる目荒しとする。

（４）目荒しは他の部分に影響を与えないよう、目荒しの境界にカッターを入れ、不要な範囲の損傷は避ける。

また、目荒しは、必要最小限となるような方法とし、鉄筋が露出するほど斫りすぎないように注意する。

３．２　アンカー工事

（１）あと施工アンカーの施工は、アンカーについての十分な知識を持ち訓練された技能を持った者が実施する。

あと施工アンカーの施工に際しては、ＪＣＡＡ「(社)日本建築あと施工アンカー協会」の資格取得者（主任技士，技術管理士，第１種施工士のいずれか）、もしくはＡＡＣ「あと施工アンカー工事協同組合」の資格取得者（専）を現場毎に１名以上配置する。

（２）既存躯体の鉄筋その他の埋設物を損傷しないよう、事前に鉄筋探査を行い穿孔する。

（３）既存躯体内の埋設物（鉄筋・配線・配管等）に当たった場合は以下の対応を行う。

ａ）主筋に当たった場合：最外端の主筋の内側へ納まるよう再穿孔する。

ｂ）せん断補強筋に当たった場合：上下左右いずれかの方向へ再穿孔する。

ｃ）配線，配管に当たった場合：最外端の主筋の内側へ納まるよう、再穿孔する。

ｄ）穿孔に失敗した孔の処理は原則として、工事監理者の指示によりコンクリートと同等の性状が得られる材料（モルタル，樹脂）を充填することとする。

（４）アンカーの埋め込み深さを確認するため、穿孔時に深さを実測し確認する。確認数量は工事監理者の指示による。

（５）アンカーの検査は以下により行う。

ａ）打音検査は、アンカーの全数について行う。

ｂ）引張試験は、１ロットに対して本数の０．５%以上かつ３本以上とし、ロットから無作為に抜き取る。１ロットは棟ごと、アンカー径ごと、既存コンクリート強度の異なる層ごとに、当該作業員が１日に施工したものとする。

引張試験荷重は下記程度とする。（引張荷重は接着系アンカー1本当りの引張耐力の２／３程度とする。）

尚、基礎上部ずれ防止用あと施工アンカーについては引張試験は行わないものとする。

ｃ）有効埋込み深さが１０ｄａ以外のアンカー及び引張力を期待するアンカーについては、別途詳細図にて引張荷重を示す。

柱の引張試験荷重	既存コンクリート強度（Ｎ／㎟）			
アンカー径	１４	１６	１７．６	２１
Ｄ１６	□４４　（　階）	□４６　（　階）	□４６　（　階）	□４６　（　階）
Ｄ１９	□６２　（　階）	□６７　（　階）	■６７　（１階）	□６７　（　階）
Ｄ２２	□８３　（　階）	□９０　（　階）	□９０　（　階）	□９０　（　階）

（単位：ｋＮ）

梁の引張試験荷重	既存コンクリート強度（Ｎ／㎟）			
アンカー径	１４	１６	１７．６	２１
Ｄ１６	□４４　（　層）	□４６　（　層）	■４６　（２層）	□４６　（　層）
Ｄ１９	□６２　（　層）	□６７　（　層）	■６７（１・２層）	□６７　（　層）
Ｄ２２	□８３　（　層）	□９０　（　層）	□９０　（　層）	□９０　（　層）

（単位：ｋＮ）

（６）既存部下地処理及びアンカー打設の両作業終了後、既存躯体表面の水洗いを行う。

３．３　鋼板加工・取付け工事

（１）鋼板の表面に付着した油膜などの、付着力を低下させる付着物は除去する。

（２）鋼板１ピースあたり、４本以上のアンカーにより取付ける。

（３）鋼板の取付けは、４本以上のアンカーに対して鋼板の両側からナット・座金を用いて軸方向に対して最も外端にあるアンカーを固定する。また、鋼板１ピースの長さが２．０ｍを越える場合は、２．０ｍ以内に２箇所づつ追加する。

その他のアンカーは鋼板の外側にのみ、ナット・座金を使用する。

（４）鋼板取付けのナット締付け量はモンキーレンチなどを用い、手締めとする。締付けトルクは指定しない。

（５）あと施工アンカーと鋼板の孔が合わない場合は、原則としてあと施工アンカーを台直しして収める。やむを得ず、鋼板の孔をふかす場合は、工事監理者の承認を得ることとし、ふかしが大きくなる場合は欠損部に相当する添え板を鋼板面に溶接補強する。

（６）建て込み直しは以下による。

ａ）面内方向

建て入れ直しは、レバーブロックなどにより行い、建て入れの精度は鋼板接合部が全数取付けられ、所定のかぶり厚さが確保できる範囲であれば、支障はない。

ｂ）面外方向

建て入れ直しは、あと施工アンカーにセットされたナットと座金を用いて行ってもよい。建て入れ直しの精度は、頂部の鋼板から下げ降りを下げるなどして、面外方向の出入りは正規の位置より±３㎜以内とする。ただし、既存躯体の精度が悪いときは、工事監理者の指示による。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　特記仕様書-1		一級建築事務所　島　設　計	P12
製図	検図	日付　2015:03	縮尺　―	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	

３．４　鉄筋工事

（１）組立筋の継手は、位置は特に規定はしないが、鋼板接合部位置からずらすことが望ましい。組立筋は３本以上が交差することのないよう配慮する。３本交差する場合は、梁の組立筋を切断することが望ましい。

（２）Ｕ型割裂防止筋の定着長さはその部材に使用する標準割裂防止筋の長径＋１５０mm以上とする。

（３）柱・梁共に打増しがある場合、材軸方向筋は原則として柱筋を通し配筋とし、梁筋の柱への定着は規定しない。

３．５　コンクリート工事

（１）調合はＪＡＳＳ５による。

（２）発注は、レディーミクストコンクリートとする。また、工場はＪＩＳ表示許可を受けていなければならない。

（３）コンクリートの打ち込み、締め固めはＪＡＳＳ５による。

（４）養生は以下による。

ａ）早強ポルトランドセメントおよび普通ポルトランドセメントを使用する場合は、コンクリートの圧縮強度が１０Ｎ／mm^{2}以上となることを確認すれば、せき板・支保工の撤去および以降の湿潤養生を打ち切ることができる。

ｂ）湿潤養生期間中の上階へのコンクリート打設は、下階の養生状態に対して影響が少ないため連日にわたり行っても良い。但し、直下階の養生は打ち切ってはならない。

ｃ）上階に日々連続してコンクリートを打設する場合も、前日打設したコンクリートに悪影響を与えないよう、作業の管理を行う。

（５）品質管理の検査項目は、ＪＡＳＳ５に規定されている項目のうち、圧縮強度，スランプ，空気量，コンクリート温度，塩化物量とする。

（６）圧縮強度の試験は、コンクリート打設日毎に３台の運搬車からテストピースを採取し、標準養生の７日（４週強度推定用），２８日（「構造体コンクリート強度推定試験用」，〔「使用するコンクリートの調合強度管理のための試験」を兼ねるものとする〕）について各３本づつ行う。その他、型枠脱型用、予備など必要に応じて採取するものとし、目的に準じた養生方法で管理する。

３．６　型枠工事

（１）せき板の材料および種類はＪＡＳＳ５による。

（２）型枠の加工および組立ては以下による。

ａ）セパレータの取付けは鋼板を利用してもよい。

ｂ）補強部材には、打ち継ぎ部分には打ち継ぎ目地を設け、また適宜に化粧目地を設ける。

ｃ）補強部材には、目地の設置を考慮し２５㎜程度の打増しは可とする。

３．７　防水工事

（１）シーリングを必要とする目地は以下による。

ａ）既存躯体と補強体の新旧コンクリートの打ち継ぎ面の目地幅（幅２５mm，深さ２０mm）

ｂ）補強体に設けた、化粧目地（幅１５mm，深さ１５mm）

ｃ）その他、防水上必要と認められる目地および補強体と他材料との接合部

ｄ）笠木などの防護策を講じた場合の防水上必要と認められる目地

（２）シーリング材を充填する目地

ａ）目地幅は、シーリング材がムーブメントに対する追従性を確保できる寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。

ｂ）目地深さは、シーリング材の接着性、耐久性を十分に確保でき、硬化阻害を起こさない寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。

ｃ）その他、ＪＡＳＳ８に準ずる。

３．８　打増しの規定

（１）補強部材取付けに伴う打増し部分に適用する配筋は打増し厚により以下に規定する。

打増し厚	配　筋　規　定
■　０mm～５０mm未満	配筋不要
■　５０mm以上～１００mm未満	メッシュ筋（φ６@１００シングルクロス）
■　１００mm以上	補強詳細図による

３．９　庇・バルコニー・片持ち梁などがある場合の規定

（１）補強部材が連層で設置される場合で、庇やバルコニー・片持ち梁などのはね出し部材がある場合は、補強部材が連続するよう、連結部分のはね出し部材を斫り取り、鋼板が連続し応力伝達が可能となるような対処を行わねばならない。

（２）庇・バルコニー・片持ち梁等の根元を撤去・復旧する場合は、必ず支保工等で充分に養生すること。

（３）庇・バルコニー・片持ち梁等のはね出し部材を復旧する場合は、原則として既存鉄筋を接合復旧できる長さ（梁面から３００㎜以上）を残して撤去し、復旧方法の詳細は図面による。

３．１０　検査

（１）３．１～３．９の各工事について、ピタコラム工法協会の検査員の検査を受けること。ただし、３．７防水工事は除くものとする。

４．その他

４．１　既存躯体不良の処置

（１）既存躯体の不良については、工事監理者と処置方法を協議する。

４．２　補強部材の仕上げ

（１）小地震時の微小変形やコンクリートの乾燥収縮によるひび割れの対応として、耐久性の確保の為に、仕上げ材は防水形複層塗材Ｅ(JISA6909)とする(但し、石・タイル・パネル等の仕上げ材の場合はその限りでない)。

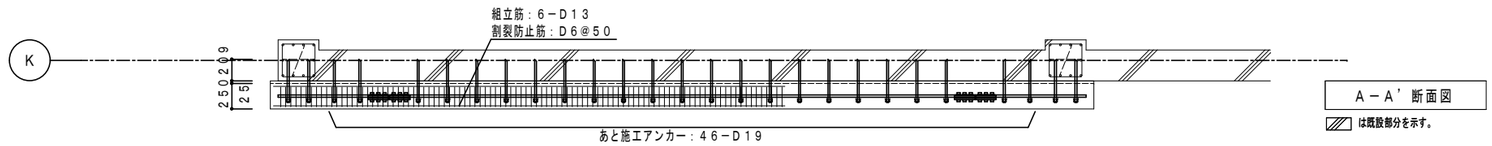
４．３　施工作業に対する配慮事項

（１）掘削範囲

アンカー打設のため、掘削法尻位置は　既設柱面から1000㎜以上必要とする。但し、バルコニー等がある場合は足場建地、パイプサポートの設置位置を検討の上、法尻位置を考慮すること。

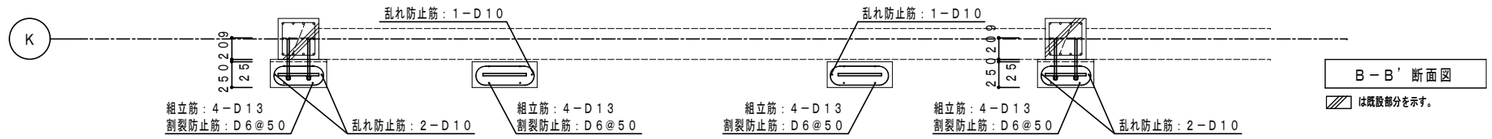
（２）庇・スラブ開口

庇・スラブを存置させて施工する場合、切欠き等を不可とされる場合を除き、補強体の直上階ではコンクリート打設用及び鋼板吊り込み用の開口を適宜設ける必要がある。〔 例）数：1ｽﾊﾟﾝ当り3～5箇所　，大きさ：150㎜×(補強厚+150㎜)〕



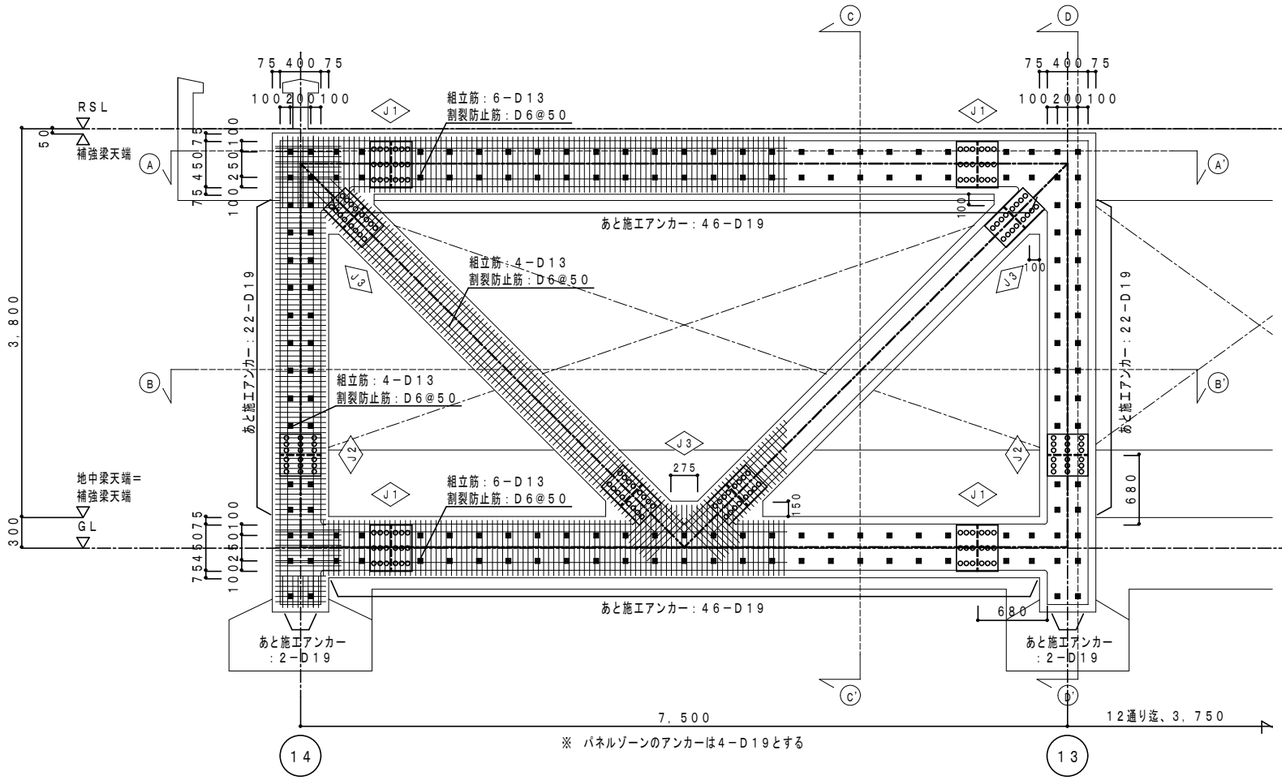
A－A’ 断面図

は既設部分を示す。

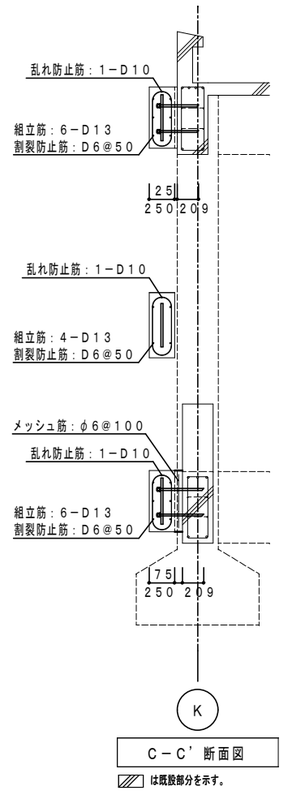


B－B’ 断面図

は既設部分を示す。

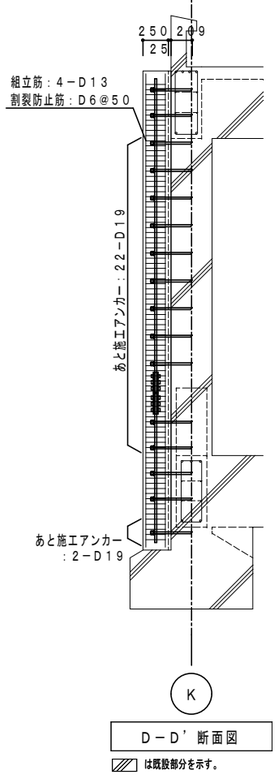


※ パネルゾーンのアンカーは4－D19とする



C－C’ 断面図

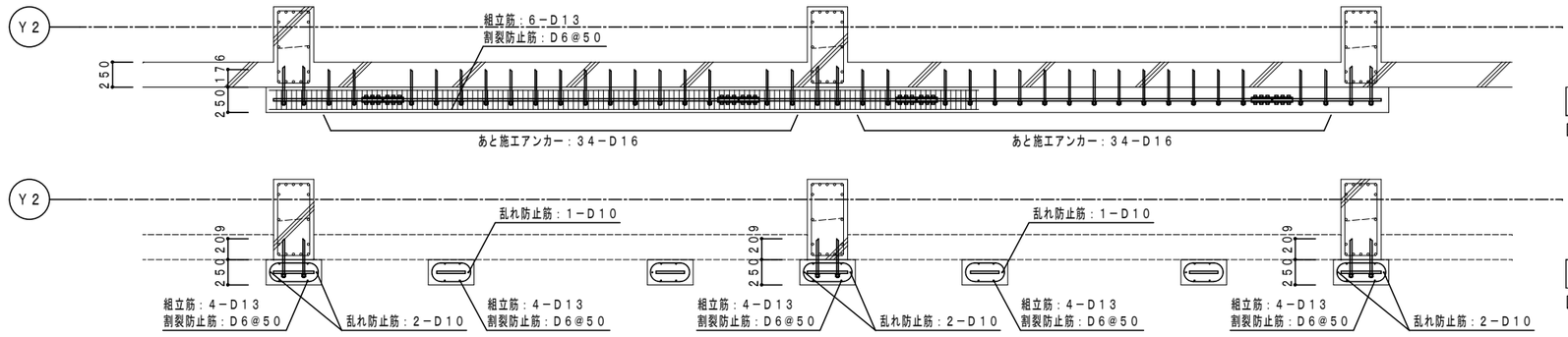
は既設部分を示す。



D－D’ 断面図

は既設部分を示す。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	K通り補強詳細図	一級建築事務所 島設計	P14
製図	検図	日付 2015:03	縮尺 1：60	一級建築士 登録第１７５９２０号 此島茂樹	

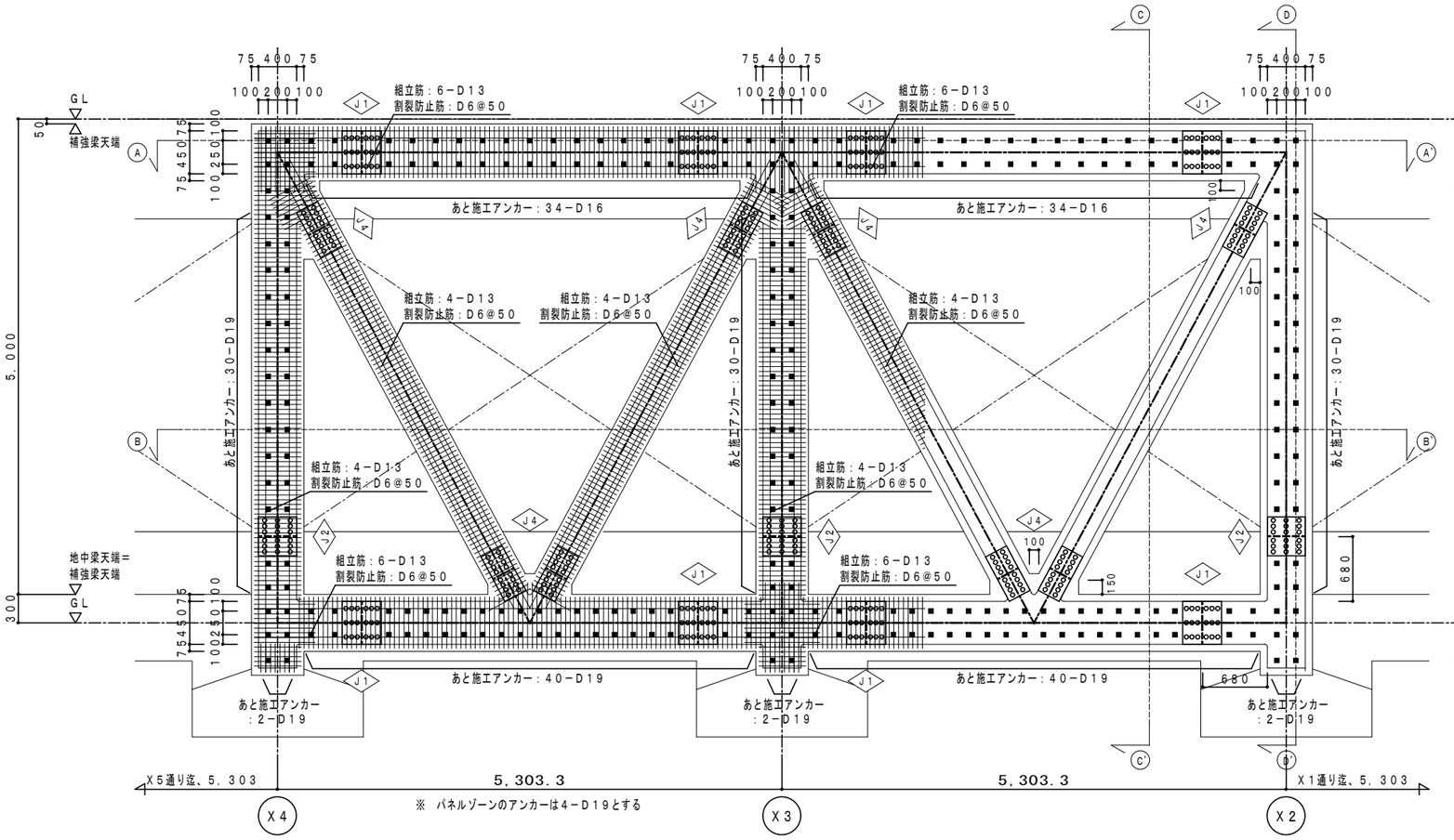


A－A’断面図

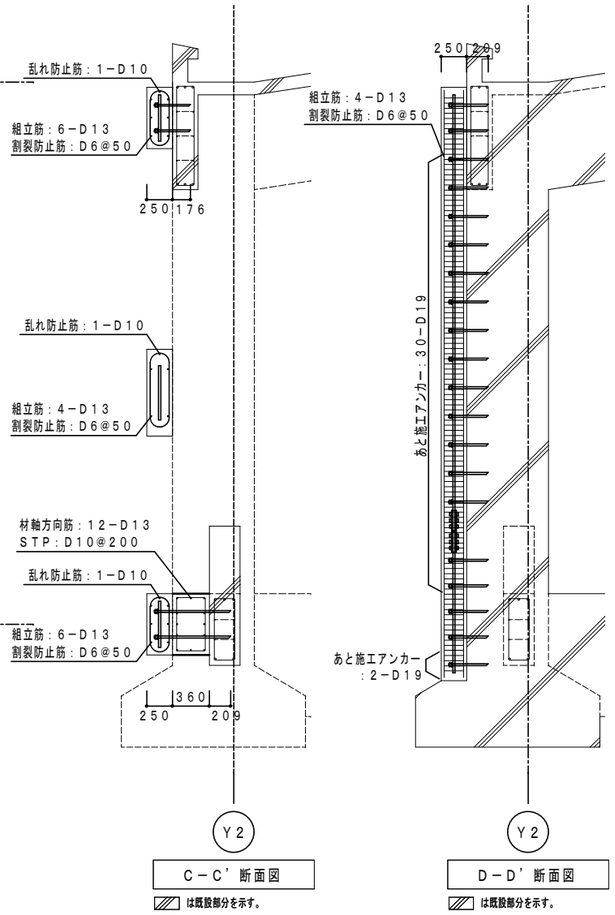
は既設部分を示す。

B－B’断面図

は既設部分を示す。



※　パネルゾーンのアンカーは4－D19とする



C－C’断面図

は既設部分を示す。

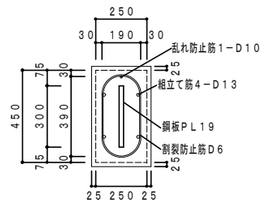
D－D’断面図

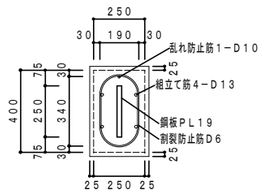
は既設部分を示す。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　Y2通り補強詳細図		一級建築事務所　島　設　計	P15
製図	検図	日付　2015:03	縮尺　1：60	一級建築士　登録第175920号　此　島　茂　樹	

補強ブレースリスト　１：３０

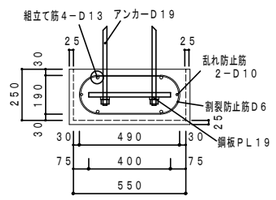
１階	Ｋ通り補強架構	１階	Ｙ２通り補強架構
ブレース種別	ボンドブレース	ブレース種別	ボンドブレース





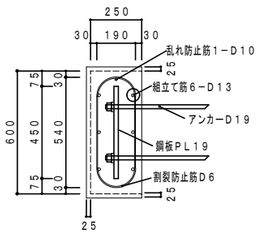
補強柱リスト　１：３０

１階	Ｋ・Ｙ２通り補強架構

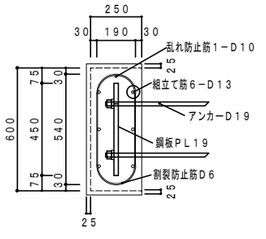


補強梁リスト　１：３０

２層	Ｋ・Ｙ２通り補強架構

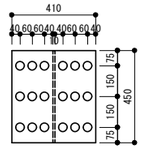


１層	Ｋ・Ｙ２通り補強架構



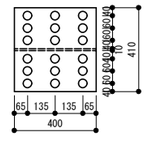
継手リスト　１：３０

Ｊ１



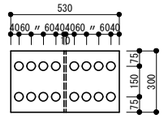
２ＰＬ－１２，ＨＴＢ１８－Ｍ２２

Ｊ２



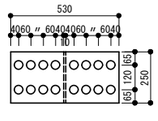
２ＰＬ－１２，ＨＴＢ１８－Ｍ２２

Ｊ３



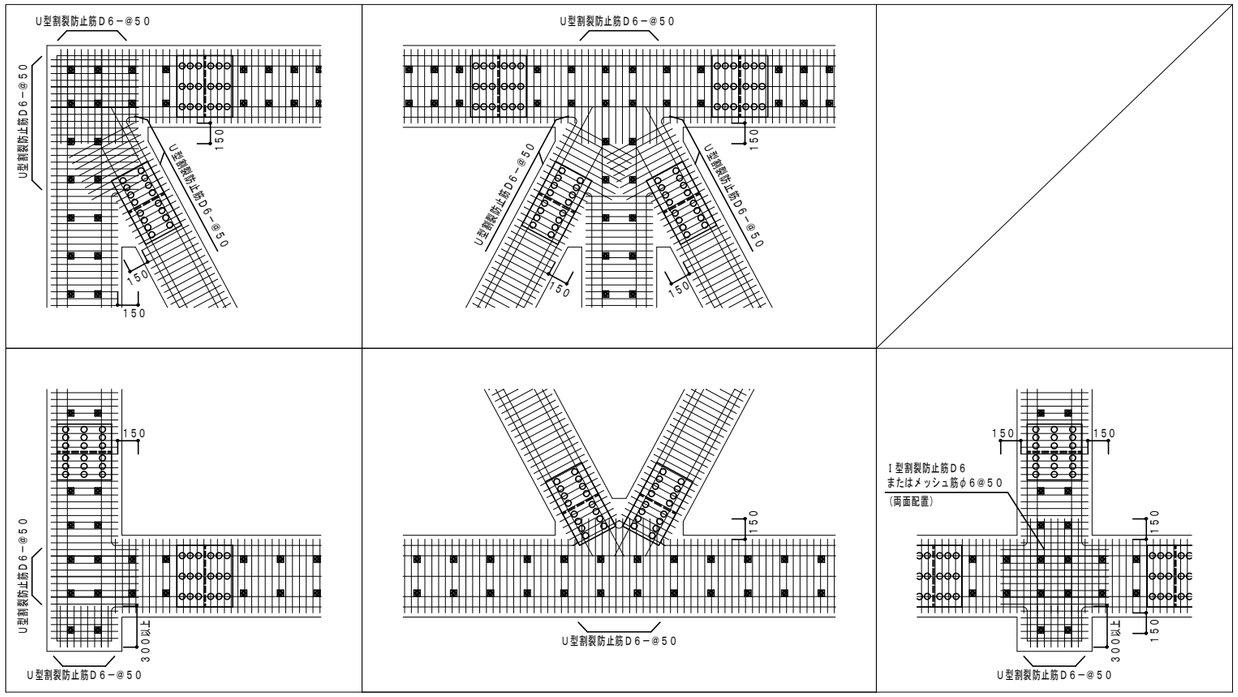
２ＰＬ－１２，ＨＴＢ１６－Ｍ２２

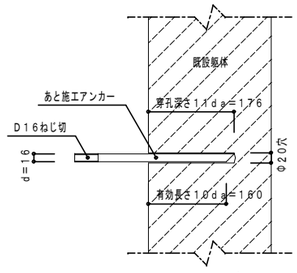
Ｊ４



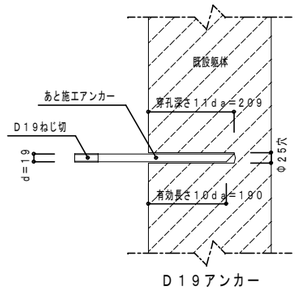
２ＰＬ－１２，ＨＴＢ１６－Ｍ２２

割裂防止筋配筋要領　１：３０



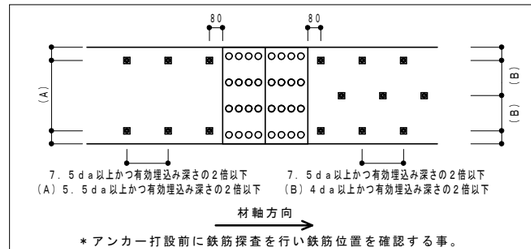


Ｄ１６アンカー



Ｄ１９アンカー

あと施工アンカー埋込み深さ



＊アンカー打設前に鉄筋探査を行い鉄筋位置を確認する事。

アンカー標準配置

１．使用コンクリート：Ｆｃ＝３０Ｎ／ｍｍ^2
２．最大粗骨材寸法　：２０ｍｍ又は２５ｍｍ
３．使用混和剤　　：高性能ＡＥ減水剤
４．スランプ　　：２１ｃｍ
５．使用鉄筋　　：ＳＤ２９５Ａ（Ｄ６，Ｄ１０，Ｄ１３）
６．使用アンカー　：ＳＤ３４５（Ｄ１６・Ｄ１９　有効埋込み深さ１０ｄａ）
７．使用鋼材　　：ＳＮ４００Ｂ
８．使用高力ボルト　：Ｓ１０Ｔ（Ｍ２２）
９．目荒らし　　：目荒らしは十分行うものとし、範囲、程度に関しては特記仕様書による。
１０．施工上留意点　：補強部材は薄厚であり、配筋が細かく、高力ボルト接合部もあるため
コンクリートの充填性が非常に危惧される。コンクリート打設においては、慎重に行ない、細心の注意が必要である。このため、細径の軽便バイブレータや型枠バイブレータの使用を推奨する。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　部材リスト		一級建築事務所　島　設　計	P16
製図	検図	日付　2015:03	縮尺　—	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	

X1 X2 X3 X4 X5 X6

5,303.3 5,303.3 5,303.3 5,303.3 5,303.3

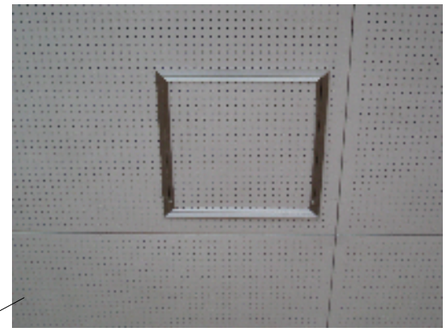
26,516.5

25,116.5 1,400

有孔石膏ボード（9.5×900×1.800）ＥＰ塗装仕上げ
（不燃：NM-0879）

石膏ボードｔ＝9.5㎜ＥＰ塗装仕上げ

既設カーテンBOX（W:200） SOP塗装



点検口

Y2

9,305.5

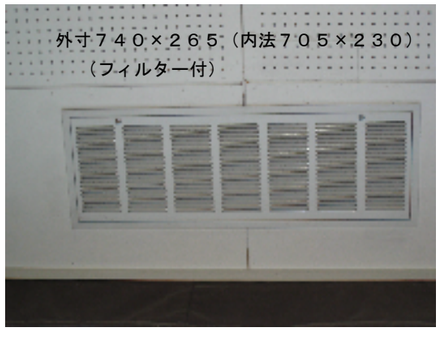
10,606.6

1,301.1

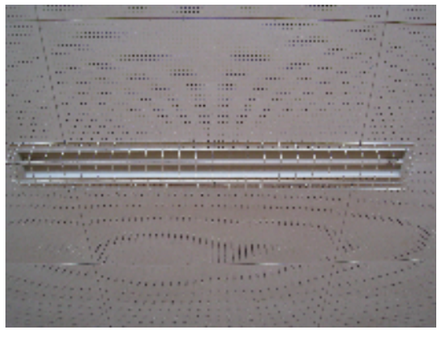
Y1

既設カーテンBOX（W:200） SOP塗装

遊戯室天井伏図 1/100



外寸７４０×２６５（内法７０５×２３０）
（フィルター付）



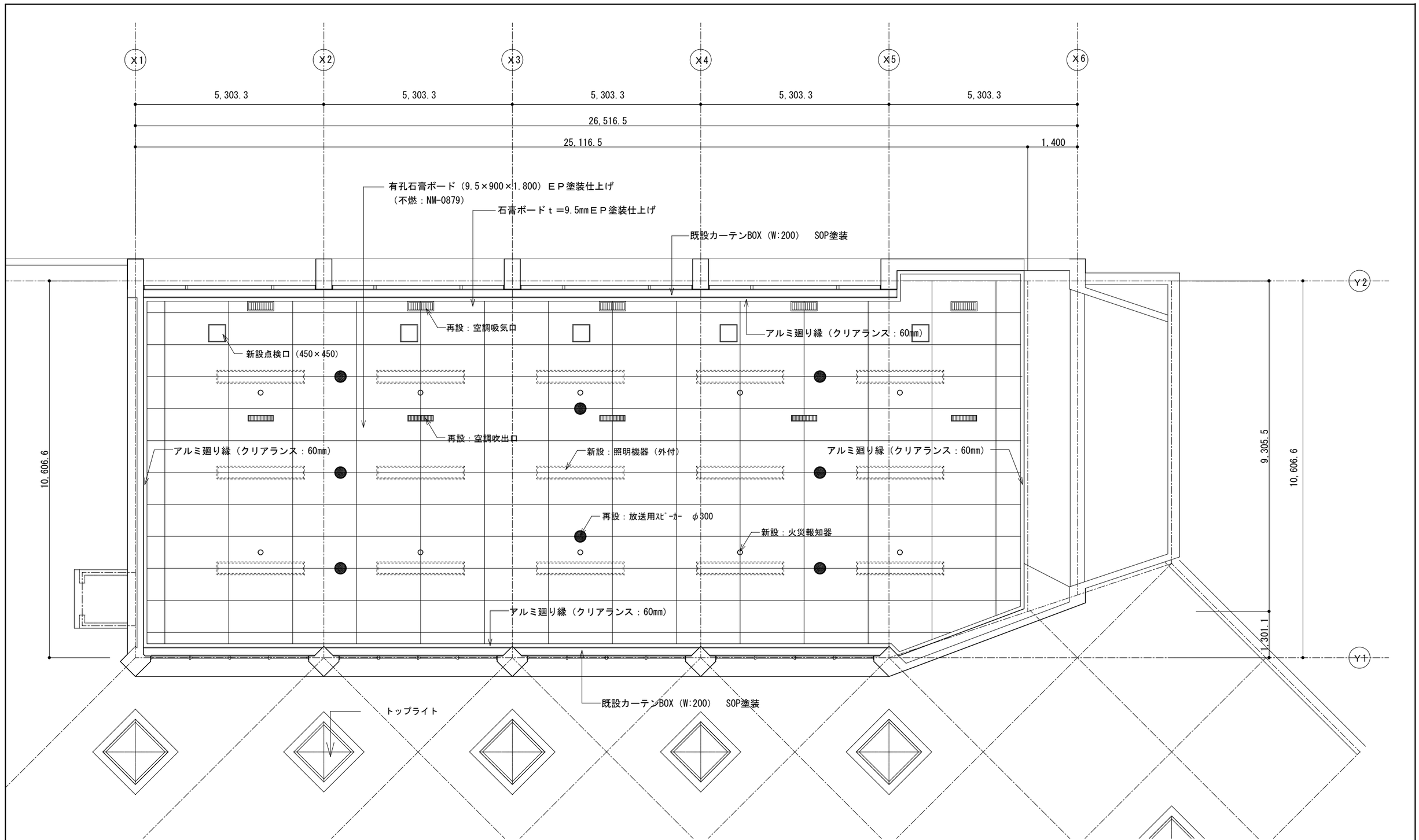
10,606.6

放送スピーカー

火災報知器

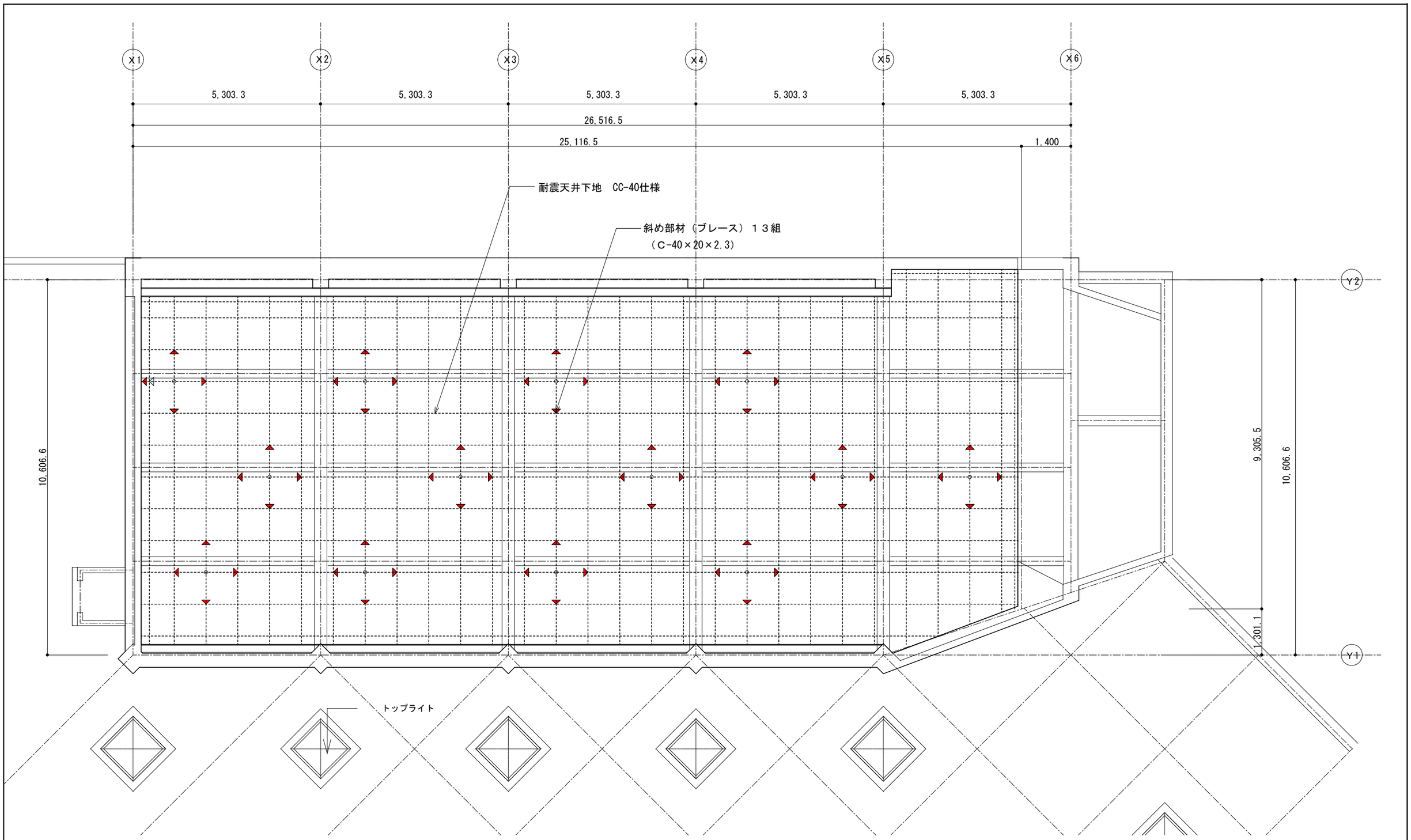
外寸７２０×１６５（内法６９０×１３０）

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	改修前：遊戯室天井伏図	一級建築事務所	島 設 計	図面番号
製図	検図	日付 2015:05	縮尺 1/100	一級建築士	登録第１７５９２０号 此島 茂 樹	P17



遊戯室天井伏図　　1/100

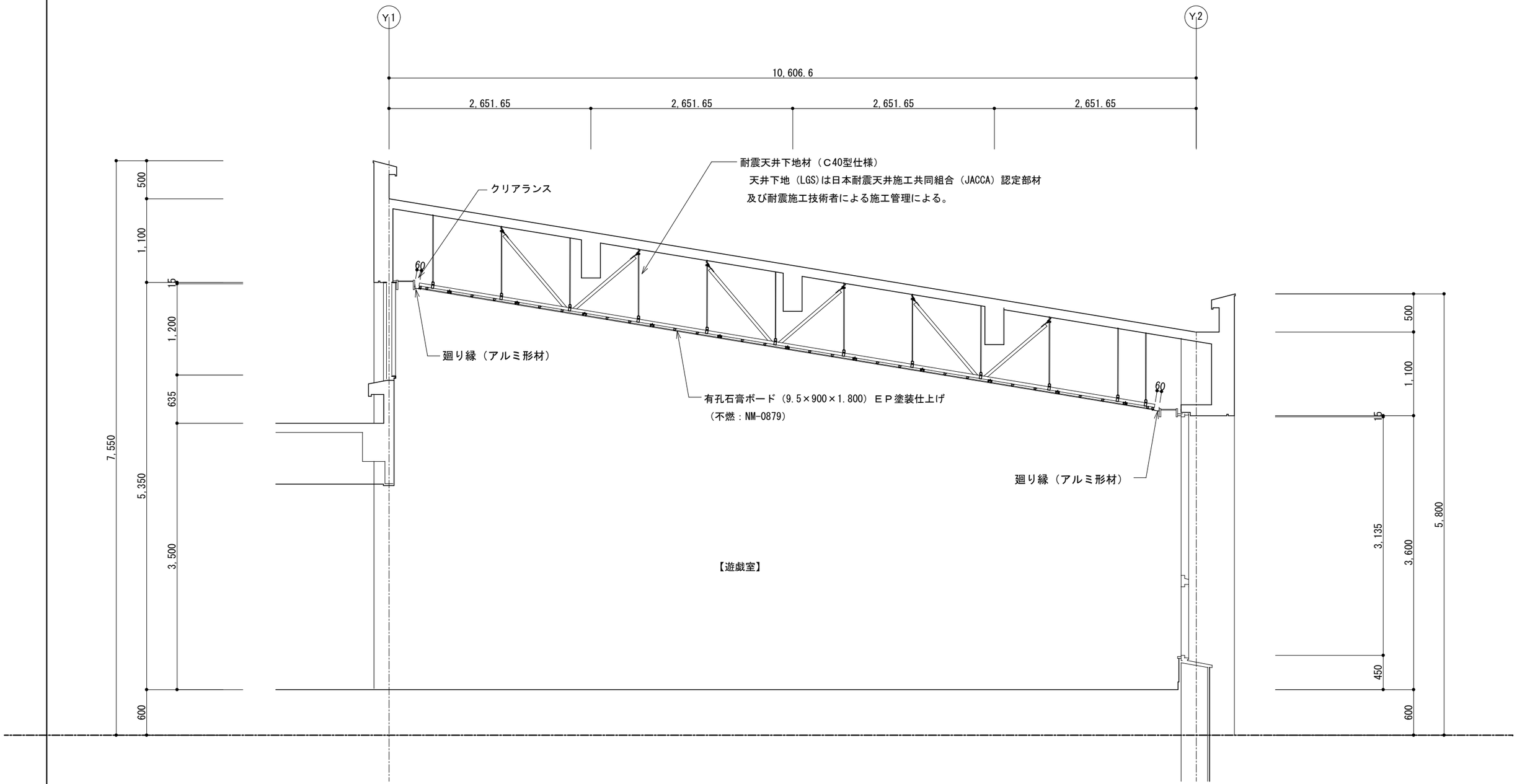
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　改修後：遊戯室天井伏図		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:05	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	P18



耐震天井下地及び斜め部材（ブレース）の配置図　　1/100

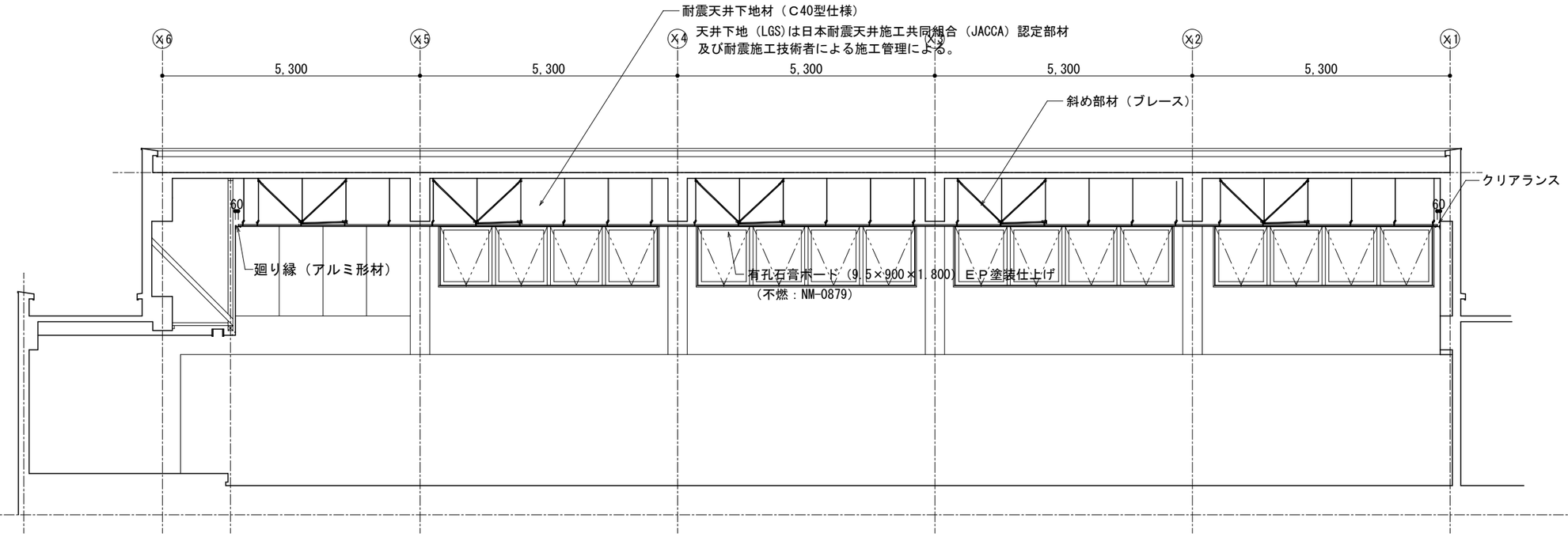
特記事項：天井下地施工については、日本耐震天井施工共同組合（JACCA）認定部材及び耐震施工技術者による施工監理とする。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	耐震天井下地及び斜め部材（ブレース）配置図	一級建築事務所 島設計	図面番号 P19
製図	検図	日付 2015:04	縮尺 1/100	一級建築士 登録第１７５９２０号 此島茂樹	



耐震天井下地断面図　　1/50

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　耐震天井下地断面図-１		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/50	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ20



南面　天井下地図　　1/100

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	耐震天井下地断面図-２	一級建築事務所	島　設　計	図面番号	
製図	検図	日付	2015:03	縮尺	1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	P21

■標準仕様書　耐震天井工法　耐震FullPower天井

分類：在来工法　図番：ＡＳ－ＡＤ－００２

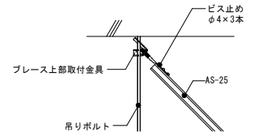
□部材一覧

	○吊りボルト ・円筒部径8.1mm以上 ○ナット ・高さ7.7mm以上		○野縁受け ・CC-19（JIS） ・CC-25（JIS）		○ダブル野縁 ・CW-19（JIS） ・CW-25（JIS）		○シングル野縁 ・CS-19（JIS） ・CS-25（JIS）
	○ハンガー ・ＲＰハンガー ・ＲＰフリーハンガー		○野縁受けジョイント ・CC-19ジョイント（JIS） ・CC-25ジョイント（JIS）		○ダブルクリップ（補強部） ・ＲＰ－Ｗクリップ ○シングルクリップ（補強部） ・ＲＰ－Ｓクリップ		○ダブルクリップ補強ピース ・ＲＰ－Ｗカバー ○シングルクリップ補強ピース ・ＲＰ－Ｓカバー
	○ダブルジョイント ・CW-19ジョイント（JIS） ・CW-25ジョイント（JIS） ○シングルジョイント ・CS-19ジョイント（JIS） ・CS-25ジョイント（JIS）		○水平補強材 ・CC-19（JIS） ・CC-25（JIS）		○水平補強取付金具 ・チャンネルホルダー		○ブレース上部取付金具 ・ブレース金具ＵＥＩＩ
	○ブレース下部取付金具 ・ブレース金具ＲＰ		○ブレース材 ・AS-25（25×19×5×1.0） ・AS-40（40×20×7×1.0） ・AS-65（65×30×7×1.0）		○圧縮補強材 ・□-19×19×1.0以上 ・□-25×25×1.2以上		○ビス ・MBテクス4×16（JPF製） ※SG処理含む ・エコテクス4×16（JPF製）

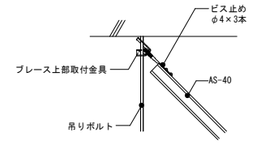
□ブレース上部の納まり詳細

単位：mm　縮尺：1/10

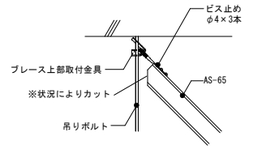
・AS-25（C-25×19×5×1.0）



・AS-40（C-40×20×7×1.0）



・AS-65（C-65×30×7×1.0）

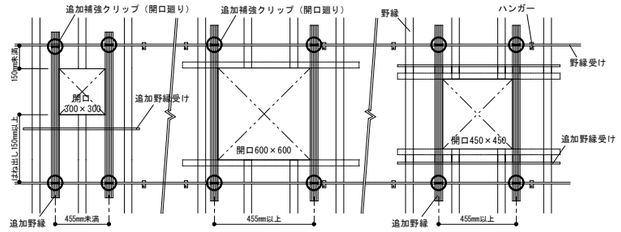


○ブレース設置時の留意事項

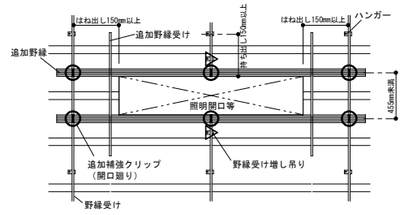
ブレース上部の取付けは専用金物を使用しビス（3本）により固定するか、同等以上の取付け強度を有する施工方法とする。ブレース材「AS-25」、「AS-40」、「AS-65」に対しては、必ずブレース材の側面にビス止めとする。
ブレース上部取付金具の取付位置は、インサート、スラブに金具が当るまでとし、デッキの凹凸、設備機器の影響により、その位置に設置できない場合は、他に移動し設置することとする。
更に、耐火被覆や断熱材等により、ブレース上部取付金具がインサート、スラブに当たるまで充分に上げられない場合は、耐火被覆を取り除く等の対応が必要。尚、耐火被覆の除去および復旧に関しては、監理者の指示に従い行うこととする。

□開口補強詳細図（伏図）

単位：mm　縮尺：1/20



開口部の補強（野縁が切断される場合）



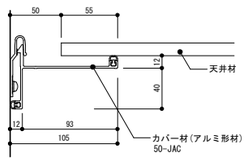
開口部の補強（野縁受けが切断される場合）

□端部・段差部（クリアランス）詳細図

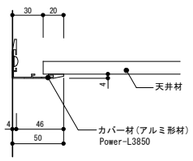
単位：mm　縮尺：1/3

○端部

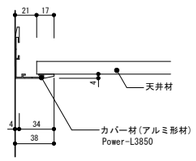
・見付け105mm



・見付け50mm

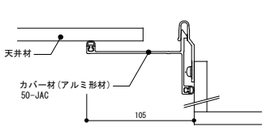


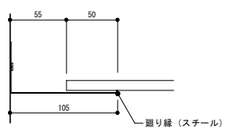
・見付け38mm

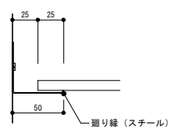


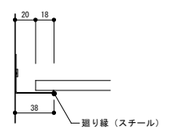
○段差部

・見付け105mm







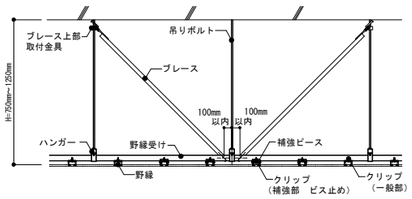


※天井下地材を省略した図です。

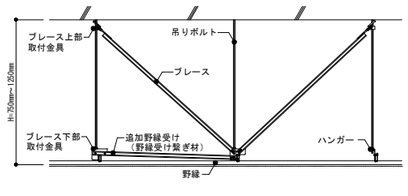
□標準図（断面図）

単位：mm　縮尺：1/20

・天井ふところ　H=750mm～1250mm

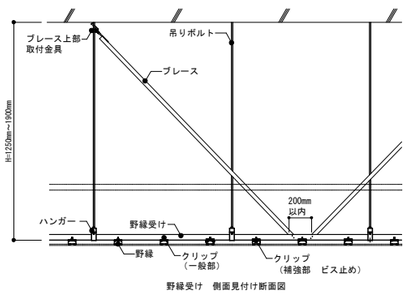


野縁受け　側面見付け断面図

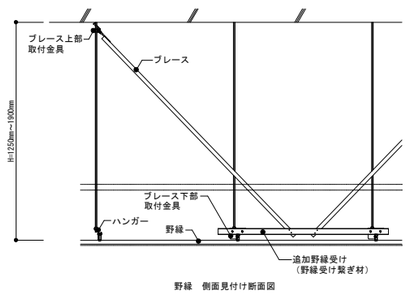


野縁　側面見付け断面図

・天井ふところ　H=1250mm～1900mm

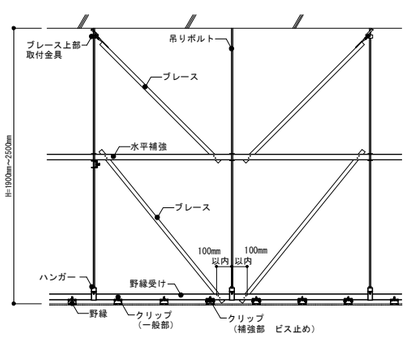


野縁受け　側面見付け断面図

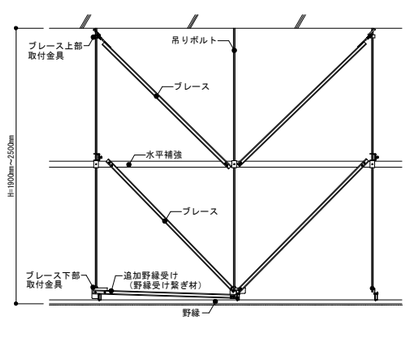


野縁　側面見付け断面図

・天井ふところ　H=1900mm～2500mm



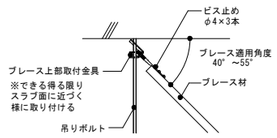
野縁受け　側面見付け断面図



野縁　側面見付け断面図

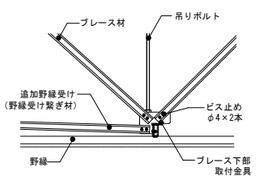
□断面詳細図（共通事項）

単位：mm　縮尺：1/10

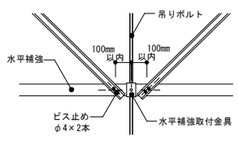


ブレース上部納まり図

ブレース下部納まり図（野縁受け方向）



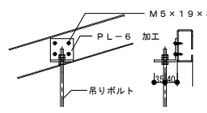
ブレース下部納まり図（野縁方向）



水平補強納まり図

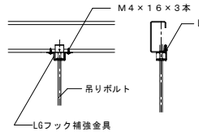
□吊り元図（Ｓ造）

・アングルピースの場合



・サイズ：Ｌ７５×７５×６　幅７５mm以上
・ビス４本により緩み無く設置されていること

・ＬＧフック＋補強カバーの場合



・ブレース設置個所の吊元が全て上記の仕様であること
・専用LGフックが使用されていること

□設計資料

○ブレース材断面性能表（計算値）

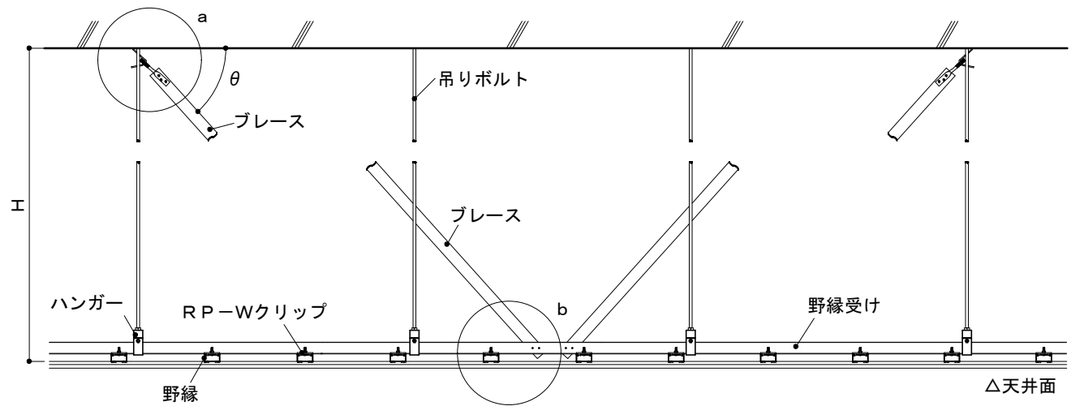
ブレース材名称	断面積	断面２次モーメント		断面係数		断面２次半径		重心位置	
	A(mm2)	Ix(mm4)	Iy(mm4)	Zx(mm3)	Zy(mm3)	ix(mm)	iy(mm)	Cx(mm)	Cy(mm)
AS-25	66.42	3032	7057	303.2	882.2	6.756	10.30	12.50	7.377
AS-40	91.32	4839	21560	373.8	1078	7.279	15.36	20.00	7.052
AS-65	138.5	16210	93290	787.3	2870	10.81	25.94	32.5	9.406

○ブレース選定表　※実現場に於いては「ブレース強度検討書」を参照ください

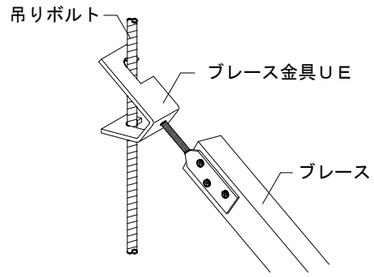
ブレース配置方法 ／ 仕上げ材及び天井重量	V字配置	V字以外の配置
金属パネル＋下地材（天井重量：120N/m2）	25m2/ヶ所	12.5m2/ヶ所
化粧石膏ボード＋下地材（天井重量：150N/m2）	20m2/ヶ所	10m2/ヶ所
捨貼り石膏ボード＋岩綿吸音板＋下地材（天井重量：200N/m2）	14.2m2/ヶ所	7.1m2/ヶ所

・選定条件
①天井入力加速度：1.0Ｇ
②天井ふところ：1200mm以下（AS-25使用時）、1500mm（AS-40使用時）
③仕様：JIS25形　耐震天井（野縁ピッチ300mm）

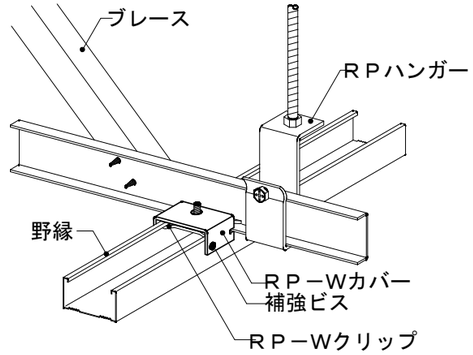
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　標準仕様書－１		一級建築事務所　島　設　計		図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		Ｐ22



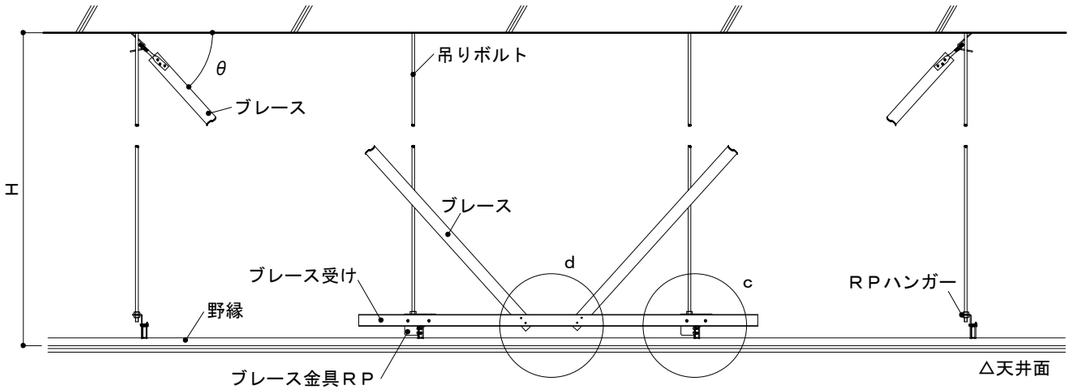
野縁受け方向（ブレース材Ｖ字）



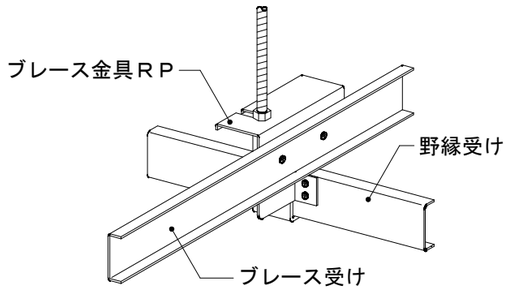
a 部詳細図



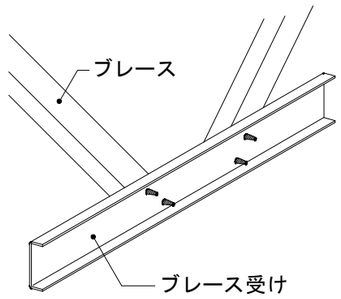
b 部詳細図



野縁受け直行方向（ブレース材Ｖ字）

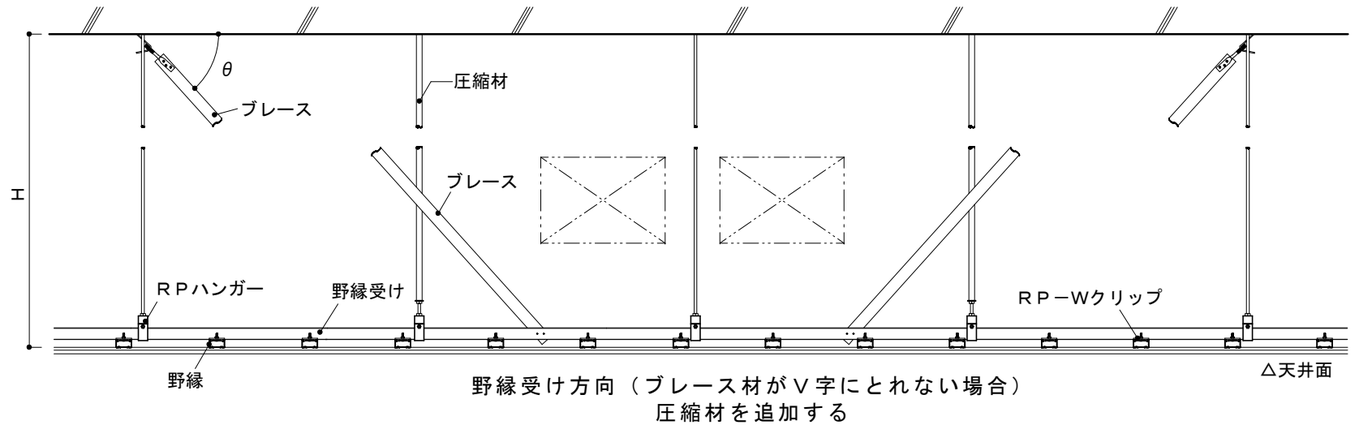


c 部詳細図



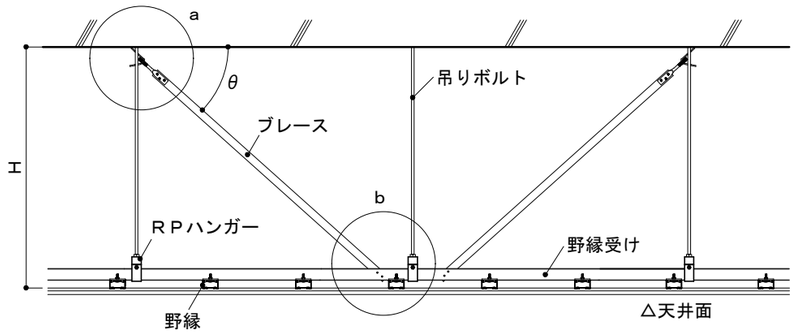
※ブレース角度は45°程度以内とし、
Ｖ字を基本形として取り付けて下さい。

d 部詳細図

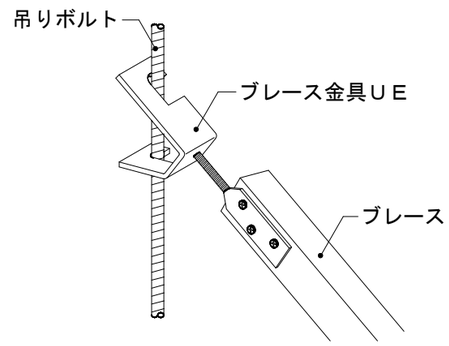


野縁受け方向（ブレース材がＶ字にとれない場合）
圧縮材を追加する

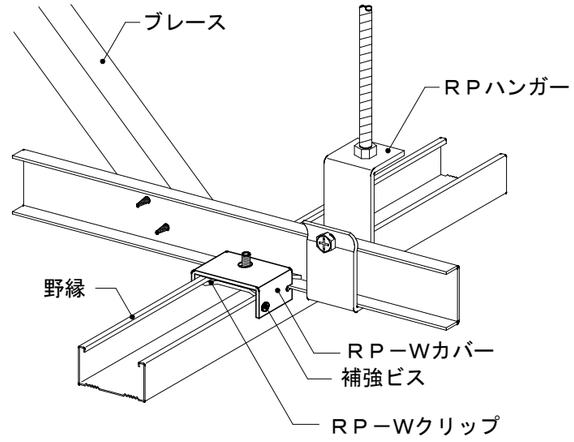
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　標準仕様書－２		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ23



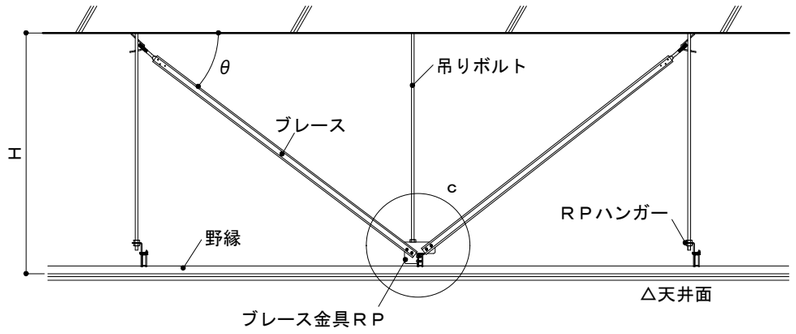
野縁受け方向（ブレース材Ｖ字）



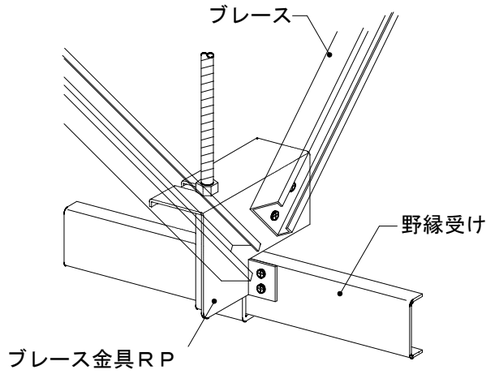
a 部詳細図



b 部詳細図

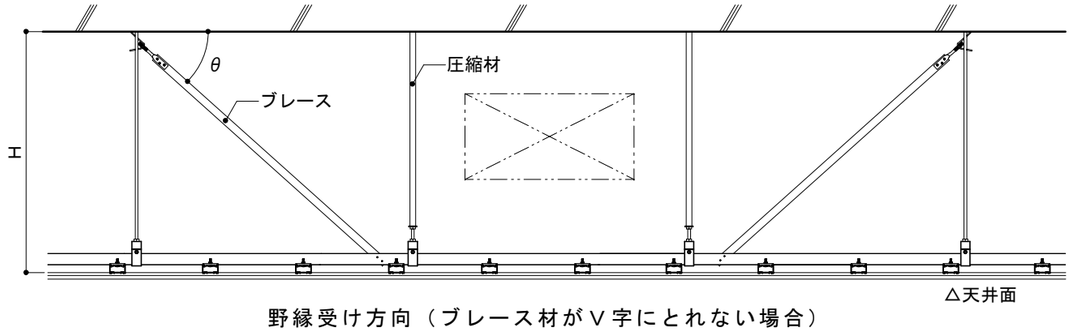


野縁受け直行方向（ブレース材Ｖ字）



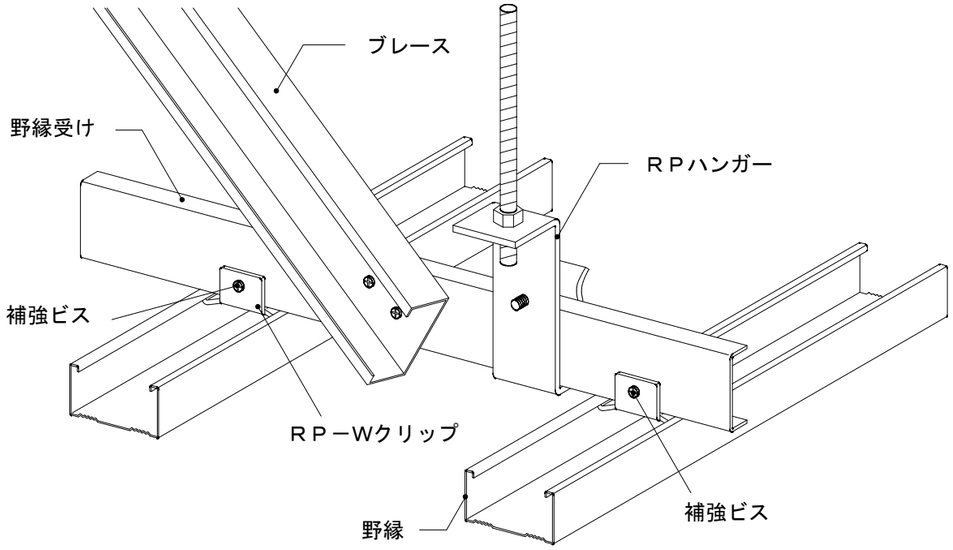
※ブレース角度は45°程度以内とし、
Ｖ字を基本形として取り付けて下さい。

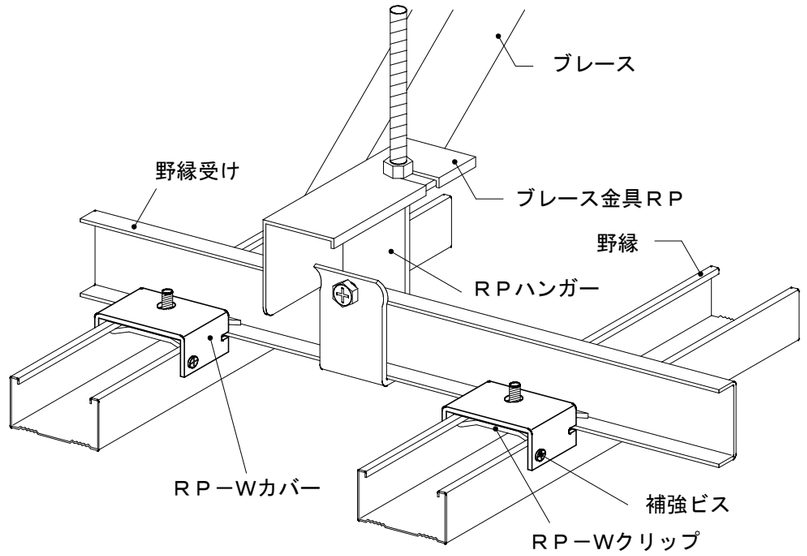
c 部詳細図

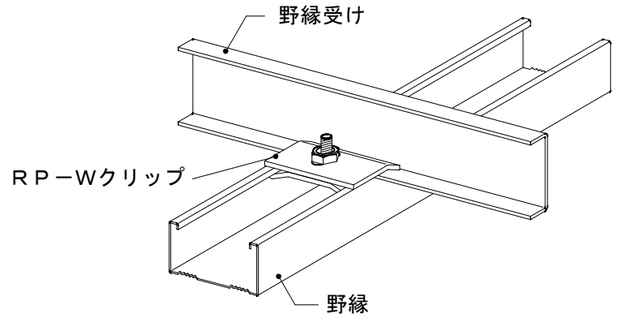


野縁受け方向（ブレース材がＶ字にとれない場合）
圧縮材を追加する

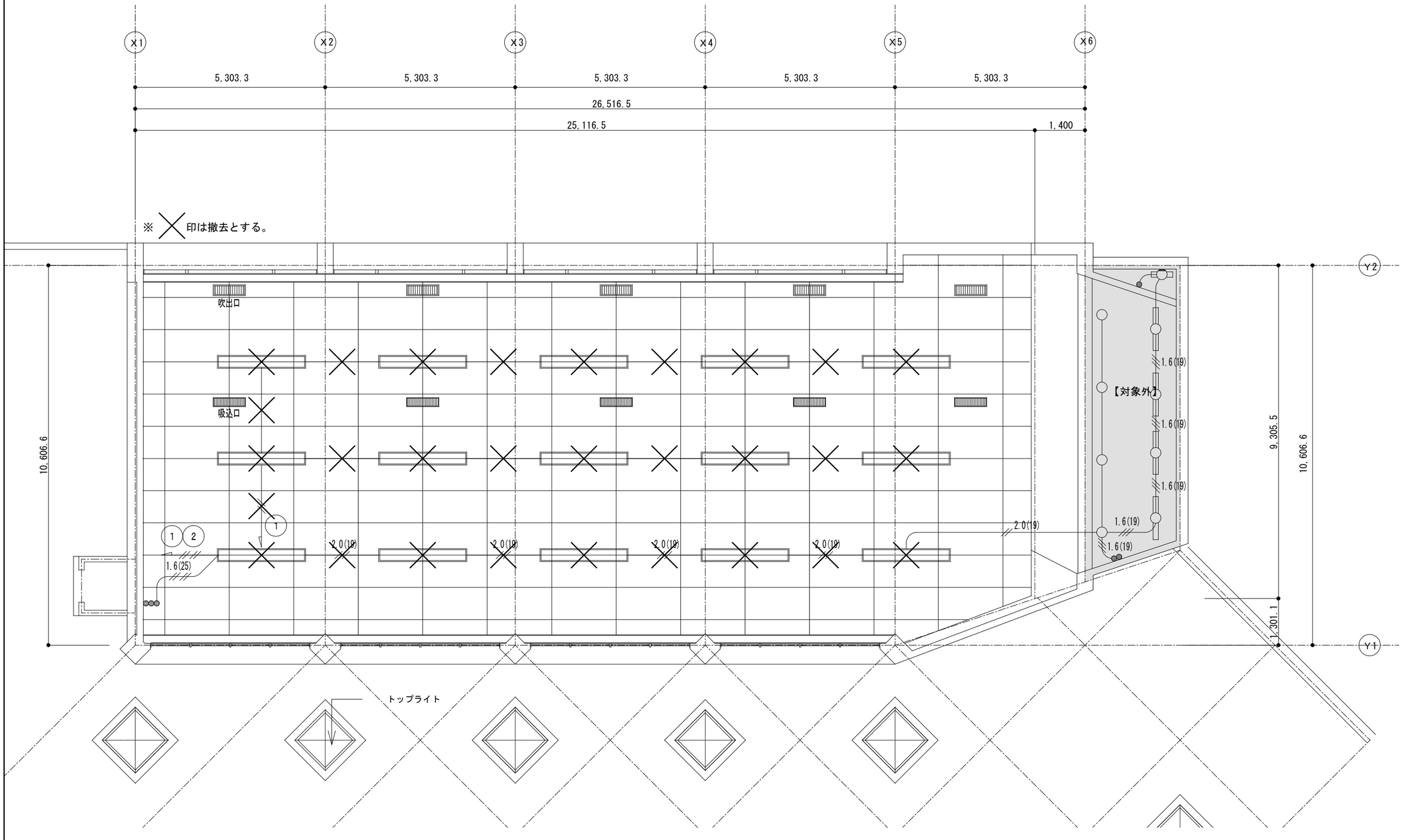
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　標準仕様書－３		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ24







		幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　標準仕様書－４		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
		製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ25



改修前

電灯,換気設備撤去図　1/100

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　電灯,換気設備撤去図		一級建築事務所　島　設　計		図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		P26

X1 X2 X3 X4 X5 X6

5,303.3 5,303.3 5,303.3 5,303.3 5,303.3

26,516.5

25,116.5 1,400

特記なき配線は下記とする。

EM-EEF1.6-3C

2.0 EM-EEF2.0-3C

既設配線

※照明器具・配線はすべて更新とする
※吸込口・吹出口は撤去後、清掃し再取付とする。
※天井内ファンコイルは吊ボルトにて補強すること。

A	LED 直付110形 W150
	200V

Y2

吹出口

吸込口

Ax15

2.0

既設接続

1 2 1

2.0 2.0 2.0 2.0 2.0

P.B 150□-150

1.6(25)

既設接続

2.0 P.B 150□-150

2.0(19)

1.6(19)

【対象外】

1.6(19)

1.6(19)

1.6(19)

10,606.6

9,305.5

10,606.6

1,301.1

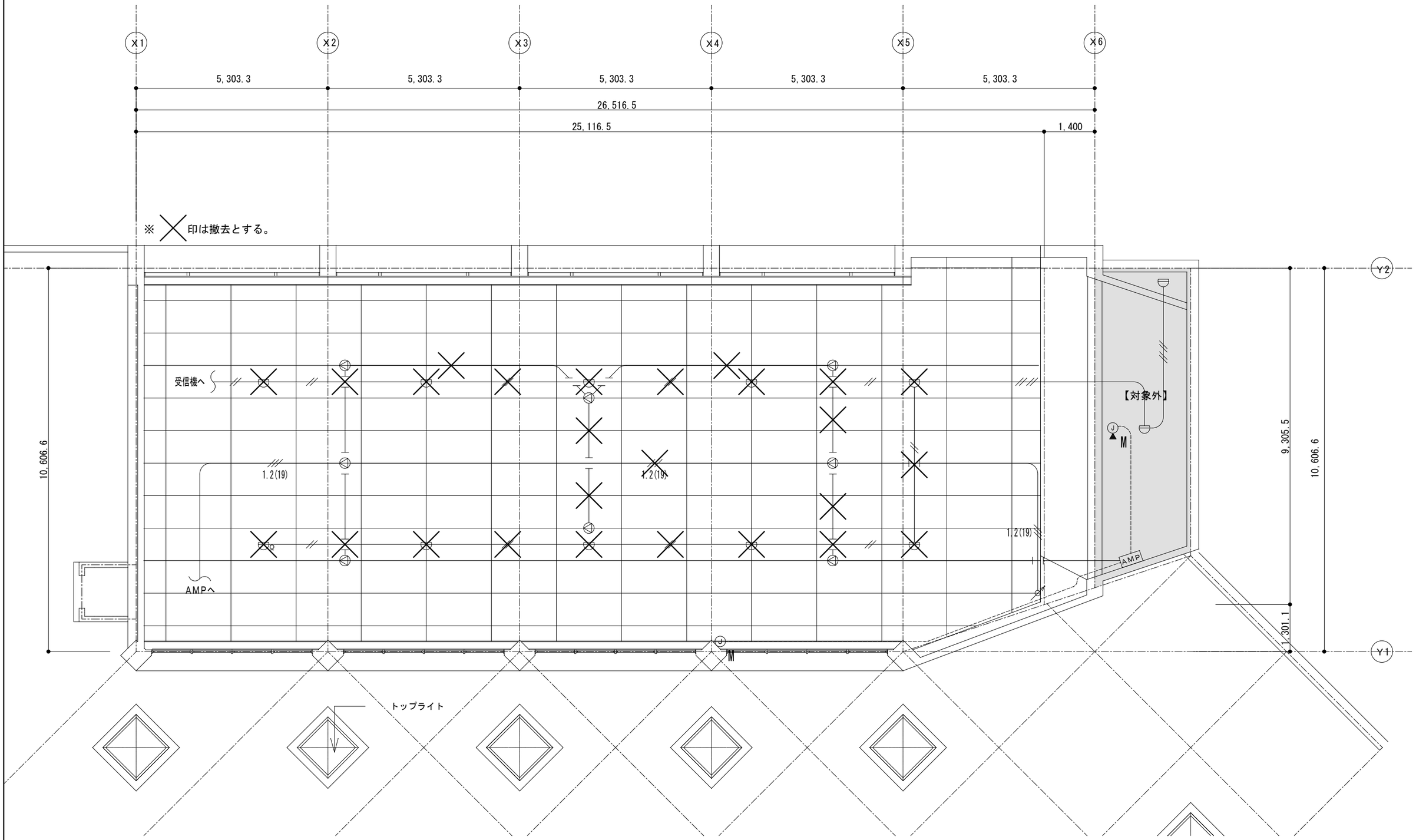
Y1

トップライト

改修後

電灯,換気設備改修図 1/100

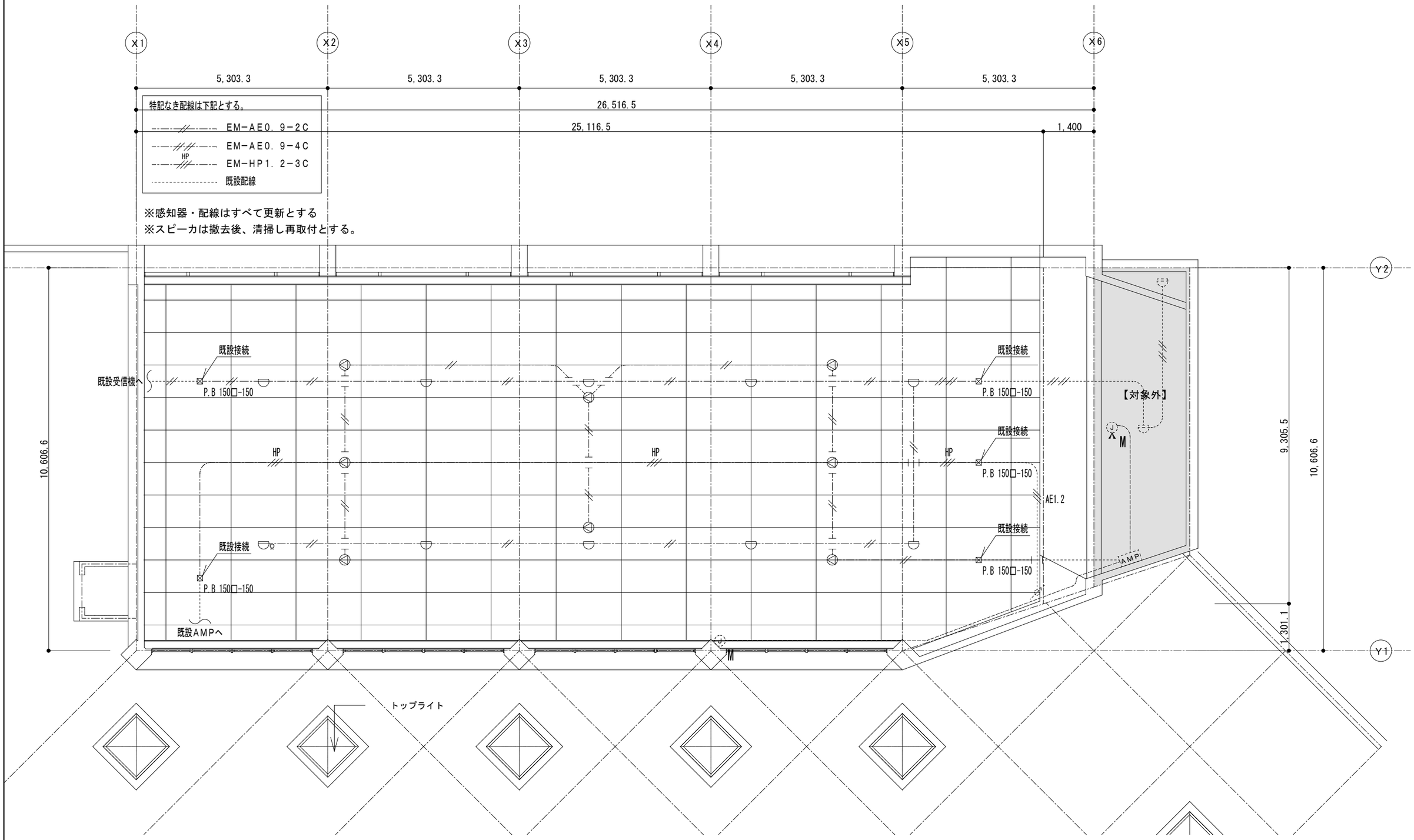
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	電灯,換気設備改修図	一級建築事務所	島 設 計	図面番号	
製図	検図	日付	2015:04	縮尺	1/100	一級建築士	登録第175920号 此島茂樹		P27



改修前

放送,自火報設備撤去図　1/100

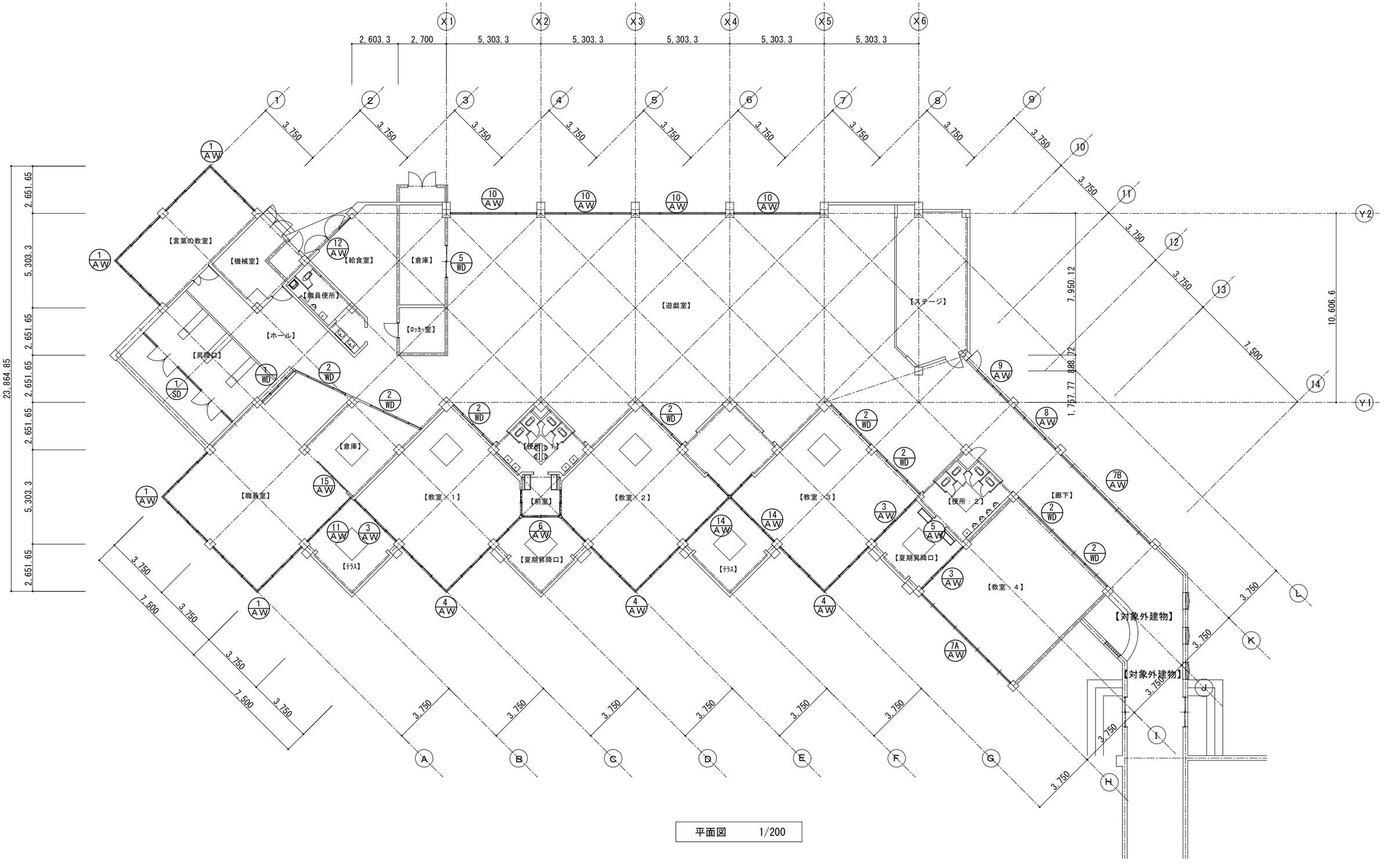
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事			図面名称　放送,自火報設備撤去図		一級建築事務所　島　設　計		図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100		一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		P28



改修後

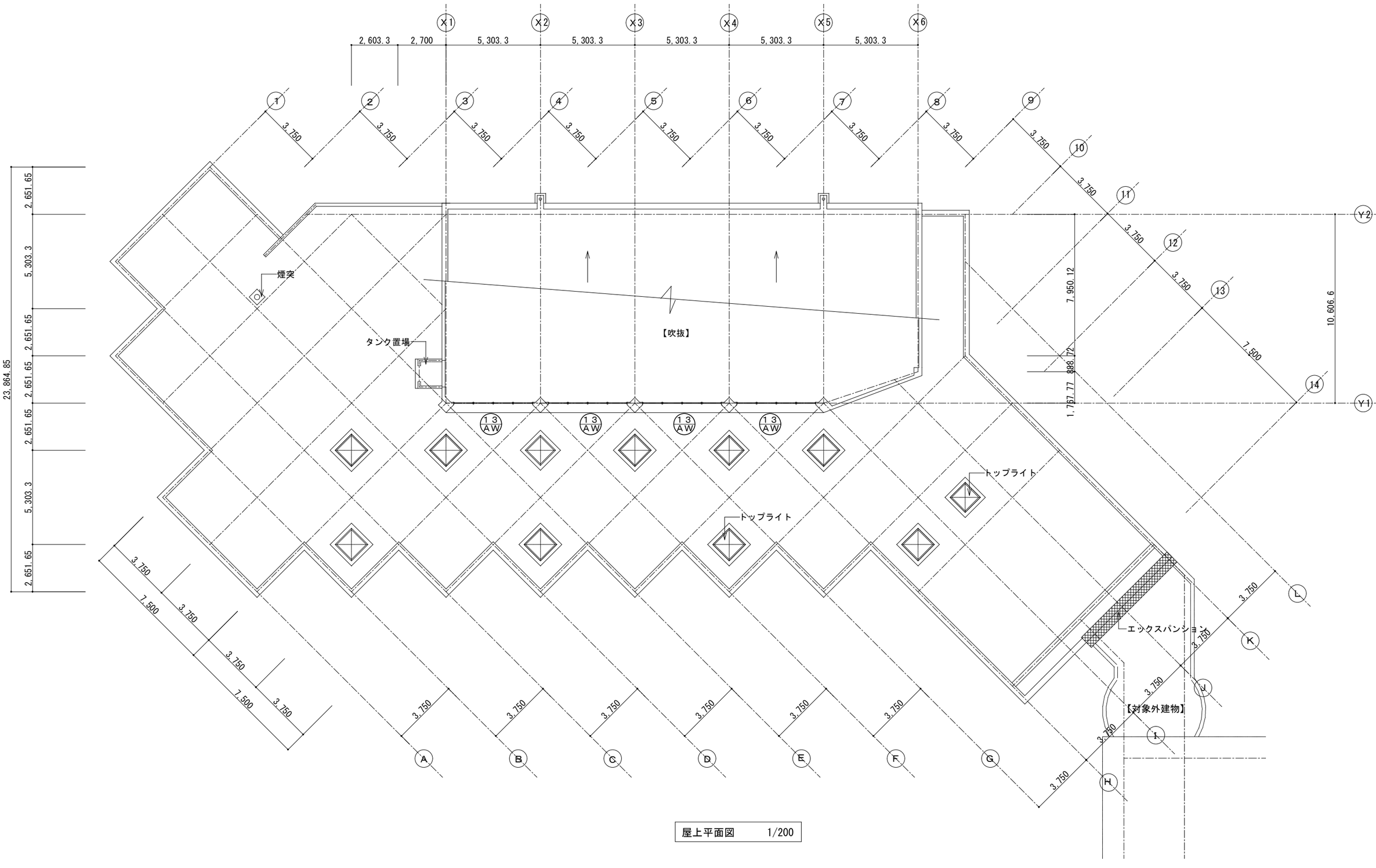
放送，自火報設備改修図　1/100

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　放送，自火報設備改修図		一級建築事務所　島　設　計		図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		P 29



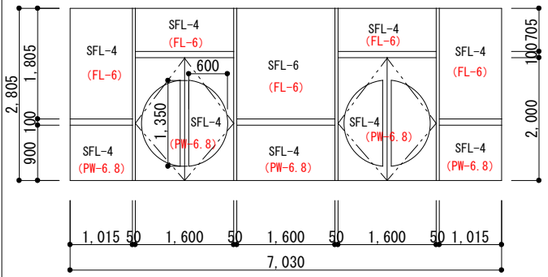
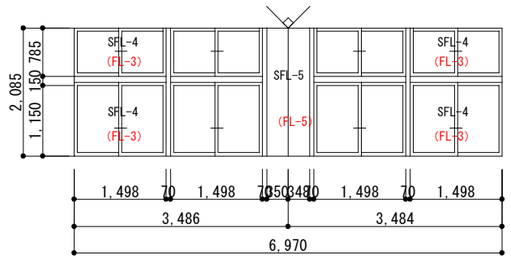
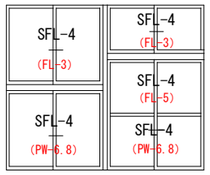
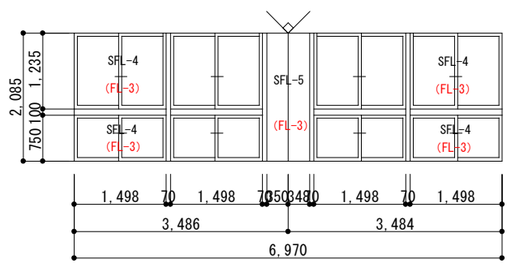
平面図　1/200

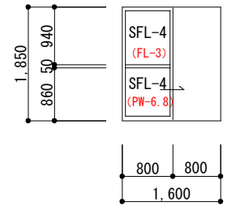
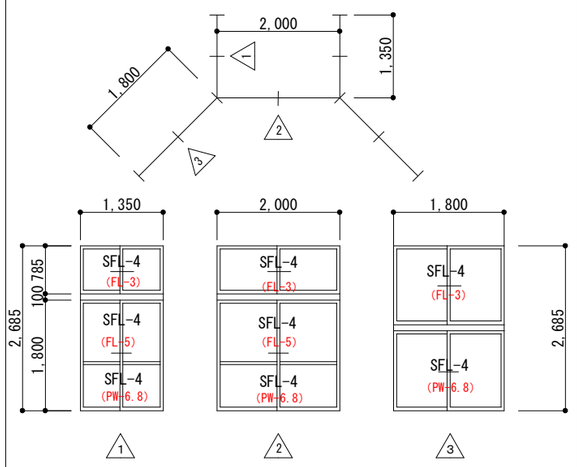
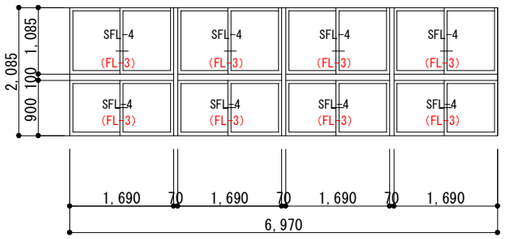
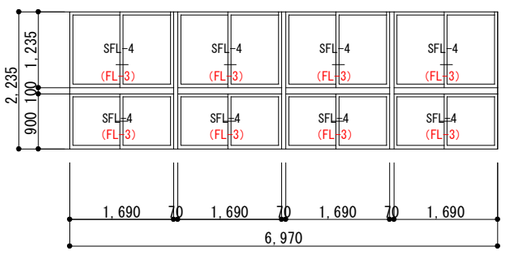
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　1　建具キープラン		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/200	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	P30



屋上平面図　1/200

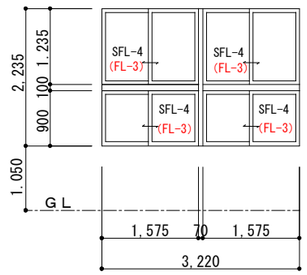
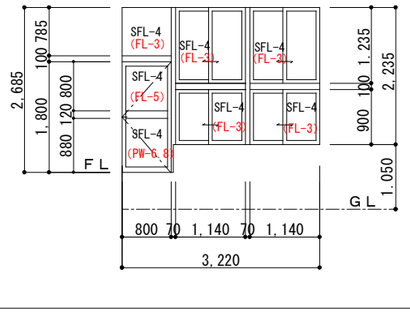
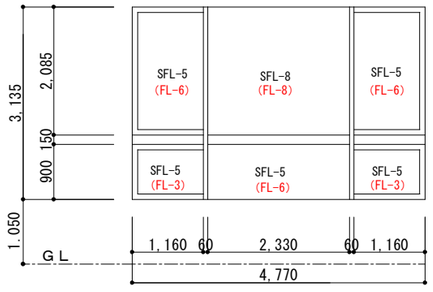
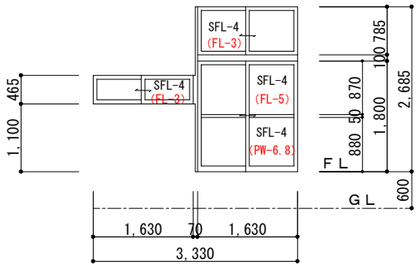
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　2　建具キープラン		一級建築事務所　島　設　計		図面番号	
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/200	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		P31	

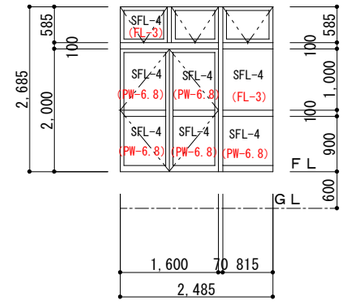
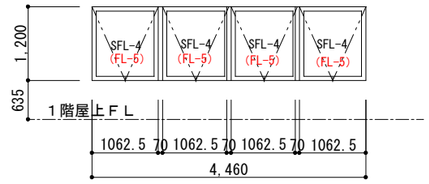
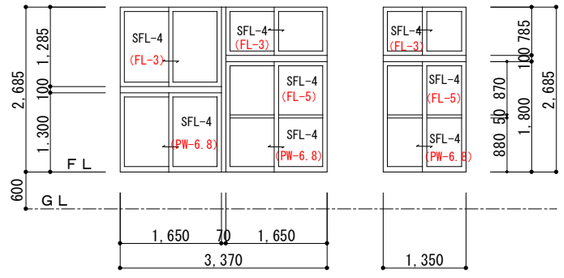
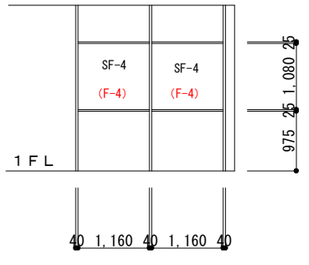
建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（FL）網入り磨き（PW）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材
1 SD	玄関	はめ殺し窓付き 両開き戸	1		(FL-6) (PW-6.8)	SFL-4 SFL-6	（両面） シーリング
1 AW	言葉の教室 職員室	中央はめ殺し 引違い4連 2段窓	4		(FL-3) (FL-5)	SFL-4 SFL-5	（両面） シーリング
3 AW	夏期昇降口	引違い ２連２段窓	3		(FL-3) (PW-6.8)	SFL-4	（両面） シーリング
4 AW	教室-1 教室-2 教室-3	中央はめ殺し 引違い4連 2段窓	3		(FL-3)	SFL-4 SFL-5	（両面） シーリング

建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（FL）網入り磨き（PW）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材
5 AW	夏期昇降口	片引きき戸	1		(FL-3) (PW-6.8)	SFL-4	（両面） シーリング
6 AW	夏期昇降口	引違い ２段窓	1-2 2-1 3-2		(FL-3) (FL-5) (PW-6.8)	SFL-4	（両面） シーリング
7A AW	教室-4	引違い ４連２段窓	1		(FL-3)	SFL-4	（両面） シーリング
7B AW	廊下	引違い ４連２段窓	1		(FL-3)	SF-4	（両面） シーリング

【凡例】
- ・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-4
- ・　〃　SFL-5
- ・　〃　SFL-6
- ・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-8
- ・ガラス止め材　－　シーリング（バックアップ材含む）シリコーン系　６×６

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　建具表－１	一級建築事務所　島　設　計	図面番号 P32
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100
		一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	

建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（FL） 網入り磨き（ＰＷ）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材
８ ＡＷ	廊下	引違い ２連２段窓	1		(FL-3)	SFL-4	(両面) シーリング
９ ＡＷ	廊下	片開き戸付き 引違い ２連２段窓	1		(FL-3) (FL-5) (PW-6.8)	SFL-4	(両面) シーリング
１０ ＡＷ	遊戯室	両袖片引き戸付 ２段窓	4		(FL-3) (FL-6) (FL-8)	SFL-5 SFL-8	(両面) シーリング
１１ ＡＷ	職員室	引違い ２連２段窓	1		(FL-3) (FL-5) (PW-6.8)	SFL-4	(両面) シーリング

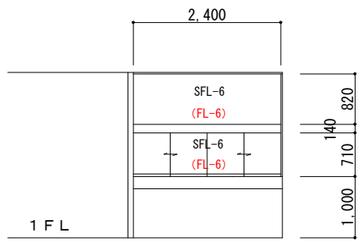
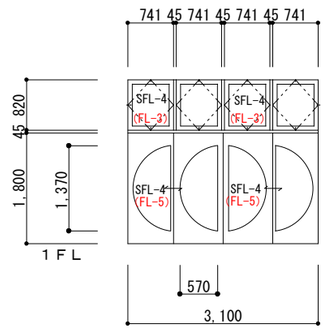
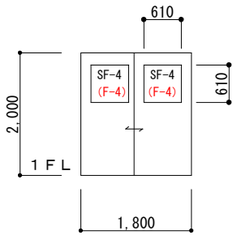
建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（FL） 網入り磨き（ＰＷ）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材
１２ ＡＷ	給食室	内倒し３連欄間 はめ殺し窓付 両開き戸	1		(FL-3) (PW-6.8)	SFL-4	(両面) シーリング
１３ ＡＷ	吹抜	４連内倒し 排煙窓	4		(FL-5)	SFL-4	(両面) シーリング
１４ ＡＷ	教室-2 教室-3	引違い ２段６連窓	2		(FL-3) (FL-5) (PW-6.8)	SFL-4	(両面) シーリング
１５ ＡＷ	保健室	アルミ パーテイション	1		(F-4)	SF-4	(両面) シーリング

【凡例】　・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-4　　・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-8

・　〃　SFL-5

・　〃　SFL-6　　・ガラス止め材　－　シーリング（バックアップ材含む）シリコーン系　６×６

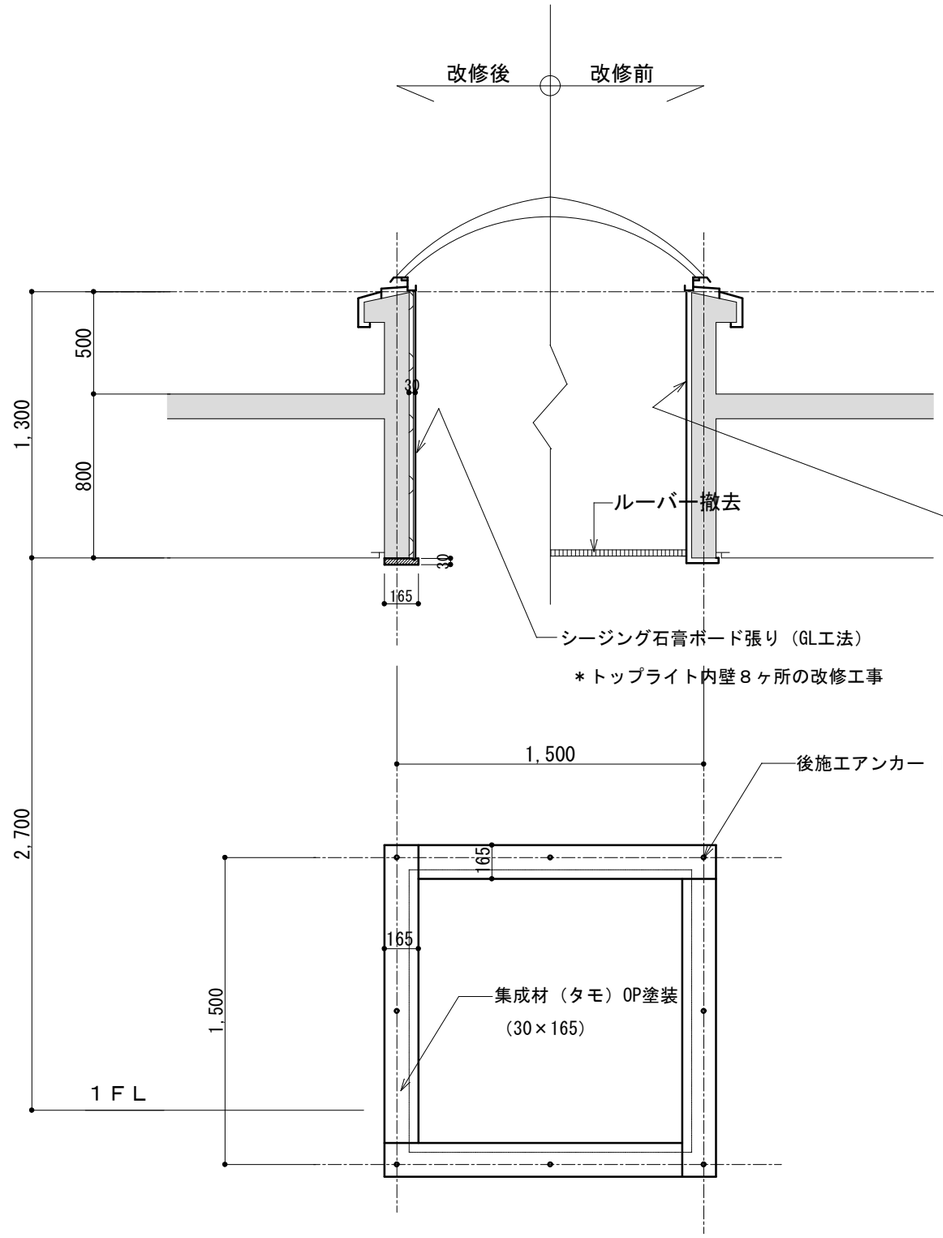
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　建具表－２	一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ33

建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（FL） 形板ガラス（F）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材
1 WD	職員室	はめ殺し欄間付き 枠無し４本引違い	1		(FL-6)	SFL-6	(両面) シーリング
2 WD	教室-1 教室-2 教室-3 教室-4 保健室 職員室	回転欄間付き ４本引違い	8		(FL-3) (FL-5)	SFL-4	(両面) シーリング
5 WD	遊戯室	引違い戸	1		(F-4)	SF-4	(両面) シーリング

建具番号	取り付場所	形　式	数量	姿　図	既設ガラスの解体 普通板ガラス（C） 網入り磨き（PW）	ガラス取り替え 新設ガラス	ガラス取り替え ガラス止め材

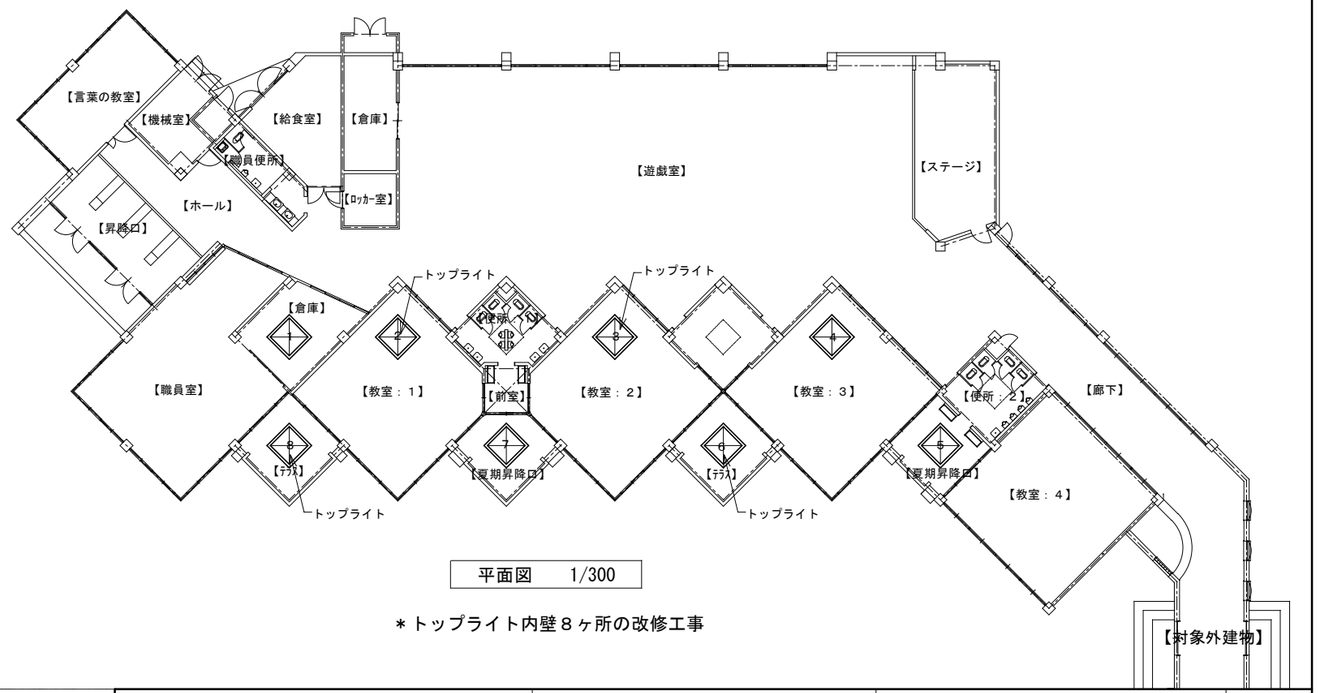
【凡例】
- ・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-4
- ・　〃　SFL-5
- ・　〃　SFL-6
- ・学校用強化ガラススクールタフライト　SFL-8
- ・型板強化ガラス ミストペーンスーパー　SF-4
- ・ガラス止め材　－　シーリング（バックアップ材含む）シリコーン系　６×６

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　建具表－３	一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/100
		一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	P34



トップライト　　1/30

既設トップタイト内壁：モルタル塗りに剥離クラック解体



平面図　　1/300

＊トップライト内壁８ヶ所の改修工事

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　トップライト改修工事		一級建築事務所　島　設　計		図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/30	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹		P35

アスベスト除却改修工事　特記仕様書

Ⅰ　共　通　事　項

アスベスト含有建材（アスベストを重量の１%を超えて含有する石綿その他の吹付け材、保温材及び成形板名のの建材）の処理は他の工事に先立って行うこと。処理に当たっては建築基準法、建設業法等を尊守する他、労働安全衛生法や石綿障害予防規則、大気汚染防止法、作業環境測定法等を始めようとする関関係法令、関係条例及び厚生労働省告示、通達等を遵守し作業に当たること。
またアスベスト粉じんの飛散による大気汚染の防止を図るとともに、作業従事者を始めとする工事関係者及び第三者の健康、安全を確保し、処理工事後のアスベスト汚染を防止すること。廃棄物の運搬及び処分に当っては、「廃棄物の処理及び収集、清掃に関する法律」を遵守し適切に行うこと。

Ⅱ　アスベスト含有吹付け材の処理

1．処理を行うｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の仕様等

材　料　名	厚さ（mm）	処理を行う範囲

2．ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹付け材の処理工法

※　除去処理工事

施工に先駆け事前に①アスベスト使用部位の確認②アスベスト層の厚さ③施工範囲と工事管理区分の確認④更衣施設等の仮設計画⑤廃棄物などの搬出方法について調査検討を行い結果を図面により監督員　に提出する。

3．施工調査等

※次の要件を満たす専門測定機関によりアスベスト粉じん濃度測定を行う。
①都道府県労働基準局に登録されている作業環境測定機関又は、これと同等の技術を有する者。
②アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士又はこれと同等の技術を有する者。

4．アスベスト粉じん 濃度測定

測定時期	測定名称	測定場所	測定点　各施工箇所毎	備考
処理作業前	・　測定１	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定２	煙突上部	１点	—
	・　測定３	調査対象室外部付近	計２点	大気
処理作業中	・　測定４	処理作業室内	室別	—
	・　測定５	負圧除塵装置排出口	吹出風速　1m/sec以下の位置各２点	—
	・　測定６	敷地境界	4方向各１点	—
処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	・　測定７	煙突上部	1点	—
処理作業後（ｼｰﾄ撤去後１週間以降）	・　測定８	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定９	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定10	調査対象室外部付近	計２点	大気

5.アスベスト粉じん濃度測定の方法

測定点は、図面又は監督員の指示により、測定高さは床から150ｃｍを原則とする。
測定７は、負圧・除じん装置で粉じんを充分に吸引ろ過したか、又は粉塵じん飛散抑制剤吹付け後、噴霧した粉じん飛散抑制剤が沈殿したと思われる時期に実施する。
「公共建築改修工事標準仕様書」（表９．　１．２）による。
次の項目について記録した報告書を監督員に（※２　・　　部）提出する。
①測定結果②測定時間③測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
④サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）⑤マウンティング方法
⑥顕微鏡視野面積、計数視野数⑦測定時（各測定場所毎）の天候、温度、外気の風速及び風向
建設技術審査証明事業（建築技術）によって審査証明された「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理 技術」の証明を有する施工業者又は同等以上の施工業者とする。

6.施工業者

石綿作業主任者技能講習又は特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から、石綿作業主任者を選任し、この者を作業管理者をとし吹付けアスベスト処理工事の管理を行う。講習を修了した特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、特別管理産業廃棄物の搬出に伴う各種管理を行う。

7.作業管理者等

処理作業従事者は、石綿障害予防規則27条による特別の教育を受けた者とする。

8.施工計画書

着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉塵じん飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査 等の結果に基づき作成し、監督員に提出し承諾を受ける。
施工計画書に記載すべき事項は次のとおりとする。
①工事概要　（１）工事名称（２）工事場所（３）工事期間（４）工事内容（部位別の状況及び工法）
②管理組織　（１）工事管理者（２）石綿作業主任者（３）特別管理産業廃棄物管理責任者等
③安全衛生管理及び飛散防止策　④仕様用具、機器類、材料及び調合　⑤工事の流れ
⑥仮設計画（足場、養生）　⑦作業要領（作業計画図面含む）　⑧確認。検査方法　⑨アスベスト廃棄物処理計画書
⑩添付書類　（１）工事工程表　（２）使用処理剤の説明　（３）作業員名簿、特別な教育記録、健康診断書　（４）各種資格者証及び講習修了証の写し
⑪その他必要事項

9.安全衛生管理

10.官公署その他への　手続き等

「公共建築改修工事標準仕様書9.1.2（ｃ）」による。
一般建築工事の手続きの他次の手続きを行う。
①労働安全衛生法第88条第４項又は石綿障害予防則第5条に基づく計画届（所轄の労働基準監督署）
②特別管理産業廃棄物発生事業所設置報告書（特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書を含む。）
③特定粉じん排出作業実施届出（所轄の保健所）提出した①、②、③の写しを１部監督員に提出する。

11.アスベスト及び汚染物の処理等（廃石綿等の処理等）

「公共建築改修工事標準仕様書9.1.2（ｄ）（2）」による。
除去したアスベスト等の保管、収集・運搬及び処分は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）」の規定を遵守し行う。処理を委託する場合は、特別管理産業廃棄物収集運 搬業の許可、
年法律第137号）」の規定を遵守し行う。処理を委託する場合は、特別管理産業廃棄物収集運 搬業の許可、
び処理委託契約書の写しを監督員に提出するとともに、廃棄物処分場の現地や処分状況の確認を行い、その 状況のわかる写真を監督員に提出する。
及び特別管理産業物処分業の許可を受けている処理業者と特別管理産業廃棄物処理に関する契約を結

12.検査及び後片付け

また収集運搬については、積替え等の作業に伴う飛散の危険等を極力防止する為に再委託をさせず、
直接管理型最終処分場又は遮断型最終処分場に搬出する。
アスベスト及び汚染物（廃石綿等）の処理に当り、次の書類を監督員に提出する。
①処理に先立ち提出
（２）特別管理産業廃棄物処理計画書　（２）特別管理産業廃棄物処理業許可書の写し
②処理中（収集・運搬・処分）
（１）特別管理産業廃棄物の運搬車輌毎に（社）全国産業廃棄物連合会発行の「産業廃棄物管理票（マニフェスト」（直行用）、又は建設九団体副産物対策協議会発行の「産業廃棄物管理票　建設系廃棄物マニフェスト」を発行し適正に処理されたか確認する。（工事完了後５年間保存すること）
③出来高検査、完了検査時に提出
（１）特別管理産業廃棄物処理実施書　（２）特別管理産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表
（３）②（１）で発行した「産業廃棄物管理票（マニフェスト）」A、B2、D、E票の写し

13.施工記録

「公共建築改修工事標準仕様書9.1.2（e）」による。
施工記録報告書を次により作成し、監督員に提出する。
（１）施工計画書（２）工事記録及び工事写真（３）産業廃棄物処理記録（４）施工調査記録（５）アスベスト濃度測定記録
作業者の作業記録は、40年間保存すること。　（６）作業者の作業記録（７）その他必要事項

Ⅲ　アスベスト含有保温材等の処理

1.処理を行うアスベスト含有保温材等の仕様等

材　料　名	厚さ（mm）	処理を行う範囲
カポスタック　内径324㎜		※図示

2.施工調査方法等

施工に先がけ事前に①アスベスト保温材等使用部位の確認②アスベスト保温材等の種別厚さの角印③アスベスト保温材等の使用数量の確認④施工範囲と工事管理区分の確認⑤廃棄物等の搬出方法について、調査検討を行い　結果を図面により監督員に提出する。
※濃度測定は行わない

3.環境測定

・次の要件を満たす専門測定機関により、下表指定のアスベスト粉じん濃度測定を行う。
①都道府県労働基準局に登録されている作業環境測定機関又は、これと同等の技術を有する者。
②アスベスト粉じん濃度測定における計数分析は、作業環境測定士又はこれと同等の技術を有する者。

測定時期	測定名称	測定場所	測定点　各施工箇所毎	備考
処理作業前	・　測定１	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定２	煙突上部	１点	—
	・　測定３	調査対象室外部付近	計２点	大気
処理作業中	・　測定４	処理作業室内	室別	—
	・　測定５	負圧除塵装置排出口	吹出風速　1m/sec以下の位置各２点	—
	・　測定６	敷地境界	4方向各１点	—
処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	・　測定７	煙突上部	1点	—
処理作業後（ｼｰﾄ撤去後１週間以降）	・　測定８	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定９	処理作業室内	室別　1点	—
	・　測定10	調査対象室外部付近	計２点	大気

4.アスベスト粉じん濃度の測定方法

測定点は、図面又は監督員の指示により、測定高さは床から150ｃｍを原則とする。
「公共建築改修工事標準仕様書」（表９．　１．２）による。
次の項目について記録した報告書を監督員に（※２　・　　部）提出する。
①測定結果②測定時間③測定位置（測定高さとともに図面上に記載する。）
④サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）⑤マウンティング方法
⑥顕微鏡視野面積、計数視野数⑦測定時（各測定場所毎）の天候、温度、外気の風速及び風向

5.作業管理者等

石綿作業主任者技能講習又は特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した者の中から、石綿作業主任者を選任し、この者を作業管理者をとし吹付けアスベスト処理工事の管理を行う。講習を修了した特別管理産業廃棄物管理責任者を選任し、特別管理産業廃棄物の搬出に伴う各種管理を行う。
処理作業従事者は、石綿障害予防規則27条による特別の教育を受けた者とする。

6.施工計画書

着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉塵じん飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査 等の結果に基づき作成し、監督員に提出し承諾を受ける。
施工計画書に記載すべき事項は次のとおりとする。
①工事概要　（１）工事名称（２）工事場所（３）工事期間（４）工事内容（部位別の状況及び工法）
②管理組織　（１）工事管理者（２）石綿作業主任者（３）特別管理産業廃棄物管理責任者等
③安全衛生管理及び飛散防止策　④仕様用具、機器類、材料及び調合　⑤工事の流れ
⑥仮設計画（足場、養生）　⑦作業要領（作業計画図面含む）　⑧確認。検査方法 ⑨アスベスト廃棄物処理計画書
⑩添付書類　（１）工事工程表　（２）使用処理剤の説明　（３）作業員名簿、特別な教育記録、健康診断書（４）各種資格者証及び講習修了証の写し
⑪その他必要事項

7.官公署その他への　手続き等

アスベスト含有保温材、耐火被覆板等がある場合一般建築工事の手続きの他次の手続きを行う。
①労働安全衛生法第88条第４項又は石綿障害予防則第5条に基づく計画届（所轄の労働基準監督署）
②特別管理産業廃棄物発生事業所設置報告書（特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書を含む。）
③特定粉じん排出作業実施届出（所轄の保健所）提出した①、②、③の写しを１部監督員に提出する。

8.その他

※公共建築改修工事標準仕様書」（9.1.3）による。
撤去されたアスベスト成形板等の処分が完了した場合は「産業廃棄物処理票（マニフェスト）」の写しを提出する。

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称	アスベスト除却改修工事 特記仕様書	一級建築事務所	島　設　計
製図	検図	日付　2015:05	縮尺	一級建築士　登録第１７５９２０号	此　島　茂　樹

図面番号　P36

石綿除去工事施工基本フローチャート

工事計画・施工調査等・処理工事実施の表示

仮設足場設置

機材の搬入

作業区画隔離　　養生

1，頂上部ハツリ開口（400ロ）の確保
2，現況排気口を鉄板にて塞ぐ（密封）
3，１階開口部の密閉

1，床面：防水用シートｔ＝0.12㎜の敷き込み
2，壁面：プラスチックシートｔ＝0.1㎜
3，その他：プラスチックシートｔ＝0.1㎜

保護衣・保護具
養生時
半ﾏｽｸ
防塵ﾏｽｸ

防護服・防塵ﾏｽｸ装着
電動ﾌｧﾝ付ﾏｽｸ使用
（ﾚﾍﾞﾙ1対応品）

セキュリティ施設設置

負圧除塵装置設置

超高圧ウォータージェットマシン設置

煙突石綿ライニング材除去処理

＊粉塵濃度測定作業（敷地境界４点）

洗浄・清掃

洗浄汚泥等凝固処理

除去汚泥石綿等廃棄物袋詰

除去完了確認検査

除去面・養生面コーティング処理

＊粉塵濃度測定　作業後

壁面養生解体・撤去

床養生解体・撤去

養生シート等廃棄物袋詰め

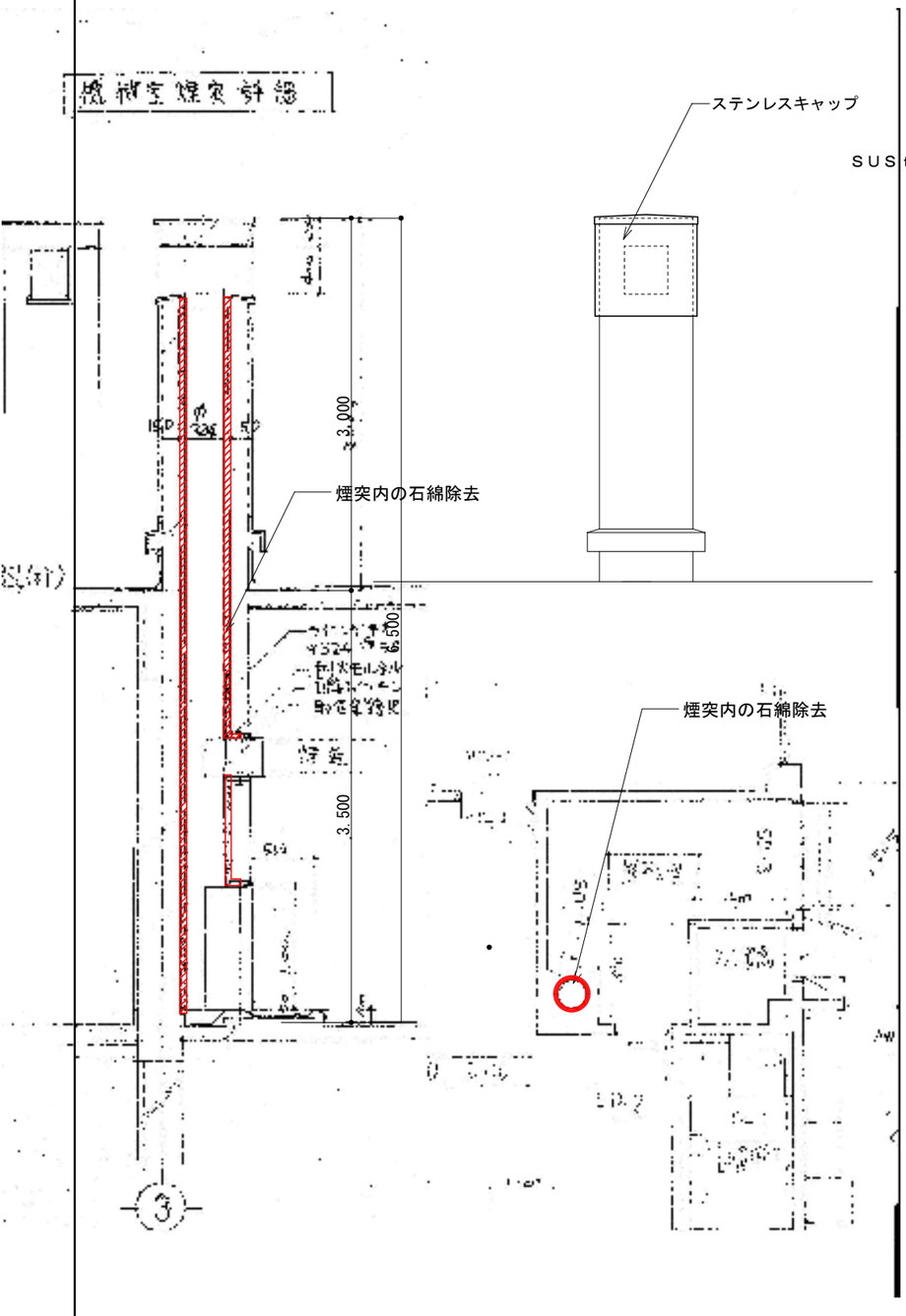
真空掃除機による清掃

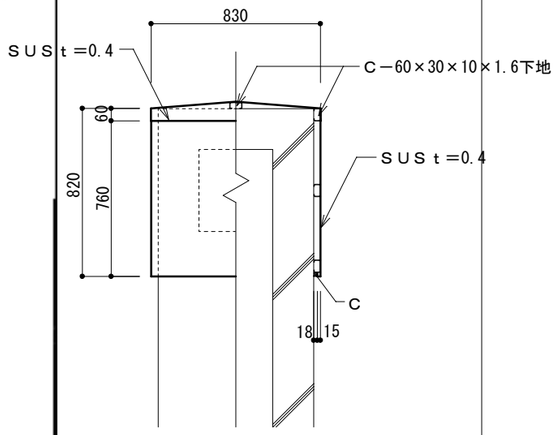
完　　了

廃棄物一時保管

収集運搬及び最終処分

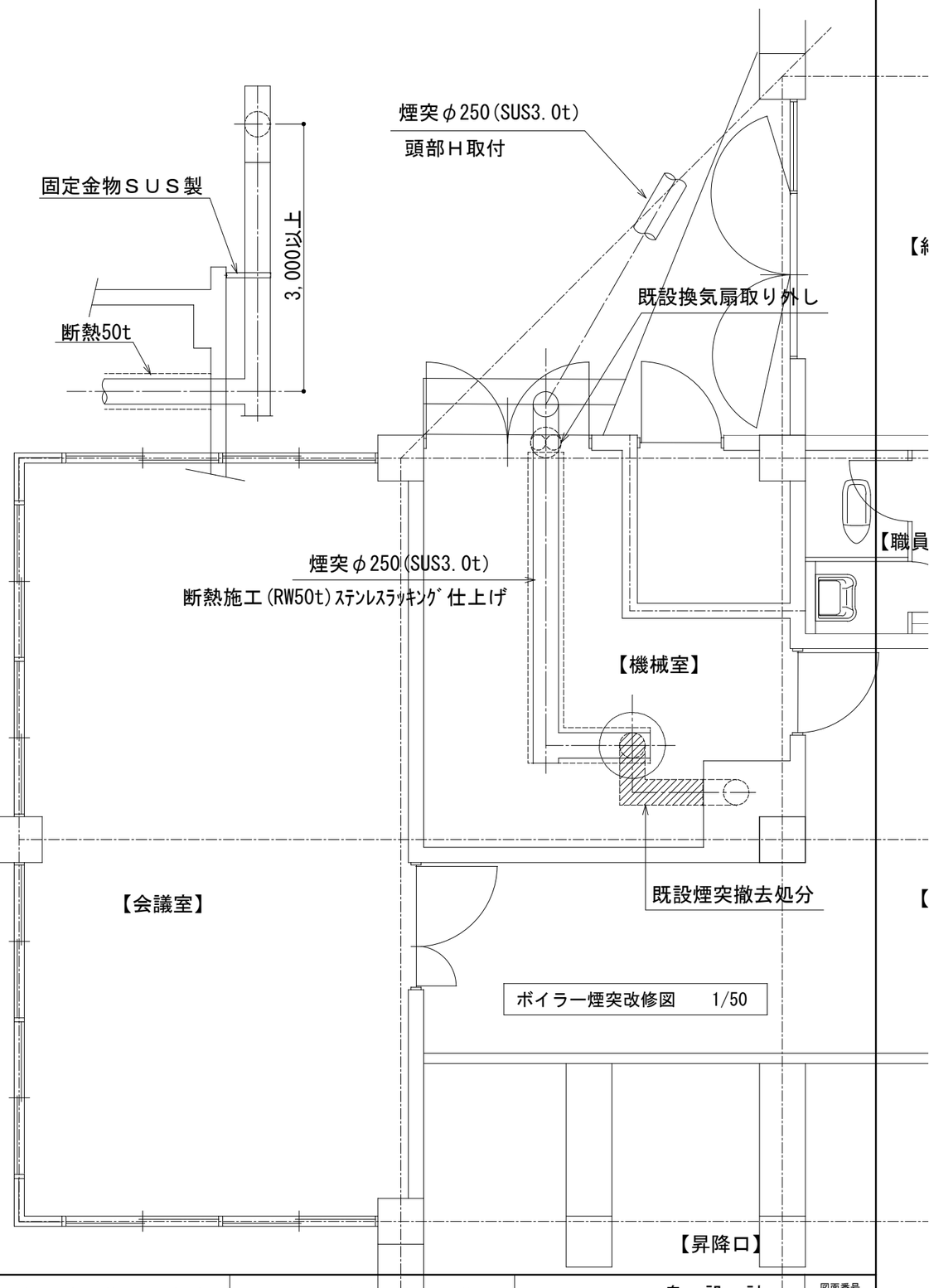
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　石綿除去工事施工基本フローチャート		一級建築事務所　島　設　計	図面番号 P37
製図	検図	日付　2015:04	縮尺	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	





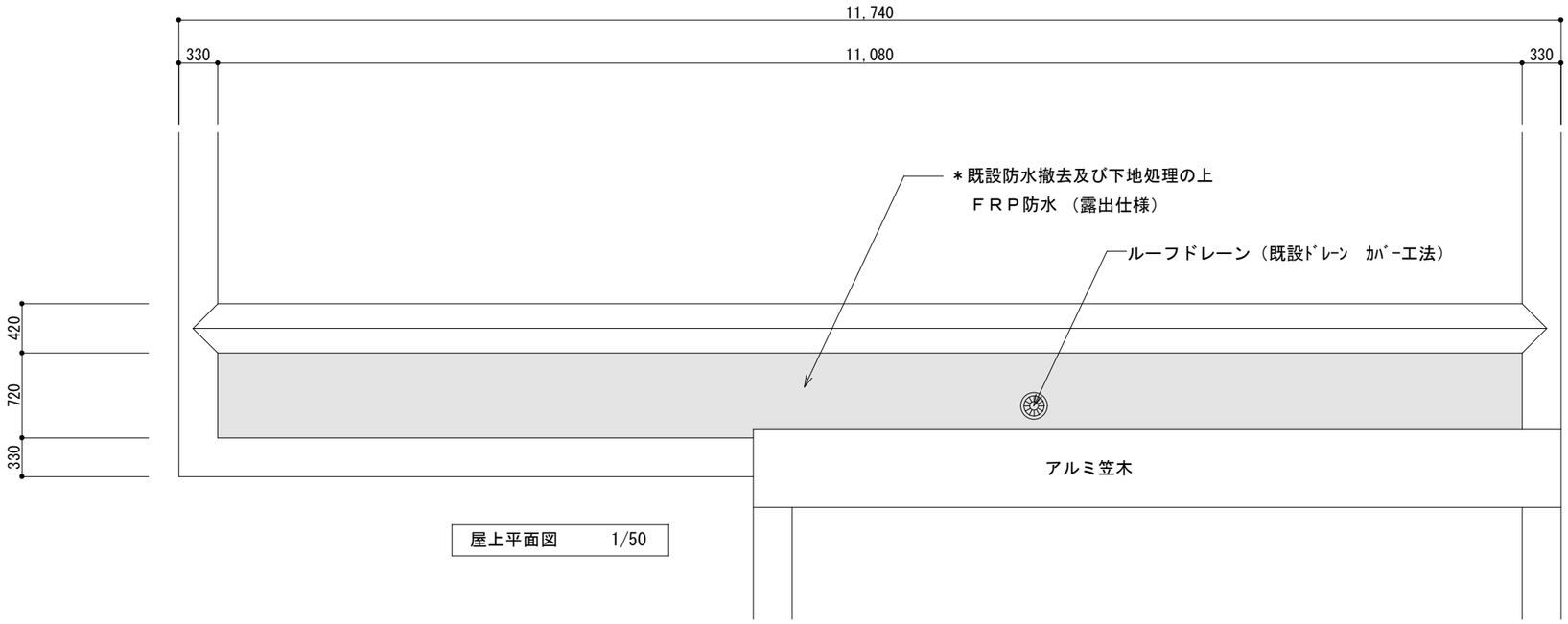
ステンレスキャップ詳細　1/30

既設煙突（石綿）改修処理図

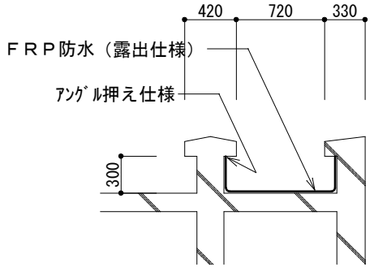


ボイラー煙突改修図　1/50

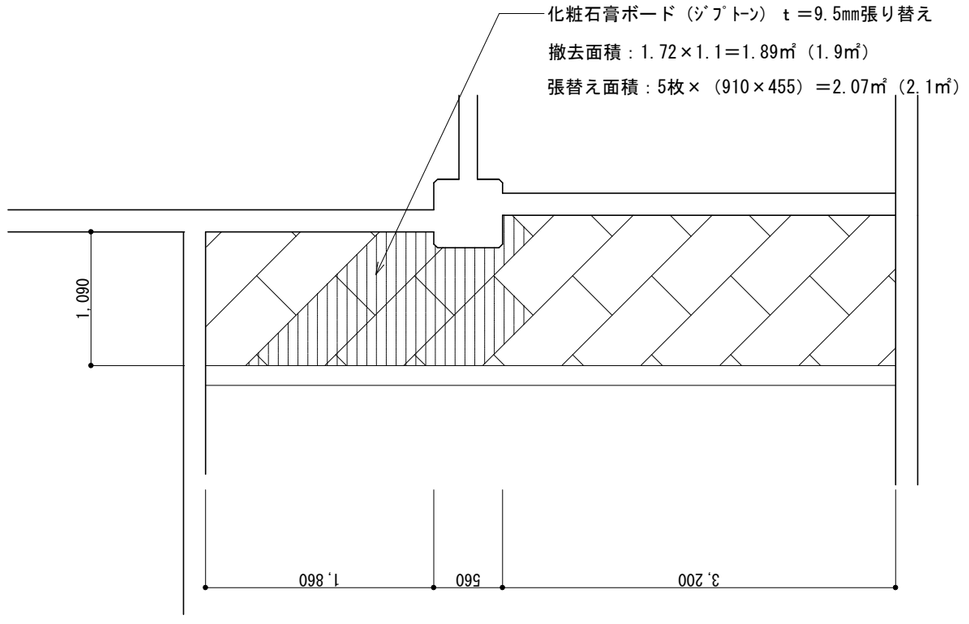
幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　既設煙突改修及び煙突付け替え図		一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/50	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	P 38



屋上平面図　1/50

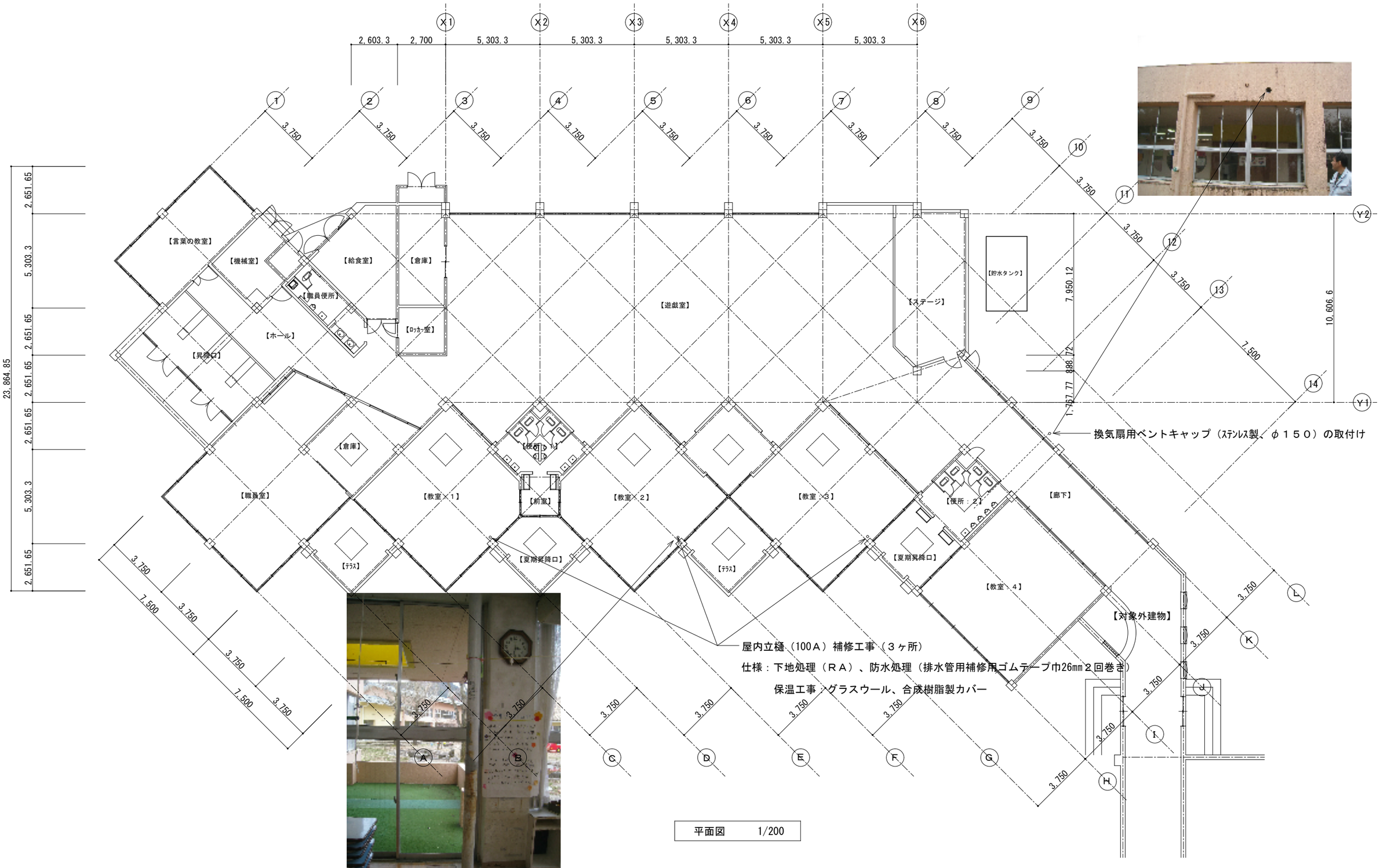


断面図　1/50



廊下雨漏れ部分天井伏図　1/50

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事		図面名称　雨漏れ部分改修図		一級建築事務所　島　設　計	図面番号 P39
製図	検図	日付　2015:03	縮尺　1/100	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	



平面図　1/200

幼児教育センターやまびこ園園舎耐震補強耐震改修工事	図面名称　１階平面図			一級建築事務所　島　設　計	図面番号
製図	検図	日付　2015:04	縮尺　1/200	一級建築士　登録第１７５９２０号　此　島　茂　樹	Ｐ40